

AVINO

マイクロハイファイコンポーネントシステム

SJ-9CDR

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。

機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みになり、十分にご理解ください。

使いかたの説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。

また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときにくり返してお読みください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。



株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



MDLP



KENWOOD

B60-5129-00 00 (CH) (J) CR 0108

本機の特長

□ CDプレーヤー + CDレコーダー + MDレコーダー 一体型ステレオシステム

CD-R（追記型）とCD-RW（書き換え型）の録音、再生はもちろん、CDからCD-R/RWおよびMDへの高音質デジタル録音、MDからCD-R/RWへの録音や、さらにCD-R/RWからMDへの録音もできます。CDからCD-R/RWおよびMDへの同時録音もできます。

□ MP3/WMAファイル対応CDプレーヤー

オーディオCD以外にMP3形式およびWMA (Windows Media Audio) 形式の音声圧縮フォーマットで録音された音楽ファイルを再生できます。

□ CD→CD-R/RW、CD→MD、CD→CD-R/RW & MD High Speed (倍速) ダビング対応

「CDからCD-R/RWへ」、「CDからMDへ」または「CDからCD-R/RWとMDへ」カンタン、短時間でダビングできる便利な機能です。

□ MDグループ管理機能

MDに録音している曲を、アルバムやアーティスト名などにグループ分けすることにより、グループごとに再生できます。

□ MDロングプレイモード対応

ATRAC 3による長時間録音、再生機能 (LP2、LP4) を搭載。標準の2倍(約160分*) または4倍 (約320分*) のデジタル長時間録音、再生ができます。

* : 80分ディスクを使用した場合

□ CDのテキスト情報表示機能 (CD-TEXT対応)

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。(表示できる文字数は約1500文字までです)

□ 放送局をオートプリセットする (エリア別FM放送局名自動表示機能)

現在お住まいの都道府県名を設定すると、その地域で受信可能なFM放送局の周波数と放送局名を自動的に記録表示することができます。

□ セパレートアンプの採用

電源部を持つアンプチューナー部とプレーヤー部を分離することにより、デジタルノイズを軽減し、高音質を実現しました。

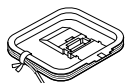
□ サンプリング・レート・コンバーター搭載

BS/CSチューナーなど、衛星放送のPCMデジタル録音ができる光デジタル入力端子を装備しました。

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

AM ループアンテナ (1個)



FM 室内アンテナ (1本)



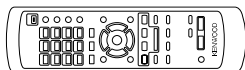
リモコン用単三乾電池 (2本)



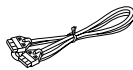
スピーカーコード (2本)



リモートコントロール ユニット (1個)



システム接続コード (1本)



このシンボルマークのある製品はケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

目次

⚠このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

はじめに	2
本機の特長	2
本機をご理解いただくために	6
システムについて	6
再生できるCDについて	6
CD-R/RWの録音について	7
CDの曲の収録構成と曲番号について	9
MDの曲の収録構成と曲番号について	10
MP3、WMA収録ディスクを作成するときの注意	10
ディスクの取り扱いかた	12

安全編

⚠安全上のご注意	14
----------------	----

準備編

接続のしかた	20
プレーヤー部とアンプチューナー部の接続	20
アンプチューナー部と付属品の接続	21
他の機器(市販品)との接続	23
各部のなまえと働き	24
本体部	24
リモコン部	26
表示部	28
設定モードについて	29
時刻合わせ	30

基本編

音を出してみましょう	31
オーディオCDを聴く	33
MP3、WMAファイルを聴く	35
MDを聴く	40
ラジオ放送を聴く	43
放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット)	44
記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局) ..	46
放送局を1局ずつ記憶させる(マニュアルプリセット) ...	46
録音について	47
CD-R/RWに録音する	49
MDに録音する	53

応用編

いろいろな再生	58
曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)	60
曲順を並べ替えて聴く(MP3、WMAプログラム再生) ..	62
繰り返し聴く(リピート再生)	64
繰り返しフォルダーを聴く(フォルダーリピート再生)	66
繰り返しグループを聴く(グループリピート再生)	67
曲順を順不同に楽しむ(ランダム再生)	68
聴かない曲をCD-R/RWにスキップ登録する(SKIP TRACK)	70
スキップ登録した曲を飛び越して再生する(SKIP PLAY) ...	71
便利な録音あれこれ	72
1. CDからCD-R/RWに録音する機能について	72
2. CDからMDに録音する機能について	73
3. MDからCD-R/RWに録音する機能について	74
4. CDからCD-R/RW、MDに同時録音する機能について	75
CDの全曲をカンタンな操作で倍速録音する(CD→CDR) (ワンタッチエディット全曲録音)	77
CDの1曲をカンタンな操作で倍速録音する(CD→CDR) (ワンタッチエディット1曲録音)	79
CDをワンタッチで録音する(CD→CDR) (ワンタッチエディット通常速録音)	81
曲順を並べ替えて録音する(CD→CDR) (プログラム再生(PGM)+O.T.E.)	83
CDの全曲をカンタンな操作で倍速録音する(CD→MD) (ワンタッチエディット全曲録音)	85
CDの1曲をカンタンな操作で倍速録音する(CD→MD) (ワンタッチエディット1曲録音)	88
CDをワンタッチで録音する(CD、CDR→MD) (ワンタッチエディット通常速録音)	90
曲順を並べ替えて録音する(CD→MD) (プログラム再生(PGM)+O.T.E.)	93
MDをワンタッチで録音する(MD→CDR) (ワンタッチエディット通常速録音)/(プログラム再生(PGM)+O.T.E.) ..	95
CD-R/RWとMDに同時倍速録音する(CD→CDR、MD) (TWIN REC)	97
CD-R/RWとMDに同時通常速録音する(CD→CDR、MD) (TWIN REC)	99
曲順を並べ替えて同時録音する(CD→CDR、MD) (プログラム再生(PGM)+TWIN REC)	102

MDの編集機能	104
編集機能のタイプを選ぶ	104
グループを登録する (GROUP START)	106
グループを解除する (GROUP CANCEL)	108
グループの範囲を変更する (GROUP EDIT)	110
曲を移動する (MOVE)	112
曲を分ける (DIVIDE)	114
曲をつなぐ (COMBINE)	116
1曲またはミニディスクの全曲を消す (ERASE)	118
編集した内容を取り消す (CANCEL)	120
CD-R/RW、MDのタイトル編集機能	121
ディスク、グループおよび曲にタイトルをつける	121
タイトルメモへの登録	126
タイトルのコピー	127
CD-R/RWのファイナライズ (FINALIZE)	128
CD-RWのアンファイナライズ (UNFINALIZE) ...	129
CD-RWの録音消去	130
外部機器ソースを聴く	132
録音レベルを調整する	133
トラック番号の設定をかえる	134
タイマーを使う	136

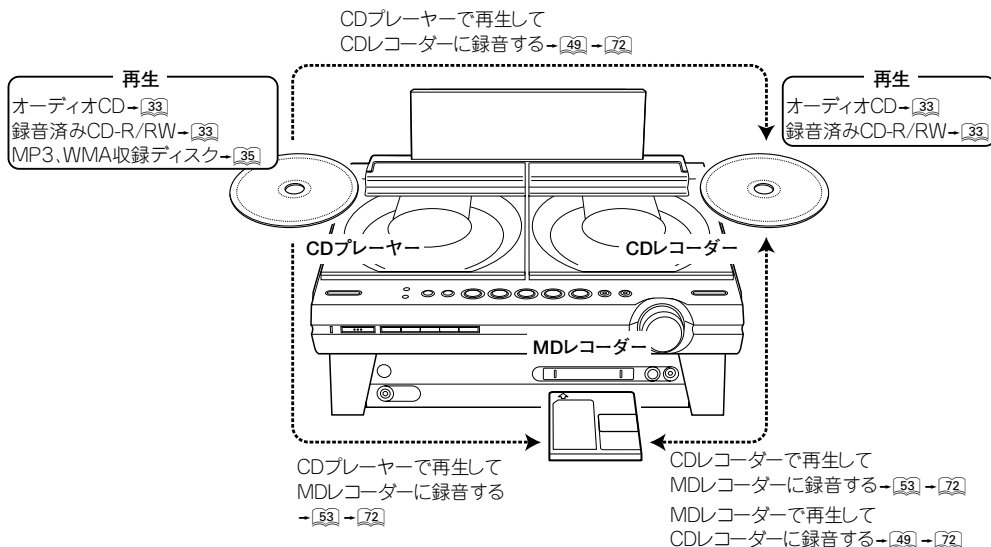
知識編

知っておきましょう	141
メンテナンス	141
参考	141
故障かな?と思ったら	143
メッセージ表示の一覧	147
保証とアフターサービス	151
定格	152

本機をご理解いただくために

システムについて

本機はCDプレーヤー、CDレコーダーおよびMDレコーダーを搭載しています。CDプレーヤーはオーディオCD*やMP3、WMA収録ディスクを再生することができます。CDレコーダーはオーディオCD*の再生およびCD-R/RW (CD-RおよびCD-RW)への録音をすることができます。また、MDレコーダーでは、MDの再生および録音をすることができます。



ディスクの全曲をCD-R/RWやMDに録音したいときは、簡単な操作で録音することができます(ワンタッチエディット機能)。「便利な録音あれこれ」(→[72])をお読みください。

ラジオ放送の録音や外部入力端子に接続した外部機器の音声もCD-R/RWやMDに録音することができます。「CD-R/RWに録音する」(→[49])、「MDに録音する」(→[53])をお読みください。

* ディスクレーベル面に「MP3」などのマークが入っている一般に市販されている、音楽が収録されているCD



- 本機ではCD-R/RWにはオーディオCDと同じデジタル信号形式で録音します。このため、音声圧縮フォーマットのMP3、WMA収録ディスクや、長時間録音したMDをCD-R/RWに録音すると収録時間によっては、1枚のディスクに録音しきれない場合があります。
- 本機では、オーディオCDなどからMP3、WMAフォーマットで録音することや、MP3、WMA収録ディスクからMP3、WMAフォーマットのままで録音することはできません。

再生できるCDについて

CDプレーヤー

- オーディオCD(12cm、8cm)
- オーディオCDと同じデジタル信号形式で録音したファイナライズ処理されたCD-R/RW
- MP3、WMA収録ディスク(CD-R/RWディスクも含む)
- CDV、CD-G(CDグラフィックス)およびCD-EXTRAディスクの音声部のみ

CDレコーダー

- オーディオCD(12cm、8cm)
- オーディオCDと同じデジタル信号形式で録音したCD-R/RW
- CDV、CD-G(CDグラフィックス)およびCD-EXTRAディスクの音声部のみ
 - MP3、WMAファイルが収録されているディスクでも、MP3、WMAファイル以外の他のデータが収録されていると再生できない場合があります。
 - 本機以外のCDレコーダー(パソコン用CD-R/RWドライブも含む)で録音したCD-R/RWは、ディスクの特性や、レコーダー側の記録特性(ピックアップ等)の違いにより本機で再生できないことがあります。
 - 著作権管理が有効に設定されているWMAファイルは再生できません。


CD-R/RWの録音について

CDレコーダーにより音楽用CD-R/RW (CD-RまたはCD-RW)に、オーディオCDなどのデジタル信号を圧縮することなく、市販されているオーディオCDと同等の高音質の録音をすることができます。

CD-RとCD-RWについて



CD-RとCD-RWには以下の違いがあります。

CD-R (Compact Disc Recordable) (追記型)

追記型のCD-Rは、ディスクの録音可能時間まで追加録音できますが、一度録音された曲は消去することができません。また、ファイナライズ処理 (→ ) 後は本機のCDプレーヤーを含め、他のCDプレーヤー*で再生することができるようになりますが、一切の追加録音はできなくなります。

* 機器によっては再生できない場合があります。

CD-RW (Compact Disc ReWritable) (書き換え型)

書き換え型のCD-RWは、ディスクの録音可能時間まで追加録音できるうえ、一度録音した曲を消去して再録音することができるため、繰り返し録音することができます。また、CD-RWもファイナライズ処理 (→ ) 後は追加録音をすることができなくなりますが、ファイナライズ処理前に戻す (アンファイナライズ処理 → ) ことができます。つまり、ファイナライズされたCD-RWでもアンファイナライズ処理をすることで、再び追加録音ができる状態に戻すことができます。しかし、CD-RWはファイナライズ処理をしても、一般のCDプレーヤーでは再生することができません。CD-RW対応の機器で再生することができます。

本機で録音できるCD-R/RWについて

録音できるディスク

本機で録音できるのは、音楽用CD-R/RWのディスクです。音楽用CD-R/RWには、以下のマークが表示されています。パソコン用CD-R/RWには録音できません。

音楽用CD-R



"DIGITAL AUDIO" の文字がある

音楽用CD-RW



パソコン用CD-R



パソコン用CD-RW



音楽用CD-R/RWでも、ディスクの特性により録音できないディスクもあります。本機では以下のメーカーの音楽用CD-R/RWディスクにおいて動作確認をしています (2001年10月現在)。

CD-R

- TDK株式会社
- ソニー株式会社
- 太陽誘電株式会社
- 日立マクセル株式会社
- 三井化学株式会社
- 三菱化学株式会社

CD-RW

- TDK株式会社
- 株式会社リコー
- 三菱化学株式会社

録音できない信号

本機ではオーディオ信号以外の信号は録音できません。

CD-ROMなどのオーディオ信号以外のデータは録音できません。本機のCDプレーヤーで再生できないCDディスクやオーディオ信号は録音できません。音声圧縮フォーマットのMP3、WMAの曲は、一度アナログ信号に変換してから録音します。圧縮信号のままでは録音しません。

他のレコーダーで録音したディスクの録音


本機以外のCDレコーダー (パソコン用CD-R/RWドライブも含む) で録音したCD-R/RWは、ディスクの特性や、レコーダー側の記録特性 (ピックアップ等) の違いにより本機で追加録音ができないことがあります。



ファイナライズ(FINALIZE)について

ファイナライズとは、本機のCDレコーダーで録音したCD-R/RWを本機のCDプレーヤー*1、および他のCD-R/RW対応機器で再生できるようにするための最終処理のことです。

ファイナライズ処理後

CD-R 本機のCDプレーヤー、および他のCDプレーヤー*2で再生できるようになります。通常の音楽CDと同じような状態になりますので、追加録音などが一切できなくなります。

CD-RW 本機のCDプレーヤー、および他のCD-RW対応機器*3で再生できるようになります。基本的にCD-Rと同様、追加録音、消去などができなくなりますが、アンファイナライズ処理(-)をすることでファイナライズ処理をする前に戻すことができます。

	ファイナライズ処理前		ファイナライズ処理後	
	CD-R	CD-RW	CD-R	CD-RW
本機のCDプレーヤーで聴く	× 不可能	× 不可能	○	○
ディスクをセットしたときの表示部	CHECK DISC	CHECK DISC	可能	可能
本機のCDレコーダーで聴く	○ 可能	○ 可能	○	○
ディスクをセットしたときの表示部	CD-R	CD-RW	CD	FINALIZED CD-RW
追加録音 (録音可能時間まで)	○ 可能	○ 可能	× 不可能	× 不可能 *4
スキップ情報登録 - 	○ 可能	○ 可能	× 不可能	× 不可能 *4
タイトル情報入力	○ 可能	○ 可能	× 不可能	× 不可能 *4
消去 - 	× 不可能	○ 可能	× 不可能	× 不可能 *4

*1 本機のCDプレーヤーはCD-R/RWの再生に対応しています。

*2 CD-RはオーディオCDに比べて、ディスクの反射率が低く、一部のCDプレーヤーでは再生できない場合があります。ディスク特性、汚れ、キズまたはプレーヤーのピックアップの汚れ、結露等により再生できない場合があります。また、ピックアップの波長の違い等により、一部のDVDプレーヤーで再生できない場合があります。

*3 機器によっては再生できない場合があります。

*4 アンファイナライズ処理後可能になります。

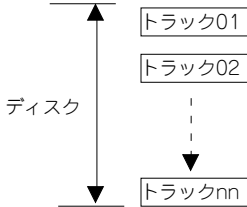
ディスクに録音できる最多曲数について

CD-R/RWには最多で99曲まで録音することができます。残り時間があっても99曲を越えて録音することはできません。また、1曲あたりの最短録音時間は4秒間です。

CDの曲の収録構成と曲番号について

オーディオCD

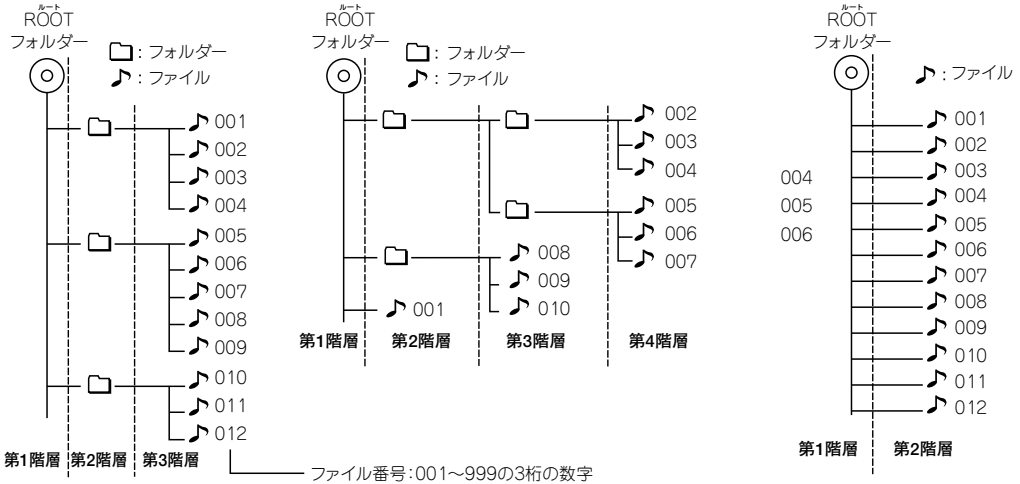
オーディオCDおよび本機で録音したCD-R/RWでは、収録されている各曲はトラック番号が付けられています。ディスクを再生するとトラック番号順に再生します。



●トラック番号は01～99の2桁の数字で表示されます。

MP3、WMA収録ディスク

MP3、WMA収録ディスクでは、ファイル(曲に相当)は通常、アルバムやアーティスト名などのタイトルをつけたフォルダーに含まれています。これらのディスクは下図に示すようないろいろな階層構造(ツリー構造)を持っています。"□"はフォルダーを、"♪"はファイルを表しています。



ファイル番号

本機では、MP3やWMAファイルが収録されているディスクは、フォルダーとファイルが書き込まれた順に曲にファイル番号がつき、ディスクを再生するとファイル番号順に再生します。

タイトル表示

MP3、WMA収録ディスクはフォルダータイトルやファイルタイトルを付けておくと、聴きたいフォルダーやファイルを選択するときに便利です。

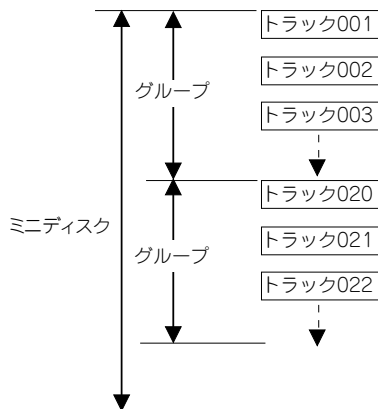
ROOTフォルダータイトル : ディスクにつけられたタイトルです。CDプレーヤーまたはCDレコーダーにディスクを入れたときに表示します。

フォルダータイトル : 各フォルダーにつけられたタイトルです。

ファイルタイトル : 各ファイルにつけられたタイトルです。

MDの曲の収録構成と曲番号について

本機には、MDグループ管理機能があります。録音した曲を、1枚のディスクの中でアルバム別やアーティスト別などにグループ分けをすることができます。数枚のCDを1枚のMDに長時間録音で録音したときなど、グループ分けをすると聴きたいグループを選択して再生することができます。



タイトルの表示

ディスクタイトル: ミニディスクにつけられたタイトルです。MDレコーダーにディスクを入れたときに表示されます。

グループタイトル: 各グループにつけられたタイトルです。

トラックタイトル: 各曲につけられたタイトルです。

MP3、WMA収録ディスクを作成するときの注意

MP3、WMA収録ディスクをパソコンなどの外部の機器で作成する際は、以下の点を考慮してください。

メディアについて

使用するメディア: CD-R/RW

フォーマット: ISO9660 level1およびlevel2(拡張フォーマットを除く)

MP3やWMAファイルに圧縮するとき

MP3やWMAファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートを次のように設定してください。

MP3ファイルのとき: 推奨128kbps(32kbps~320kbps)

WMAファイルのとき: 推奨128kbps(64kbps~160kbps)

●本機は、32kHz、44.1kHz(推奨)、48kHzのサンプリング周波数に対応しています。

フォルダー分けをするとき

MP3やWMAファイルは、高音質の音声ファイルをかなり高い圧縮率で圧縮するため、オーディオCDの数倍の曲数を1枚のメディアに収録させることができます。複数のジャンルやアーティストの曲を1枚のCD-R/RWに収録するときは、ジャンルやアーティスト、アルバム別のフォルダーに分けてから収録すると、フォルダーを選んでファイルを再生するフォルダーサーチ、フォルダーセレクトで再生するとき便利です。ただし、ディスクのフォルダー数やフォルダー構成によって、時間がかかる場合があります。フォルダー数を30位に抑え、右イラストのようなフォルダー構成でディスクを作成することをお奨めします。

- 本機で再生できる最大フォルダーは256、ファイル数は999に制限されています。
- 書き込みソフトによっては、意図した順番に書き込まれない場合もあります。

フォルダー、ファイル名を付けるとき

各名称は、半角英字のA～Z、半角数字の0～9、半角の_(アンダースコア)を使って付けます。表示される文字数は、31文字までです。

また、ファイル名には、必ず“.MP3” (MP3ファイル)、“.WMA” (WMAファイル)の拡張子を付けます。

- MP3やWMA以外のファイルにMP3またはWMAの拡張子を付けないでください。本機で再生できるファイルと誤認識され、大きな雑音が出てスピーカーが破損したり耳に悪い影響を与える恐れがあります。

フォルダー名やファイル名を付けるときのヒント

MP3やWMAファイルが収録されているディスクを本機で再生すると、フォルダーとファイルが書き込まれた順に曲が再生されます。フォルダー名やファイル名の頭に“01”～“99”などと再生する順番に番号を入力してから書き込むと、再生する順番を設定できます。

- 書き込みソフトによっては、意図した順番に書き込まれない場合もあります。

TAG情報^{タグ}について

MP3やWMAの圧縮ソフトによっては、それぞれのファイルのTAG情報として、タイトルやアーティスト名などの情報を音声ファイルといっしょに収録することができます。

本機では、収録されたTAG情報(タイトル・アーティスト名などの情報)を表示させることができますが、本機で表示させるタイトル・アーティスト名は半角英数字を使って入力してください(文字数は各30文字まで)。

- タイトル・アーティスト名の入力や保存の方法は、圧縮ソフトによって異なります。圧縮ソフトの取扱説明書またはヘルプファイルをご覧ください。

ファイルの確認

MP3やWMAファイルをCD-R/RWに書き込む前に、書き込みをする機器(パソコンなど)でそれぞれのファイルが正しく再生されることを確認してください。

CD-R/RWに書き込むとき

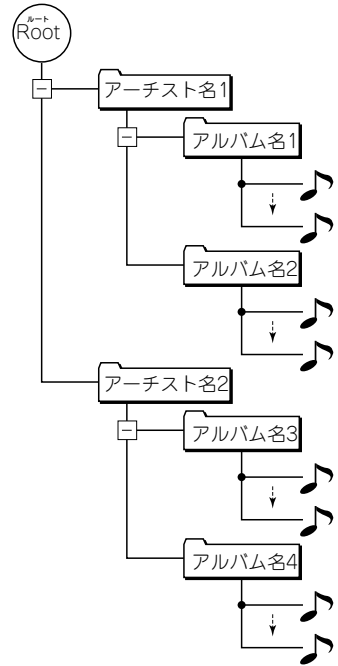
書き込んだメディアは必ずセッションクローズまたはファイナライズをしてください。

- 書き込みソフトによっては、書き込まれたフォルダー名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
- 本機で再生するMP3やWMA以外のファイルやフォルダーなどを書き込まないようにしてください。
- MP3やWMAファイルをCD-R/RWに書き込むときは、10セッション以内で書き込むことをおすすめします。
- MP3やWMAファイルとオーディオCDの通常の曲を1枚のCD-R/RWに書き込むと再生できない場合があります。

本機で再生する前に

書き込んだCD-R/RWを本機で再生する前に、書き込みをした機器(パソコンなど)でそれぞれのファイルが正しく再生されることを確認してください。

フォルダ概念図



CD、CD-R/RWディスク

ディスク取扱上のご注意



取り扱い

再生面にふれないように持ってください。

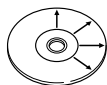
再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

糊のべたつき



保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

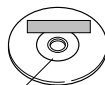
異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて



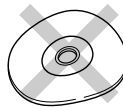
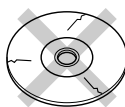
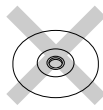
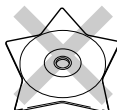
クランピングエリア

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のべたつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

ラベルなどを貼りつけたディスクはご使用にならないでください。故障の原因となります。



変形CD(星形、ハート形等)、ひび割れがある、大きくそったディスク、ディスク保護のためのスタビライザー等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。



ミニディスク

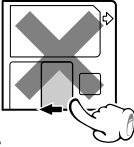
ミニディスクの取扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。

無理に開けるとこわれます。



置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。

従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

ディスクアクセサリーについて

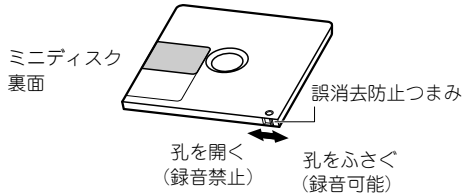
レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについてホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態しておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。



カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。また、ラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書(安全編)では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を選じたことによる損害

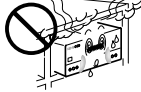
この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

- この機器は、交流 100 ボルト専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

放熱に注意

- 設置の際は、壁から 10cm 以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。
 - あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
 - 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
 - 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。



通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

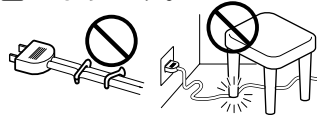
風呂、シャワー室では使用しない

- 風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

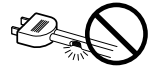


電源コードの取扱い

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。




異常が起きた場合は

- 煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。




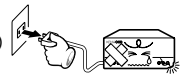
電源プラグは清潔に

 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。




落下した機器は使わない

 機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。




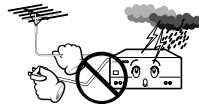
ケースを絶対に開けないでください

 機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。





雷が鳴り始めたら


 アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



機器の内部に水や異物を入れない


 機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

 機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。


 内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



電池は放置しない

 電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。電池をあやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

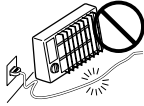
乾電池は充電しない

 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。



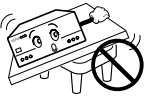
電源コードを熱器具に近付けない

- ❌ 電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所には置かない

- ❌ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



湿気やほこりのある場所に置かない

- ❌ 油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となります。



温度の高い場所には置かない

- ❌ 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

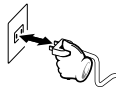


電源プラグの抜き差しは

- ❌ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ❌ 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
- ❌ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- ❗ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



長期間使用しないときは



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

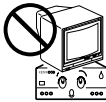


関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない



この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



アンテナ工事



アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



指をはさまない



お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない



レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて



はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。

突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

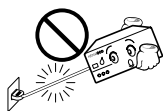
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス "+" と マイナス "-" の向き）に注意し、表示通りに入れてください。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。

お手入れの際は



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口にて費用を含めご相談ください。

内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

プレーヤー部とアンプチューナー部の接続

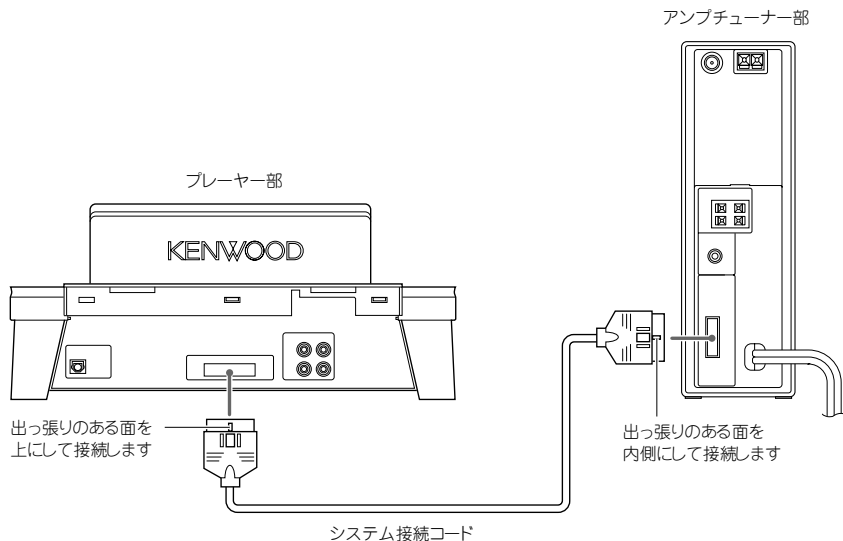
⚠注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。図のように接続してください。

接続したコード類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら...」を参照してマイコンをリセットしてください。--📖

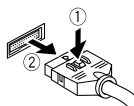


システム接続コードの接続について

[接続]



[取り外し]



- システム接続コードは、カチッと音がするまでまっすぐに差し込み、確実にロックしてください。
- システム接続コードを外すときは、電源をスタンバイにして、電源コードを電源コンセントから抜いてから、[取り外し]図の①を押しながら②の方向にまっすぐに引き出します。

アンプチューナー部と付属品の 接続

△注意

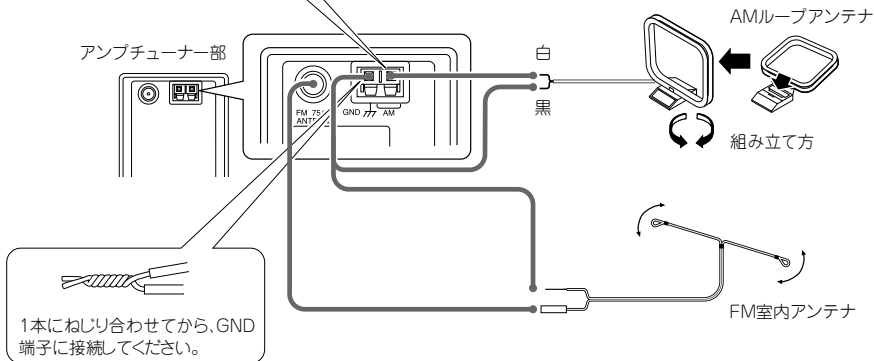
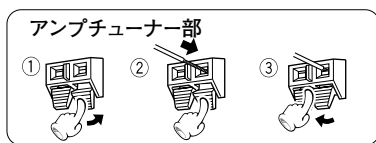
接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。図のように接続してください。

接続したコード類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

付属アンテナの接続

AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。



FM室内アンテナ

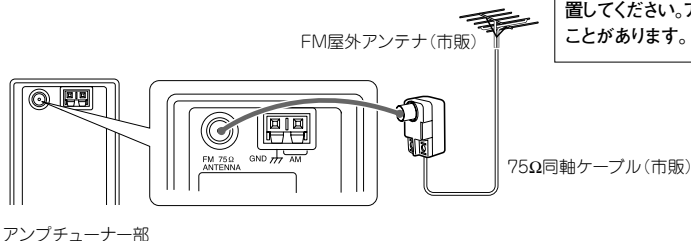
付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。

- ① 端子に差し込む。
- ② 受信状態のよい位置をさがす。
- ③ 固定する。

受信状態が悪いときは

FM屋外アンテナ(市販品)との接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続するときは、FM室内アンテナは取り外してください。



△注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

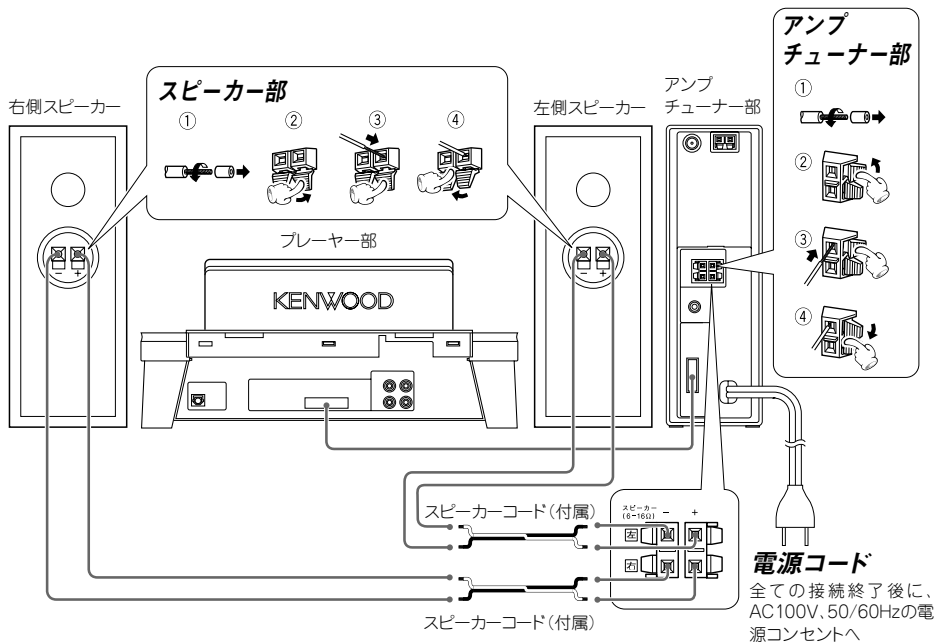
スピーカーの接続

スピーカーは図のように接続します。

- スピーカーコードの十とーは絶対にショートさせないでください。保護回路が働き、音が出なくなります。
- 極性(プラス、マイナス)を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。



- 全ての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因になります。



スピーカー設置位置とテレビについてのご注意

- 本機のスピーカーは、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再び電源をオンにしてください。テレビの自己消磁機能により、色ムラが改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、テレビからスピーカーを離して設置してください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置の際はご注意ください。
- テレビからの電磁波の誘導作用により、本機の電源がオフ(スタンバイ)のときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

他の機器(市販品)との接続

⚠注意

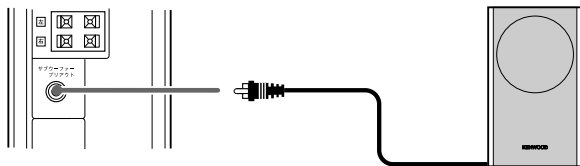
接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。機器の接続は、図のように行ってください。接続したコード類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

スーパーウーファー(SW-1010)(別売)との接続

重低音を力強く再生します。

アンプチューナー部

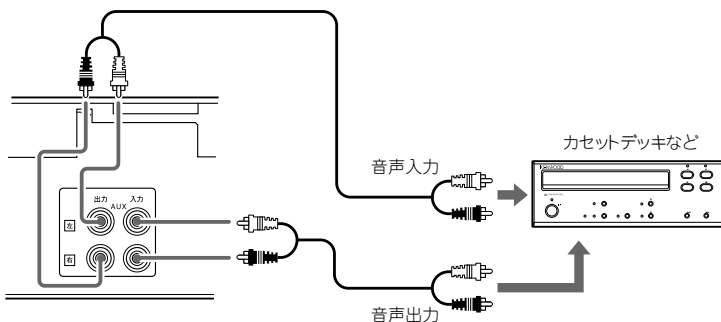
スーパーウーファー



外部ソース(音源)機器との接続

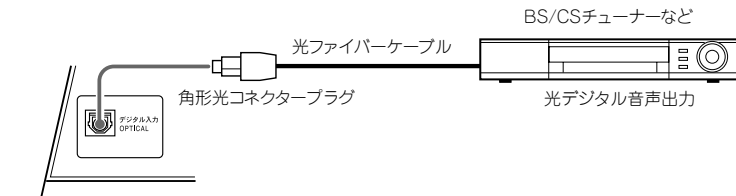
アナログ接続の場合

本機背面のAUX(入力/出力)端子を使って、カセットデッキなどを接続することができます。



デジタル接続の場合

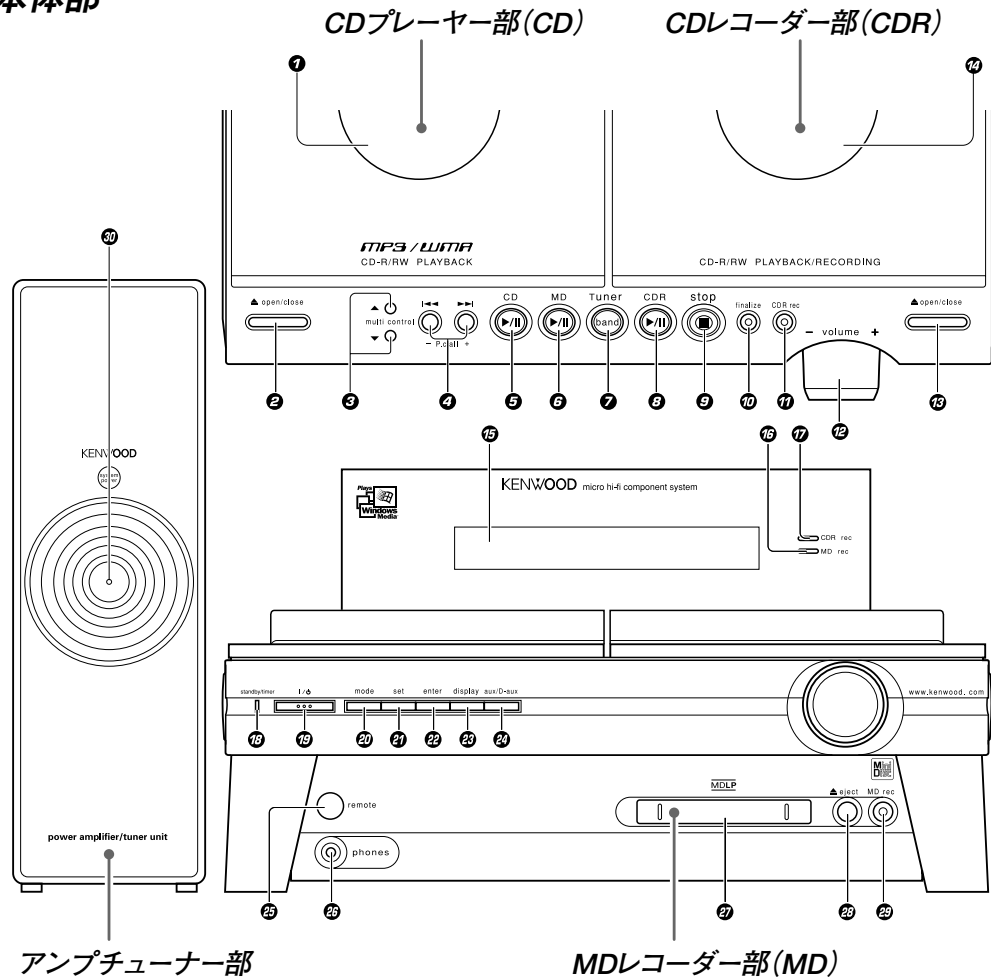
本機背面のデジタル入力^{オプティカル}OPTICAL端子を使って、BS/CSチューナーなどのデジタル機器を接続することができます。本機で再生、録音できるデジタル信号については、「サンプリング・レート・コンバーターについて」をお読みください。-48-



- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
- 角形光コネクタプラグは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 光ファイバケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。



本体部



設置場所について

振動に影響されるような場所には設置しないでください。

▲設置上のご注意

アンプチューナー部は上図のように縦置きで使用してください。横置きで使用すると、放熱が妨げられ内部に熱がこもり、火災の原因となります。

▲使用上のご注意

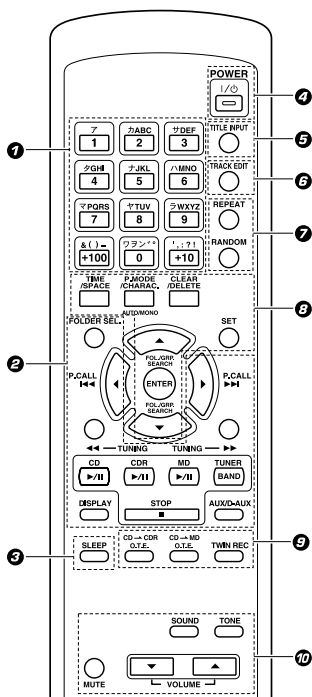
CDプレーヤー、CDレコーダーのカバーの開閉は必ず ▲open/closeキーを押して行ってください。カバーを直接手で開閉すると故障の原因となります。特にディスクが回転しているときに、カバーを手で開けるとディスクが飛び出て、けがの原因となることがあります。

スタンバイ状態について

プレーヤー部のstandby/timerインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

- ① CDプレーヤーカバー**
- ② CDプレーヤーカバー開閉(▲open/close)キー**
CDプレーヤーカバーを開閉するときに使います。
- ③ multi control(▲、▼)キー**
各種設定の選択、時刻合わせ、タイマー予約に使います。
CDプレーヤーでMP3、WMA収録フォルダー操作中のとき：
フォルダー選択に使用します。
MDレコーダーでグループ再生操作中のとき：
グループの選択に使用します。→[33]→[35]
- ④ I◀▶▶▶/P.callキー**
CDプレーヤー、CD/MDレコーダーで再生中のとき：
再生中の曲やファイルのスキップに使います。→[34]→[36]→[41]
CDプレーヤーでMP3、WMA収録ディスクをフォルダー
操作中のとき：フォルダーの選択に使用
します。→[38]
放送受信中のとき：プリセットした放送局の選択に使
います。→[43]
- ⑤ CD▶/II(再生/一時停止)キー**
電源オンのとき：入力がCDに切り換わります。→[33]→[35]
電源オフ(スタンバイ)のとき：システム電源をオンに
して、CDプレーヤーで再生するときに
使います。
CD入力の場合：再生/一時停止に使います。→[34]→[36]
- ⑥ MD▶/II(再生/一時停止)キー**
電源オンのとき：入力がMDに切り換わります。→[40]
電源オフ(スタンバイ)のとき：システム電源をオンに
して、MDレコーダーで再生するときに
使います。
MD入力の場合：再生/一時停止に使います。→[41]
- ⑦ Tuner/bandキー**
電源オンのとき：入力がTUNERに切り換わります。
電源オフ(スタンバイ)のとき：システム電源をオンに
して、放送を受信します。
放送受信中のとき：放送バンドを切り換えます。→[43]
- ⑧ CDR▶/II(再生/一時停止)キー**
電源オンのとき：入力がCDRに切り換わります。→[33]
電源オフ(スタンバイ)のとき：システム電源をオンに
して、レコーダーで再生するときに使
います。
CDR入力の場合：再生/一時停止に使います。→[34]
- ⑨ stop■キー**
電源オフ(スタンバイ)のとき：5秒間の時計表示を
します。→[30]
CDプレーヤー、CD/MDレコーダーで再生中のとき：
再生を停止します。→[34]→[36]→[41]
CD/MDレコーダーで録音中のとき：録音を停止
します。→[51]→[55]
放送受信中のとき：オート選局動作を止める
ときに使います。→[46]
- ⑩ finalizeキー**
CD-R/RWのファイナライズ処理するときに使
います。→[10]
- ⑪ CDR recキー**
CD-R/RWに録音するときに使います。→[51]
- ⑫ volumeノブ**
音量を調整するときに使います。→[31]
- ⑬ CDレコーダーカバー開閉(▲open/close)キー**
CDレコーダーカバーを開閉するときに使
います。→[33]→[49]
- ⑭ CDレコーダーカバー**
- ⑮ 表示部**→[29]
- ⑯ MD recインジケータ**
MDレコーダーで録音中に点灯し、録音一時
停止中は点滅します。→[55]
- ⑰ CDR recインジケータ**
CDRレコーダーで録音中に点灯し、録音一時
停止中は点滅します。→[51]
- ⑱ standby/timerインジケータ**
電源オンのとき：消灯
電源オフ(スタンバイ)のとき：赤色の点灯
タイマースタンバイ状態：オレンジ色の点
灯→[10]
- ⑲ I/IIキー**
電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換
えます。→[31]
- ⑳ modeキー**
設定モードにするとき、設定モードを解
除するときに使います。→[29]
- ㉑ setキー**
電源オンのとき：選択内容の設定や確定
などに使います。→[29]
放送受信中のとき：オートプリセットした
放送局名をかえるときに使います。→[44]
- ㉒ enterキー**
選択内容の確定に使います。
- ㉓ displayキー**
CD/MDレコーダーで録音中に、再生側
ソースの表示と録音側の表示を切り換
えるときに使います。→[52]→[55]
- ㉔ aux/D-aux(外部入力)キー**
AUX端子、デジタル入力端子に接続した
外部機器の入力ソースを再生、録音する
ときに使います。→[31]→[10]
- ㉕ リモコン受光部**
- ㉖ phones端子**
ステレオミニプラグのヘッドホン(別売)を
接続します。
- ㉗ MD挿入口**
- ㉘ MD取出し(▲eject)キー**
MDを取り出すときに使います。→[41]
- ㉙ MD recキー**
MDに録音するときに使います。→[55]
- ㉚ システムインジケータ**
電源オンのとき：点灯
電源オフ(スタンバイ)のとき：消灯

リモコン部



① 数字、文字入力キー

CD、CDR、MD入力するとき: 数字キーとして使います。

- [34] - [36] - [41]

放送受信中のとき: 放送局を呼出すときまたはプリセットするときに使います。 - [43] - [46]

CD-R/RWおよびMDにタイトル入力するとき: 文字や記号の選択に使います。 - [100]

② 基本操作キー

FOLDER SEL. キー

CDプレーヤーでMP3、WMA収録ディスクのフォルダーを選択するときに使います。 - [39]

P.CALL / P.CALL キー

CDプレーヤー、CD/MDレコーダーで再生中のとき: 再生中の曲のスキップに使います。

- [34] - [36] - [41]

CDプレーヤーでMP3、WMA収録ディスクをフォルダー操作中のとき: フォルダーの選択に使います。 - [38]

放送受信中のとき: プリセットした放送局の選択に使います。 - [43]

◀◀、▶▶ キー

CDプレーヤー、CD/MDレコーダーで再生中のとき: 再生中の曲の早送り、早戻しに使います。 - [34] - [36] - [41]

放送受信中のとき: 放送局の選択に使います。 - [46]

CD-R/RWおよびMDにタイトル入力するとき:

カーソルの移動に使います。 - [100]

CD ▶/|| (再生/一時停止) キー - [33] - [36]

CDR ▶/|| (再生/一時停止) キー - [33]

MD ▶/|| (再生/一時停止) キー - [40]

TUNER/BAND キー

入力をTUNERに切り換えます。 - [43]

放送バンドを切り換えます。 - [43]

DISPLAY キー

CD/MDレコーダーで録音中に、再生側ソースの表示と録音側の表示を切り換えるときに使います。 - [52] - [65]

STOP ■ (停止) キー

電源オフ(スタンバイ)のとき: 5秒間の時計表示をします。CDプレーヤー、CD/MDレコーダーで再生中のとき: 再生

を停止します。 - [34] - [36] - [41]

CD/MDレコーダーで録音中のとき:

録音を停止します。 - [51] - [65]

放送受信中のとき: オート選局動作を止めるときに使います。 - [46]

AUX/D-AUX (外部入力) キー

AUX端子、デジタルAUX入力端子に接続した機器の入力ソースを再生、録音するときに使います。 - [31] - [100]

③ SLEEP キー

SLEEPタイマーを設定するときに使います。 - [100]

④ POWER (I / O) キー

⑤ TITLE INPUT キー

CD-R/RWやMDにタイトル入力をするときに使います。 - [100]

⑥ TRACK EDIT キー

CD-RWの消去、アンファイナライズなどの機能選択に使います。 - [100] - [100]

MDの曲を編集するとき、グループの登録、曲の入れ替え、消去などに使います。 - [100]

⑦ CD/CDR/MD再生関連キー

REPEAT キー

CDプレーヤー、CD/MDレコーダーでくり返し再生するときに使います。 - [64] - [66] - [67]

RANDOM キー

CDプレーヤー、MDレコーダーで曲順を順不同に再生します。 - [68] - [69]

⑧ CD/CDR/MD編集関連キー

TIME/SPACE キー

CD、CDR、MD入力するとき: タイトル表示や、再生、録音時間表示を切り換えるときおよび、タイトル入力(CDR、MDのみ)のとき1文字分の空白を入れます。

- [34] - [36] - [41] - [100]

放送受信中のとき: 周波数表示と局名表示を切り換えるときに使います。 - [44]

SETキー

電源オンのとき : 選択内容の設定や確定などに使います。 → [29]

放送受信中のとき : オートプリセットした放送局名をかえるときに使います。 → [44]

P.MODE/CHARAC. (AUTO/MONO)キー

CD入力するとき : フォルダ再生およびプログラム再生に使います。 → [39] → [60] → [62]

MD入力するとき : グループ再生およびプログラム再生に使います。 → [42] → [60]

放送受信中のとき : 選局方法を選ぶときに使います。 → [46]

CD-R/RWおよびMDにタイトル入力するとき : 文字や記号の選択に使います。 → [4]

CLEAR/DELETEキー

CD、CD-R、MD入力するとき、プログラム内容(CD、MDのみ)や文字入力(CD-R、MDのみ)の取り消しに使います。 → [61] → [63] → [4]

▲、▼ (FOL./GRP.SEARCH)キー

CDプレーヤーでMP3、WMAフォルダ操作中のとき : フォルダ選択に使用します。 → [37] → [38] → [39]

MDレコーダーでグループ再生操作中のとき : グループの選択に使用します。 → [42]

ENTERキー

選択内容の確定に使います。

CDR/MD録音関連キー**TWIN REC**キー

CD再生中と再生中の曲だけを、CD停止中に押すと全曲を、CD-R/RWにワンタッチで同時録音します。 → [98] → [101] → [103]

CD→CDR O.T.E.キー

CD再生中に押すと再生中の曲だけを、CD停止中に押すとCD全曲を、CD-R/RWにワンタッチで録音します。 → [78] → [80] → [82] → [84]

CD→MD O.T.E.キー

CD再生中に押すと再生中の曲だけを、CD停止中に押すとCD全曲を、MDにワンタッチで録音します。 → [86] → [89] → [92] → [94]

音質関連キー**SOUND**キー

S.DIRECT、N.B.1、N.B.2を選ぶときに使います。 → [32]

toneキー

低音域、中音域、高音域の音質調整に使います。 → [32]

MUTEキー

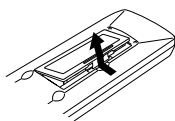
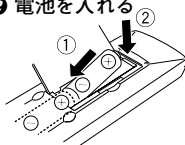
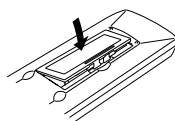
一時的に音を消すときに使います。 → [32]

VOLUMEキー

音量、音質の調整に使います。 → [31]

リモコンの使いかた

電池の入れかた

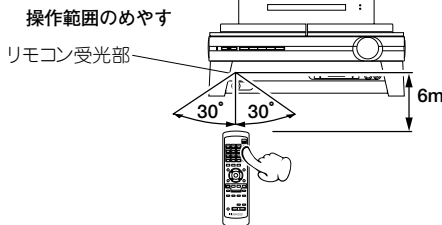
① カバーを開く**② 電池を入れる****③ カバーを閉める**

● 単三乾電池2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

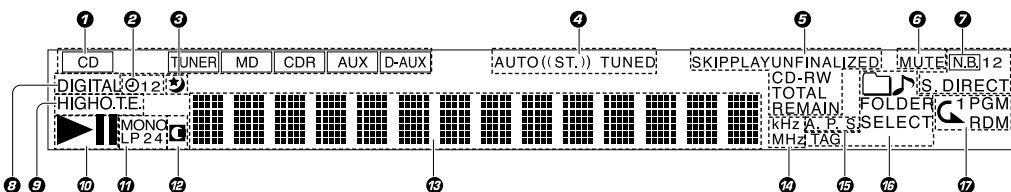
電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの**POWER**(I/O)キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。



- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
- 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

表示部



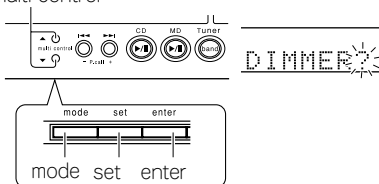
- ① 入力表示
(CD、TUNER、MD、CDR、AUX、D-AUX)
- ② タイマー表示 (⊙1、⊙2)
- ③ SLEEP表示 (☾)
- ④ チューナー関連表示
(CD(プレーヤー、レコーダー)、MD関連表示)
- ⑤ MUTE表示
- ⑥ 音質調整関連表示
(N.B.1、N.B.2、S.DIRECT)
- ⑧ DIGITAL録音表示
- ⑨ ワンタッチエディット録音関連表示
(HIGH O.T.E.、O.T.E.)
- ⑩ ▶(再生)、|| (一時停止)表示
- ⑪ MD REC MODE表示
(LP2、LP4、MONO)
- ⑫ ミニディスク表示 (◻)
- ⑬ 挿入されていると点灯します。挿入中、排出中、"MD READING"表示中、"MD WRITING"表示中は点滅します。
- ⑭ 文字情報表示部
(入力表示、再生時間、タイトル表示など)
- ⑮ 放送周波数単位
- ⑯ A.P.S.(オートパワーセーブ)表示
- ⑰ MP3、WMAファイル再生関連表示
- ⑱ ◻はMDグループ再生のときも点灯します。
- ⑲ CD(プレーヤー、レコーダー)、MD関連再生モード表示

表示部の明るさの調整について (DIMMER)

本機の表示部の明るさをお好みによって切り換えることができます。

- ① modeキーを押す
- ② multi controlキーを押して"DIMMER?"を選び、setキーを押す
- ③ multi controlキーを押して"LOW(暗い)"または"HIGH(明るい)"を選び、setキーまたはenterキーを押す

multi control



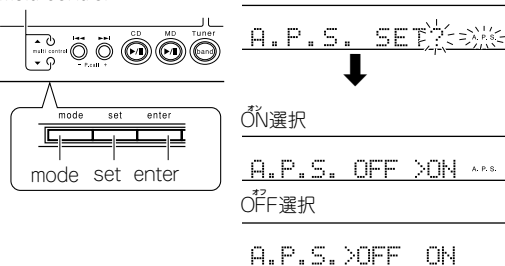
オートパワーセーブ機能について (A.P.S.: Auto Power Save)

電源がオンで、録音も再生もしていない状態のとき、約30分放置すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になる機能です。次の操作で、使う(ON)/使わない(OFF)を選びます。

- ① modeキーを押す
- ② multi controlキーを押して"A.P.S. SET?"を選び、setキーを押す
- ③ multi controlキーを押して"ON"または"OFF"を選び、setキーまたはenterキーを押す

- ソース(音源)がTUNERまたはD-AUX、AUXの場合、音量が"0"のときに限りオートパワーセーブが働きます。
- この機能が働いているときは、表示部に"A.P.S."が点灯します。

multi control



ON選択

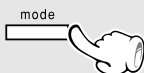
A.P.S. OFF > ON A.P.S.

OFF選択

A.P.S. > OFF ON

設定モードの選択操作

① modeキーを押す



② 設定したい項目を選ぶ



③ setキーを押す



②と③をくり返し、設定します。

- 操作中に約20秒放置するとモードの選択は解除されます。
- モードの選択中に各設定を途中でやめる場合は、もう一度modeキーを押します。
- 録音中はモードの切り換えはできません。

④

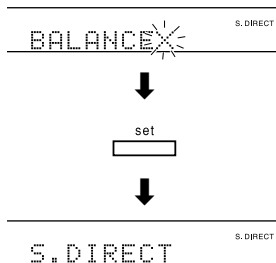
押すたびに文字表示部が切り換わります。

"O.T.E. MODE?"	→ [78]
ワンタッチエディット モード "O.T.E. SPEED?"	→ [77]
ワンタッチエディット スピード "REC INPUT?"	→ [52] → [57]
レコーディング インพุット (CD入力するとき)	
"TRACK MARK?"	→ [10]
トラック マーク (D-AUX入力以外するとき)	
"AUTO TRACK?"	→ [10]
オート トラック (TUNER入力するとき)	
"MD REC MODE?"	→ [56]
レコーディング モード "MD GROUP MAKE?"	→ [87]
グループ メイク	
"ケンメイセツテイ?"	→ [44]
チューナー (TUNER入力するとき)	
"SKIP PLAY?"	→ [71]
スキップ プレイ (CD、CDR入力するとき)	
"AUX INPUT?"	→ [10] → [10]
レコーディング インพุット (AUX入力するとき)	
"REC GAIN?"	→ [10]
レコーディング ゲイン (AUX入力するとき)	
"BALANCE?"	→ [32]
バランス	
"DIMMER?"	→ [28]
フェン	
"A.P.S. SET?"	→ [28]
オート/のこりセーブ セット セット	
"TIMER SET?"	→ [10]
タイマー セット	

設定モードの表示について("X"の表示)

設定モードを選択するときの状態によっては、表示されていても選択できない項目があります。そのときは表示部に"?"の代わりに"X"が点滅します。そのままsetキーを押すと、原因、状態などが表示されます。

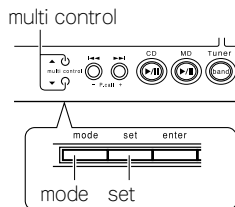
例:バランス調整のとき



- "BALANCE?"と表示され、"?"が点滅しているときは選択し、設定することができますが、"?"の代わりに"X"が点滅したときは選択できません。
- setキーを押すと、選択できない原因、状態が表示されます。
この例での表示できない原因：
"S.DIRECT"を選択しているときは、"BALANCE"調整はできません。

本機には、時計機能がついています。タイマー機能を使う前に必ず正確な時刻を合わせてください。

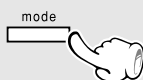
時刻を合わせた後に停電があったり、電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、時計表示にするとその時点の時刻が点滅表示されます。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。



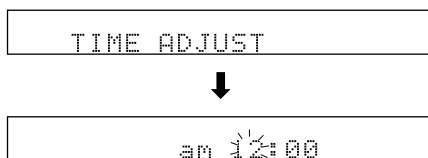
電源をオンにする

1 時刻合わせモードにする

モードキーを2秒以上押す



- 時間表示が点滅を始めます。



2 時間を合わせる

マルチコントロールキーを押して"時"を合わせる

"時"が進む



multi control

"時"が戻る

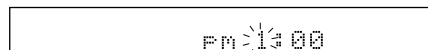


セットキーを押す

set



- 午後1時30分に合わせる例



- 時間は12時間(am/pm)で表示されます。

2

- setキーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅します。

3 分を合わせる

マルチコントロールキーを押して"分"を合わせる

"分"が進む



multi control

"分"が戻る

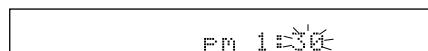


セットキーを押す

set



- 午後1時30分に合わせる例



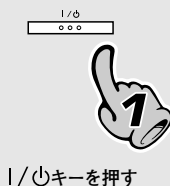
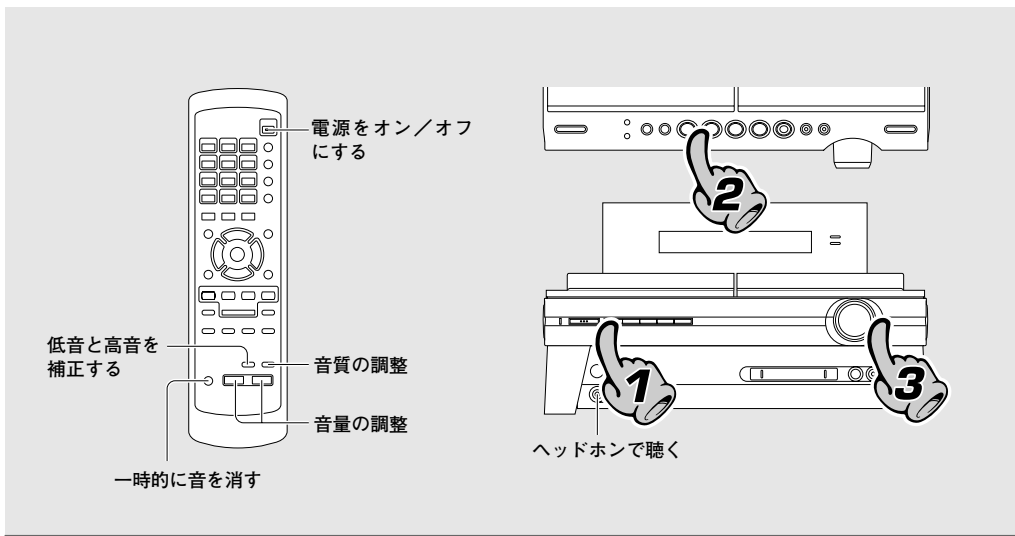
- 間違えて押したときは、モードキーを押して最初からやり直してください。

2

- 時報と同時にsetキーを押すと正確に時刻を設定することができます。

電源オフ(スタンバイ)のとき:

本体stop■またはリモコンのSTOP■キーを押すと5秒間だけ時計表示します。



1 電源をオンにする(オフにする)

電源がオンのときに I / 0 キーを押すとオフ(スタンバイ)になります。

- 電源をオンしてから数秒間は、回路保護のためミュート(音が出ない)状態になります。
- 電源がオフ(スタンバイ)のとき CD▶/II、CD▶/II、MD▶/II または、^{チューナー}band、aux/D-aux キーを押すと、電源がオンになり、その入力に切り換わり再生(受信)状態になります。(ワンタッチオペレーション機能)
- 電源をオフ(スタンバイ)にすると、I / 0 キーを押しても電源がオフになるまで時間がかかる場合があります。しばらくすると電源がオフになります。

CDを選んだとき

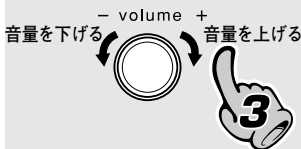


2 聴きたいソース(音源)を選ぶ

(入力を切り換える)

- CDプレーヤー : CD▶/II キーを押す
- MDレコーダー : MD▶/II キーを押す
- ラジオ放送 : Tuner/band キーを押す
- CDレコーダー : CDR▶/II キーを押す
- 外部アナログ機器 : aux/D-aux キーを "AUX" 表示が点灯するまで繰り返し押す
- 外部デジタル機器 : aux/D-aux キーを "D-AUX" 表示が点灯するまで繰り返し押す

- CD▶/II、MD▶/II、CD▶/II キーを押すとディスクの再生が始まります。ディスクが入っていない場合は、"NO DISC" が表示します。



3 音量を調整する

- リモコンの VOLUME キーでも同様の操作ができます。 音量の表示
- 表示部に目安の数字が表示します。 VOLUME 17

一時的に音を消す (MUTE)

リモコンのみ



- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

ヘッドホンで聴く

- ① ヘッドホンのプラグをphones端子に差し込む



- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

- ② volumeノブまたはリモコンのVOLUMEキーで音量を調整する

音質の調整 (TONE)

リモコンのみ

低音域 (BASS)、中音域 (MID)、高音域 (TREBLE) の調整ができます。調整をした場合はN.B. (ナチュラルバス) 効果は解除されます。

- ① TONEキーを押して"BASS"の設定にする。VOLUMEキーでお好みのレベルを設定してください



BASS +2

- ② "BASS"表示中にTONEキーを押すと"MID"の設定になります。VOLUMEキーでレベルを設定してください

- ③ "MID"表示中にTONEキーを押すと"TREBLE"の設定になります。VOLUMEキーでレベルを設定してください

- ④ TONEキーを押して、調整を終了する

- BASS、MID、TREBLEともに-4 ~ +4の範囲で調整できます。

低音と高音を補正する (N.B. : Natural Bass circuit)

リモコンのみ



押すたびに表示が切り換わります。

- "N.B.1" 音量に応じて低音と高音を強調します。
- "N.B.2" 低音のみ強調します。
- "S.DIRECT" CDやMDなどソース (音源) の音を、本機の音質調整回路を通さずに、なるべく原音に忠実に聴くことができます。
- 消灯 音質調整された音を聴くことができます。

バランスの調整 (BALANCE)

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

- ① modeキーを押す



- ② multi controlキーを押して"BALANCE?"を選び、setキーを押す



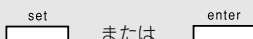
- S.DIRECTを選んでいるときは、調整できません。"X"と表示されます。"設定モードの表示について"- [29]

- ③ multi controlキーを押して、左右のバランスを調整する
左 (L) チャンネル側の音量を大きくしたときの例

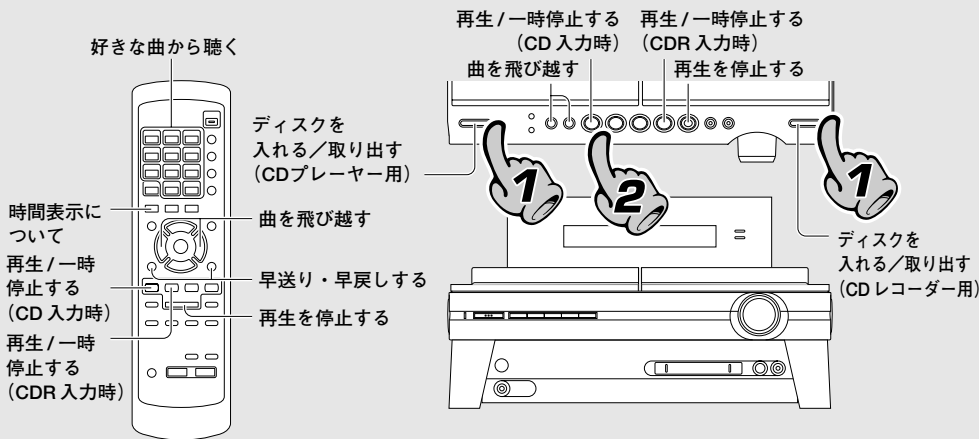


- ▲ (アップ) キーで右 (R) チャンネル側、▼ (ダウン) キーで左 (L) チャンネル側にカーソルを調整します。バランス中央値は "+" と表示しています。

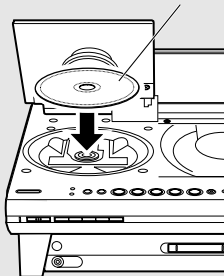
- ④ setまたはenterキーを押す



CDプレーヤーまたはCDレコーダーで聴く



レベル面を上にする



再生面には、触れないでください

1 ディスクを入れる

- 1 CDプレーヤーまたはCDレコーダーカバー開閉(▲)キーを押してカバーを開ける
- 2 ディスクを入れる
- 3 CDプレーヤーまたはCDレコーダーカバー開閉(▲)キーを押してカバーを閉める

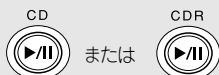
カバーは直接手で閉めないでください。無理にカバーを閉めると故障の原因となります。

- 入力切り換えが"CD"^{リーディング}のとき"CD READING"^{リーディング}、入力切り換えが"CDR"^{リーディング}のとき"CDR READING"^{リーディング}が数秒間点滅表示します。
- 8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。
- ファイナライズ処理をしていないCD-R/RWはCDプレーヤーでは再生できません。(→[8]) CDレコーダーでお聴きください。

CDレコーダーに未使用のディスクやファイナライズしていないディスクを入れたとき、"CDR READING"^{リーディング}や"CDR OPC"^{リーディング}がしばらくの間点滅表示し続けることがあります。"OPC処理について" → [49]

2 再生をはじめ(入力が"CD"、"CDR"に切り換わります)

- CDプレーヤーで再生するときはCD▶/||キーを押します。
- CDレコーダーで再生するときはCD▶/||キーを押します。



再生中の曲番

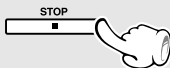
再生中の曲の経過時間

再生/一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

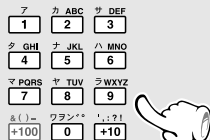
再生を停止する



好きな曲から聴く

リモコンのみ

曲を選ぶ



数字キーを押す順序は

12曲目なら +10, 2

20曲目なら +10, +10, 0

- 数字キーを押すと、自動的に再生が始まります。

早送り・早戻しする

リモコンのみ

再生中にキーを押し続ける



- 手を離れたところから再生します。
- CDプレーヤーでは一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。CDレコーダーでは一時停止中の早送り、早戻しはできません。

CD TEXT 機能について

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。

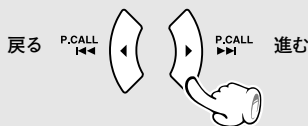
入力CDのとき:

表示できる文字数は約1500文字までです。それ以上は"TEXT FULL"と表示されます。

入力CDRのとき:

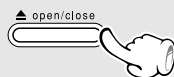
表示できる文字数は23文字までです。それ以上は"XXX<<<"と表示されます。

曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に<<<キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く<<<キーを押します。
- 停止中でも<<<、>>>キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

ディスクを取り出す



CDプレーヤー、CDレコーダーの時間表示について(リモコンのみ)

タイム スペース
TIME/SPACEキーを押すたびに表示が切り換わります。

曲の経過時間	02	0:07
曲の残り時間	02	-4:53
ディスク全体の経過時間	02	5:07 TOTAL
ディスク全体の残り時間	02	-54:53 TOTAL
ディスクの録音可能残り時間	02	14:00 REMAIN
CDテキスト情報表示	02 SATISFACTI	

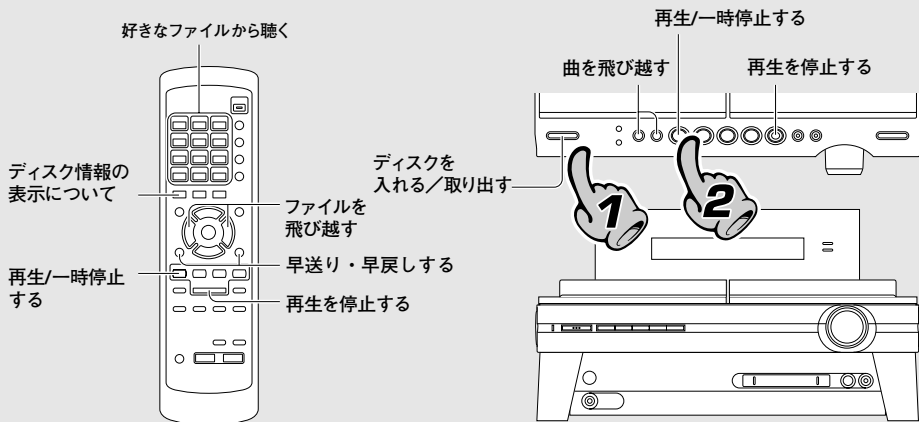
- CD-TEXT情報表示の際、CD再生中は曲のタイトルが、CD停止中はディスクタイトルを表示します。
- プログラム再生などで、トータル1000分以上になると"---"と表示し時間表示ができません。(入力CDのとき)
- CDテキスト情報表示はCD TEXT対応ディスクではない場合や、テキストデータのないディスクの場合"....."と表示します。

MP3、WMAファイルの再生について

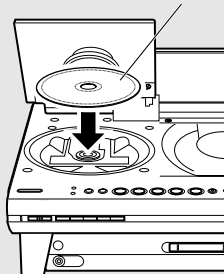
MP3、WMA収録ディスクは階層構造を持ったフォルダーから構成されており、ファイルはフォルダーに含まれています。



CDプレーヤーで聴く



レーベル面を上にする



再生面には、触れないでください

1 ディスクを入れる

- ① CDプレーヤーカバー開閉(▲)キーを押してカバーを開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ CDプレーヤーカバー開閉(▲)キーを押してカバーを閉める

カバーは直接手で閉めないでください。無理にカバーを閉めると故障の原因となります。

- MP3、WMA収録ディスクは、確認のため再生できるようになるまで時間がかかります。入力切り換えが"CD"のとき、"CD READING"がしばらく点滅表示し、その後ROOTフォルダータイトルを表示します。
- セッションクローズまたはファイナライズ処理をしていないCD-R/RWは再生できません。

2 再生をはじめめる(入力が"CD"に切り換わります)



再生中のファイル番号 再生中のファイルの経過時間

- ファイルはファイル番号順で再生します。
- フォルダー数256、ファイル数999を超えて収録された分は再生できません。
- WMAディスクで著作権管理が有効に設定されているファイル"PROTECTED"と表示し、次のファイルが再生します。

再生/一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

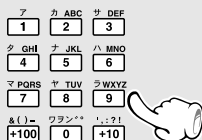
再生を停止する



好きなファイルから聴く

リモコンのみ

ファイルを選ぶ

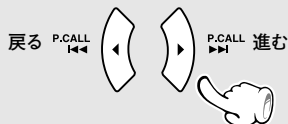


数字キーを押す順序は

- ファイル番号12を選ぶ +10, 2
- ファイル番号20を選ぶ +10, +10, 0
- ファイル番号213を選ぶ +100, +100, +10, 3

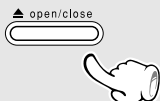
- 数字キーを押すと、自動的に再生が始まります。

ファイルを飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだファイルの最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを押すと、そのファイルの最初に戻ります。
- さらに手前のファイルにスキップするときは素早く◀◀キーを押します。
- 停止中でも◀◀、▶▶キーを押してファイルをスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

ディスクを取り出す



早送り・早戻りする

リモコンのみ

再生中にキーを押し続ける



- 早送り、早戻し中は音は出ません。
- 手を離したところから再生します。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となります。
- 早送り(早戻し)中に次のファイル(前のファイル)になったときは通常の再生になります。

MP3/WMA収録ディスク情報の表示について

リモコンのみ

TIME/SPACEキーを押すたびに表示が切り換わります。

停止中

時間表示

001 0:00

ROOTフォルダータイトル

Disc Title

再生中

ファイルの経過時間

001 3:15

ファイルタイトル

001 No1.MP3

または

001 No1.WMA

TAG情報(タイトル)

001 No1 TAG

TAG情報(アーティスト)

001 Dolphins TAG

再生フォルダータイトル

001 My Favorit

- ".MP3"はMP3のファイルを、".WMA"はWMAのファイルであることを表示しています。
- TAG情報(タイトル)が表示するときは、タイトル名の前に"TITLE:"がつきます。(→[11])
- TAG情報(アーティスト)が表示するときは、アーティスト名の前に"ARTIST:"がつきます。(→[11])

フォルダーサーチして再生する

フォルダーを次々と送り(サーチ)、聴きたいフォルダータイトルを探して再生することができます。収録された順にフォルダーがサーチし、サーチしたフォルダー以降の全ファイルが再生します。

再生中または停止中に▲、▼キーを押して聴きたいフォルダータイトルを選ぶ

前のフォルダーに戻る

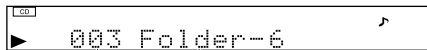


次のフォルダーに進む

- ▲キーを押すと、前のフォルダーに戻ります。
- ▼キーを押すと、次のフォルダーに進みます。
- 本体のmulti controlキーでも操作できます。

停止中にフォルダーを選んだときは:

CD▶/IIキーを押して再生する



ファイル番号 選択したフォルダータイトル

- 選択したフォルダータイトルを表示し、そのフォルダーの最初のファイルから再生が始まります(再生中に操作したとき)。
- ファイル番号は停止中に操作したときには表示しません。
- 選択したフォルダーにファイルが含まれていないときは、次のフォルダーが選択されます。
- TIME/SPACEキーを押して、ディスクについての情報を見ることができます。(→[36])

ファイル"♪" "およびフォルダー"□"の表示について

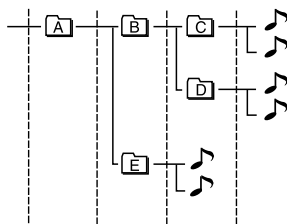
MP3、WMA収録ディスク使用時、ファイル"♪" "およびフォルダー"□"は次のように点灯します。

- ♪ : ディスクにファイルがあるときに点灯します。
- : 選択したフォルダーの中に別のフォルダーがあるときに点灯します。

フォルダーセレクト操作(→[36])によるフォルダー選択中の表示:

- ♪ : 選択したフォルダーの中にファイルがあるときに点灯します。ファイルがないときは"NO FILE"が表示されます。
- : 選択したフォルダーの中に別のフォルダーがあるときに点灯します。

(例)



フォルダーAを選択したとき、中に含まれるフォルダーはB、C、D、Eです。

フォルダーBを選択したとき、中に含まれるフォルダーはC、Dです。

フォルダーセレクトして再生する

聴きたいフォルダータイトルを選択して再生することができます。選択したフォルダー以降の全ファイルが再生します。

① 停止中にFOLDER SEL.キーを押す

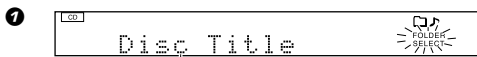


② ◀◀、▶▶および▲、▼キーを押してフォルダータイトルを選ぶ



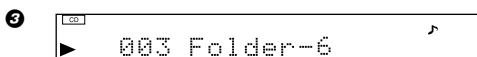
フォルダーの選びかたは、このページの"◀◀、▶▶、▲、▼キー操作によるフォルダーの選びかた"をお読みください。

③ SETキーを押して再生する



ROOTフォルダータイトル

- "FOLDER SELECT"が点滅、ROOTフォルダータイトルを表示し、ROOTフォルダーが選択された状態となります。この状態で手順③のSETキーを押すとディスクの全ての曲を再生します。
- ROOTフォルダー以外にフォルダーがないディスクでは、手順②のキー操作はできません。SETキーを押すとディスクの全ての曲を再生します。



ファイル番号 現在のフォルダータイトル

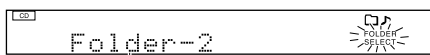
- 選択したフォルダーの最初のファイルから再生が始まります(フォルダーセレクトは解除になります)。
- 再生中はTIME/SPACEキーを押して、ディスクについての情報を見ることができます。(→[36])

◀◀、▶▶、▲、▼キー操作によるフォルダーの選びかた

第2階層以降のフォルダーは、次のように◀◀、▶▶、▲、▼キーの操作でフォルダーを選択します。

① ▶▶キーを押す

- 第2階層の最初のフォルダーが選択された状態になります。



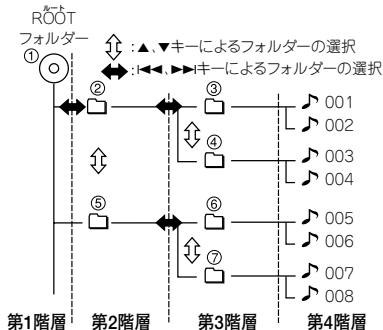
フォルダータイトル

② ◀◀、▶▶および▲、▼キーを押して聴きたいフォルダータイトルを選ぶ

- ◀◀キーを押すと前の階層のフォルダーに戻り、▶▶キーを押すと次の階層のフォルダーに進みます。本体の◀◀、▶▶キーでも操作できます。
- ▲キーを押すと同一階層の前のフォルダーにジャンプし、▼キーを押すと同一階層の次ぎのフォルダー側にジャンプします。本体のmulti controlキーでも操作できます。
- 選択したフォルダーの中にファイルがあるときは、"♪"が点灯し、ファイルがないときは、"NO FILE"が表示します。
- 選択したフォルダーの中に別のフォルダーがあるときは"□"が点灯します。
- フォルダーセレクトをキャンセルしたいときは、FOLDER SEL.キーをもう一度押して、"FOLDER SELECT"を消灯させます。

MP3、WMA収録ディスクが下図の構成の場合、フォルダーは次のように選択します。

フォルダー②から④を選ぶには▶▶、▼の順でキーを押します。フォルダー④から②に戻るには、◀◀キーを押して直接戻るか▲、◀◀の順でキーを押してフォルダー③を経由して戻ります。フォルダー⑤が選ばれているとき▲キーを押すとフォルダー②に、◀◀キーを押すとROOTフォルダーに戻ります。フォルダー④から⑥を選ぶときには、フォルダー②、⑤を経由して選びます。



聴きたいフォルダーだけを再生する(フォルダー再生モード)

聴きたいフォルダータイトルを探し、そのフォルダー内のファイルだけを再生することができます。

- ① 再生中または停止中にP.MODE/CHARAC.キーを押して"FOLDER"を点灯させる



- ② ▲、▼キーを押して聴きたいフォルダータイトルを選ぶ

前のフォルダーへ戻る



次のフォルダーに進む



- ▲キーを押すと、前のフォルダーに戻ります。
- ▼キーを押すと、次のフォルダーに進みます。
- 本体のmulti controlキーでも操作できます。

停止中にフォルダーを選んだときは:

CD▶/||キーを押して再生する



- ① 押すたびに表示が切り換わります。

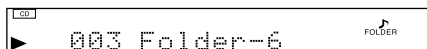
"FOLDER"点灯
"PGM"点灯(停止中のとき)
"FOLDER"、"PGM"消灯



ファイル番号 現在のフォルダータイトル

- ファイル番号は停止中に操作したときには表示しません。

- ②



ファイル番号 選択したフォルダータイトル

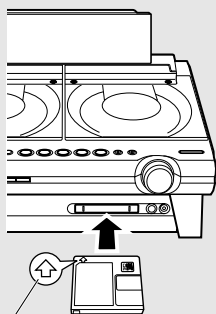
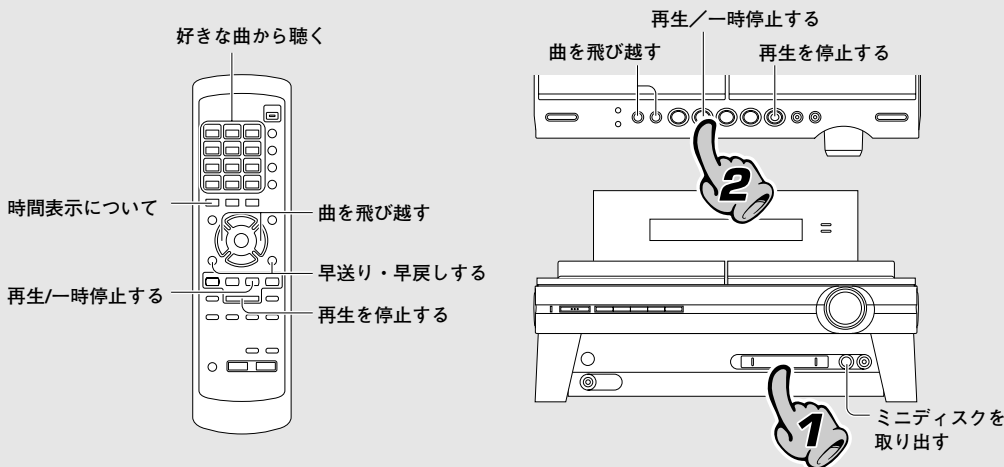
- ファイル番号は停止中に操作したときには表示しません。
- 選択したフォルダータイトルを表示し、そのフォルダーの最初のファイルから再生が始まります。(再生中に操作したとき)
- 選択したフォルダーにファイルが含まれていないときは、次のフォルダーが選択されます。
- TIME/SPACEキーを押して、ディスクについての情報を見ることができます。(→36)
- 選択したフォルダーの再生を終了すると停止します。続けてフォルダーを選んで再生したいときは、手順②を繰り返します。

フォルダー再生モードを解除する

リモコンのみ

P.MODE/CHARAC.キーを押して"FOLDER"および"PGM"表示を消灯させる





矢印の方向に入れる

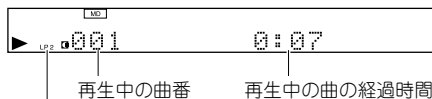
1 ミニディスクを入れる

ミニディスクの方向をよく確認して挿入してください。

- ミニディスク表示"**MD**"が数秒間点滅表示します。入力切り換えが"MD"のとき"**MD READING**"が同時に数秒間点滅表示し、その後タイトルが記録されているディスクは、ディスクタイトルを表示します。

電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

2 再生をはじめると(入力が"MD"に切り換わります)



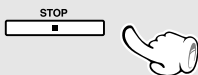
MDを再生するとその曲の録音モード(MD RECORDING MODE)が自動で認識され、表示します(LP2, LP4, MONO)。また、ステレオ録音モード(STEREO)のときは表示は消灯します。→[56]

再生/一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を停止する



好きな曲から聴く

リモコンのみ

曲を選ぶ

ア	カ ABC	サ DEF
1	2	3
タ GHI	ナ JKL	ハ MNO
4	5	6
マ PQRS	ヤ TUV	ワ XYZ
7	8	9
&(-) 0	ワラン	1:21 +10



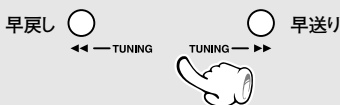
数字キーを押す順序は

- 12曲目なら +10, 2
- 20曲目なら +10, +10, 0
- 213曲目なら +100, +100, +10, 3
- 数字キーを押すと、自動的に再生が始まります。

早送り・早戻しする

リモコンのみ

再生中に押し続ける



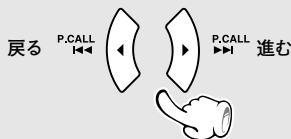
- 手を離れたところから再生します。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。

ミニディスクを取り出す



- ミニディスクを、取り出したまま、挿入口に放置しないでください。

曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く◀◀キーを押します。
- 停止中でも◀◀、▶▶キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

MDレコーダーの時間表示について

リモコンのみ

タイム スペース
TIME/SPACEキーを押すたびに表示が切り換わります。

曲の経過時間	002	0:07
曲の残り時間	002	-4:53
ディスク全体の経過時間 (グループ再生中はグループ全体の経過時間)	002	5:02 TOTAL
ディスク全体の残り時間 (グループ再生中はグループ全体の再生残り時間)	002	-54:53 TOTAL
録音可能残り時間 設定されている録音モード (レコーディングモード → [6]) での録音可能時間を表示します。	002	14:00 REMAIN
タイトル表示	002 Mw MD titl	

- 再生中はトラックタイトルを、停止中はディスクタイトルを表示します。
- プログラム再生などで、トータル1000分以上になると"-:--:"と表示し時間表示ができません。
- タイトルが入力されてないときは,"....."と表示します。

聴きたいグループだけを再生する(グループ再生モード)

グループを登録(→106)したMDは、聴きたいグループタイトルを探し、そのグループだけを再生することができます。

- ① 停止中にP.MODE/CHARAC.キーを押して""
(MDグループ)を点灯させる

P.MODE
/CHARAC.

AUTO/MONO



- ② ▲、▼キーを押して聴きたいグループタイトルを選ぶ

前のグループに戻る



次のグループに進む

- ▲キーを押すと、前のグループに戻ります。
- ▼キーを押すと、次のグループに進みます。
- 本体のmulti controlキーでも操作できます。

- ③ MD▶/||キーを押して再生する

MD
▶/||



- ① 押すたびに表示が切り換わります。

""点灯
"PGM"点灯
""、"PGM"消灯

MD
005-012 Group 1

グループに含まれる 現在のグループ
曲番号 タイトル

- ②

MD
013-020 Group 2

グループに含まれる 選択したグループ
曲番号 タイトル

- 選択したグループにタイトルがつけられていないときは"GROUP・・"(・・は2桁の数字)と表示します。

- ③

- TIME/SPACEキーを押して、ミニディスクについての情報を見ることができます。(→41)
- 選択したグループの再生を終了すると、そのグループの最初の曲に戻って停止します。
続けてグループを選んで再生したいときは、手順②③を繰り返します。
- 再生中でも手順②の操作で、他のグループを選ぶことができます。選択したグループの最初の曲から再生が始まります。

グループ再生モードを解除する

リモコンのみ

停止中にP.MODE/CHARAC.キーを押して""および"PGM"を消灯させる

P.MODE
/CHARAC.

AUTO/MONO



放送局を1局ずつ記憶させる (3)

ディスプレイ表示の
切り換えについて

放送局を1局ずつ
記憶させる (2, 3)

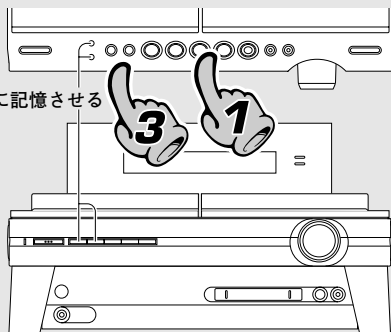


放送局を自動的に記憶させる
記憶させていない放送
曲を聴く (1)

放送局を呼び出す／放送曲
を1局ずつ記させる (2)

記憶させていない放送局を
聴く (2)

チューナーを選ぶ／
バンドを切り換える



Tuner



1 入力をチューナーにする

放送バンドは、Tuner/bandキー押すたびに切り換わります。

FM
AM

2 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる (オートプリセット) - [44]

お住まいの都道府県名を設定すると、お住まいの近くで受信できる放送局が自動的にプリセット (記憶) されます。これらの放送局を受信すると、放送局名を (FM 放送のみ) 表示します。

- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からオートプリセットする必要はありません。

放送局を1局ずつ記憶させる (マニュアルプリセット) - [46]

放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは「記憶させていない放送局を聴く (オート選局、マニュアル選局)」をお読みください。 - [46]

3 放送局を呼び出す (プリセットコール)

オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、**◀◀▶▶**キーを押して選局します。押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

- ▶▶キーを押すと
1 → 2 → 3 38 → 39 → 40 → 1
- ◀◀キーを押すと
40 → 39 → 38 3 → 2 → 1 → 40.....

- リモコンでは、**◀◀▶▶**キーあるいは数字キーを押して選局します。

数字キーを押す順序は
12番目なら +10, 2 20番目なら ... +10, +10, 0

受信すると「TUNED」
表示が点灯します。



プリセット番号
(プリセットされているとき)



放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット)(エリア別FM放送局名自動表示)

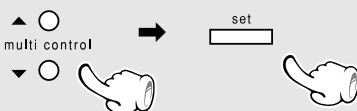
- ① Tuner/band キーを押して入力をチューナーにする



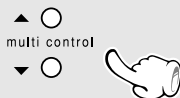
- ② mode キーを押す



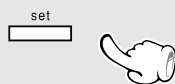
- ③ multi control キーを押して"ケンメイセッテイ?"を選び set キーを押す



- ④ multi control キーを押して、お住まいの都道府県名を選ぶ

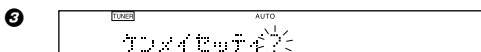


- ⑤ set キーを押す



- オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。
放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"(-[45])に載っているFM放送局のみに対応しています。

- オートプリセット中は他の操作をしないでください。

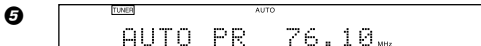


- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
● 都道府県名を設定していない場合は、"ケンメイセッテイ"と表示されます。

- ④ "トウキョウ"を選択したとき



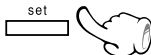
- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
● 都道府県名を設定したときは、"エリア別FM放送局名自動表示リスト"に従ってオートプリセットされます。 -[45]



- "AUTO PRESET"がスクロールして順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
● リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
● 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および"TUNED"表示が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。
● オートプリセットが終了と、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示します。
● オートプリセットをおこなうと、今までに記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。

希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されないときは、setキーを押して隣接する地域(都道府県)のリストにある別の放送局名にかえることができます。押す度に切り換わります。隣接する地域(都道府県)に該当する放送局がない場合は切り換わりません。

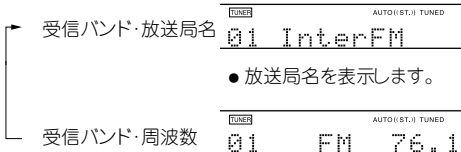


ディスプレイ表示の切り換えについて(リモコンのみ)

オートプリセットしたFM局の表示を切り換えます。



TIME/SPACEキーを押すたびに切り換わります。



エリア別FM放送局名自動表示リスト

2001年6月現在

放送局		表示名	放送局		表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM	中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G'	近畿地方	エフエム名古屋	ZIP - FM
東北地方	エフエム・ノースウェーブ	north wave	中国・四国地方	愛知国際放送	RADIO-i
関東地方	エフエム青森	FMアオモリ	九州・沖縄地方	岐阜エフエム放送	FMギフ
中部地方	エフエム岩手	FMイワテ	中部地方	三重エフエム放送	FMミエ
中部地方	エフエム仙台	Date fm	中部地方	エフエム京都	アルファStation
中部地方	エフエム秋田	Co - much FM	中部地方	エフエム滋賀	E - Radio
中部地方	エフエム山形	BOY FMヤマガタ	中部地方	エフエム大阪	fm osaka
中部地方	エフエム福島	フクシマFM	中部地方	エフエムはちまるに	FM802
中部地方	エフエム東京	TOKYO FM	中部地方	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
中部地方	エフエムジャパン	J - WAVE	中部地方	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中部地方	エフエムインターウェーブ	InterFM	中部地方	エフエム山陰	V - air
中部地方	放送大学	ハウソウダイガク	中部地方	岡山エフエム放送	FMオカヤマ
中部地方	エフエム群馬	FMグンマ	中部地方	広島エフエム放送	ヒロシマFM
中部地方	エフエム栃木	RADIO BERRY	中部地方	エフエム山口	FMヤマグチ
中部地方	エフエム埼玉	NACK5	中部地方	エフエム徳島	PassionWave
中部地方	エフエムサウンド千葉	bayfm	中部地方	エフエム香川	FMカガワ
中部地方	横浜エフエム放送	Fm yokohama	中部地方	エフエム愛媛	FMエヒメ
中部地方	エフエム富士	FM-FUJI	中部地方	エフエム高知	FM KOCHI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ	中部地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
中部地方	新潟県民エフエム	FmPort.com	中部地方	エフエム九州	CROSS FM
中部地方	長野エフエム放送	FMナガノ	中部地方	エフエム佐賀	FMサガ
中部地方	北日本放送	KNBラジオ	中部地方	エフエム長崎	SMILE-FM
中部地方	富山エフエム放送	FMトヤマ	中部地方	エフエム中九州	FMK
中部地方	エフエム石川	FM ISHIKAWA	中部地方	エフエム大分	FM OITA
中部地方	福井エフエム放送	FMフクイ	中部地方	エフエム宮崎	JOY - FM
中部地方	静岡エフエム放送	K・MIX	中部地方	エフエム鹿児島	ミュ- FM
中部地方			中部地方	エフエム沖縄	FM Okinawa
中部地方			中部地方	NHK 第一	NHKラジオ 1
中部地方			中部地方	FEN 沖縄	FEN オキナワ
中部地方			中部地方	九州国際エフエム	Love FM

記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。

電波の状態が良いとき : オート選局モード

電波が弱く雑音が多いとき: マニュアル選局モード

- FM放送はマニュアル選局モードでは、モノラル受信となります。

オート選局のとき:



- 1 押すたびに表示が切り換わります。
 ↳ オート選局 "AUTO"表示点灯
 ↳ マニュアル選局... "AUTO"表示消灯
 (通常はオート選局にしておきます。)

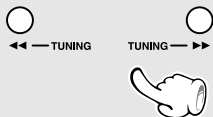
- 2 オート選局のとき:
 キーを押すごとに次々に受信します。
 マニュアル選局のとき:
 希望する放送局を受信するまで押す。

- オート選局中に止めたいときはリモコンのSTOP^{ストップ}■キー、または本体のstop^{ストップ}■キーを押します。

- 1 オート選局とマニュアル選局を切り換える(リモコンのみ)



- 2 選局をする
 周波数が下がる 周波数が上がる



放送局を1局ずつ記憶させる(マニュアルプリセット)

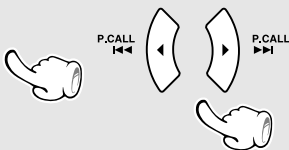
- 1 "記憶させていない放送局を聴く"の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する

- 2 受信中にリモコンのENTERキーを押す



- 3 リモコンの◀◀、▶▶キーまたは数字キーで1~40までのプリセット番号を任意に選ぶ

ア	カ	ABC	ク	DEF	
1	2		3		
ク	GHI	ナ	JKL	ハ	MNO
4	5	6			
マ	PQRS	ヤ	TUV	ラ	WXYZ
7	8	9			
ホ()	クワン*	..121			
+100	0	+10			

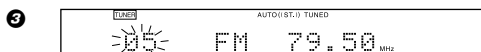


数字キーを押す順序は

12番目なら +10, 2

20番目なら +10, +10, 0

- 4 ENTERキーを押す



- 4
 - プリセットを続けるときは、手順①~④を繰り返します。
 - 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。
 - 40を超えるプリセット番号は選択できません。
 - 操作中に約20秒放置すると、プリセットは中止されます。

再生、録音装置と録音形式(デジタル/アナログ)について

本機では再生、録音装置の組み合わせにより、録音形式(デジタル/アナログ)は次の表ようになります。

再生装置 \ 録音装置	CDレコーダー	MDレコーダー
CDプレーヤー (CD)	デジタル録音またはアナログ録音	デジタル録音またはアナログ録音
CDレコーダー (CDR)		アナログ録音のみ
MDレコーダー (MD)	アナログ録音のみ	
外部アナログ機器 (AUX)	アナログ録音のみ	アナログ録音のみ
外部デジタル機器 (D-AUX)	デジタル録音のみ	デジタル録音のみ
ラジオ放送 (TUNER) <small>チューナー</small>	アナログ録音のみ	アナログ録音のみ



- MP3、WMA収録ディスクをCD-R/RWまたはMDに録音すると、自動的にアナログ録音になります。
- CDプレーヤーからCDレコーダーまたはMDレコーダーへの録音では、デジタル録音かアナログ録音を選択することができます。("REC INPUT"→[\[52\]](#)→[\[57\]](#))
- CDや、外部デジタル機器からの信号によってはSCMSにより、デジタル録音できない場合があります。→[\[48\]](#)
- 本機で録音できる外部機器のデジタル信号については"サンプリング・レート・コンバーターについて"をお読みください。→[\[48\]](#)

録音機能について

本機では、通常の録音の他に、次のような録音機能があります。

- **CDプレーヤーからCDレコーダー、MDレコーダーへ倍速/通常速(等速)デジタル録音** →[\[72\]](#)→[\[73\]](#)
カンタンな操作でCDの全曲または1曲を、通常再生の2倍または同一のスピードでCD-R/RWやMDにデジタル録音することができます。
- **CDプレーヤーからCDレコーダーとMDレコーダーへ同時に倍速/通常速(等速)デジタル録音** →[\[75\]](#)
カンタンな操作でCDの全曲または1曲を、通常再生の2倍または同一のスピードでCD-R/RWとMDにデジタル録音することができます。
- **MDステレオ長時間録音対応** →[\[56\]](#)
MDでの録音は、通常の録音の約2倍、約4倍のステレオ長時間録音ができます。

MDステレオ長時間録音について

ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4モードはLP2モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

レコーディングモード REC MODE (録音モード)	圧縮方式	最長録音時間 (80分MD使用時)
STEREO (ステレオ録音モード)	ATRAC*	約80分
MONO (モノラル録音モード)		約160分
LP2 (ステレオ2倍長時間録音モード)	ATRAC 3-LP2	約160分
LP4 (ステレオ4倍長時間録音モード)	ATRAC 3-LP4	約320分

* Adaptive Transform Acoustic Coding
アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング

サンプリング・レート・コンバーターについて

通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

32 kHz : DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

44.1 kHz: DATの標準モード、CD、MD等。

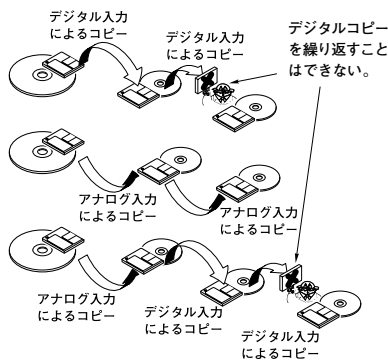
48 kHz : DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。

(DAT:Digital Audio Tape Deck)

一般的にデジタル伝送による高音質録音をする場合、ソース機器側と録音機器側のサンプリング周波数が一致していなければ録音できません。本機は、サンプリング・レート・コンバーターを内蔵しているため、32kHz、48kHzのデジタル信号は、サンプリング周波数に変換して録音することができます。

デジタル録音とSCMS (Serial Copy Management System) について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



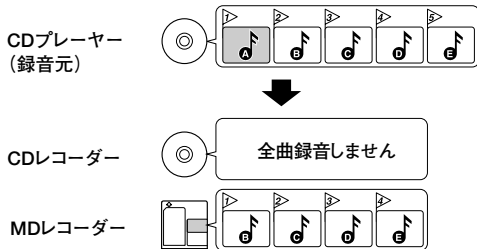
本機CDプレーヤーからのデジタル録音で、セットしたディスクの中にSCMSによりデジタル録音ができない曲があった場合、次のようになります。

- デジタル録音できる曲
- SCMSによりデジタル録音できない曲



SCMSによりデジタル録音ができない曲の場合、“SCMS”が点滅します。

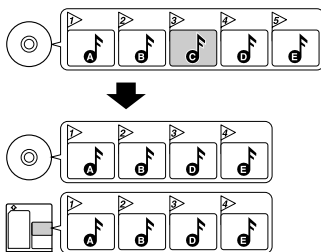
1曲目「[A]」の曲が、SCMSによりデジタル録音ができない曲がある場合



CDレコーダー : 全曲録音しません。

MDレコーダー : 「A」をのぞき録音します。

途中の曲(3曲目「C」)の曲が、SCMSによりデジタル録音ができない曲がある場合



CDレコーダー : 「C」をのぞき録音します。

MDレコーダー : 「C」をのぞき録音します。



- CDの再生は“SCMS”が点滅しても、停止せずに終了まで再生し続けます。
- 全ての曲がSCMSによりデジタル録音できない場合は、全ての曲を録音しません。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください(→[52]→[57])。ワンタッチエディット録音やCD-R/RW、MD同時録音(→[72])で録音するときは録音スピードは通常速録音(SPEED NORMAL)を選んでください。

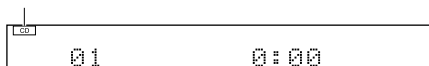
CDを選ぶ場合



2 録音するソース(音源)を選ぶ

- TUNER(ラジオ放送) : Tuner/bandキーを押す
チューナー バンド
- CD : CD ▶/||キーを押す
- MD : MD ▶/||キーを押す
- AUX(外部アナログ機器) : aux/D-auxキーを"AUX"と表示されるまで
 繰り返し押す
- D-AUX(外部デジタル機器) : aux/D-auxキーを"D-AUX"と表示されるま
 で繰り返し押す

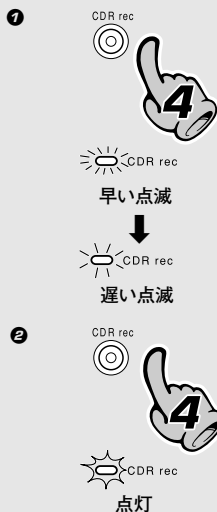
選ばれた録音ソース



- CD ▶/||キーまたは、MD ▶/||キーを押した場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まりますのでstop■キーを押して停止させてください。
- ソース(音源)の選択が"CD"または"D-AUX"以外はデジタル録音できません。また、これらのソース(音源)でもSCMSによりデジタル録音できないときがあります。 → [48]
- "D-AUX"を選んだときに"UNLOCK"と表示されたときは、"メッセージ表示の一覧"をご覧ください。 → [11]

3 録音の準備をする

- TUNER(ラジオ放送) : 選局する → [43]
- CD : オーディオCDのときは、録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする → [33] → [34]
 MP3、WMA収録ディスクのときは次のいずれかの操作で、録音したいファイルのはじめで再生一時停止にする
- 通常の再生で選ぶ → [35]
 - フォルダーサーチで選ぶ → [37]
 - フォルダーセレクトで選ぶ → [38]
 - 聴きたいフォルダーだけを選ぶ → [39]
- MD : 次のいずれかの操作で録音したい曲のはじめで再生一時停止にする
- 通常の再生で選ぶ → [40]
 - 聴きたいグループだけを選ぶ → [42]
- AUX(アナログ機器) : 受信や再生などの準備をする → [11]
- D-AUX(デジタル機器) : 受信や再生などの準備をする → [11]
- CDプレーヤーからの録音のときには、デジタル録音、アナログ録音が必要に応じて切り換えてください。
 "デジタル録音、アナログ録音の切り換えレコーディング インプット(REC INPUT)" → [52]
 - "AUX"(外部アナログ機器)を選んだときに、入力レベルを調整することができます。外部アナログ機器からの音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合など、必要に応じて調整してください。(AUX INPUT, REC GAIN) → [11]



録音中に"SCMS"と表示されたら
→ [48]

4 録音を始める

① CDR recキーを押す(録音一時停止状態になります)

- CDR recキーを押すと、CDR recインジケーターが点滅し始め、点滅が早い点滅から遅い点滅にかわり、録音一時停止状態になります。

② CDR recインジケーターが遅い点滅にかわったら、もう一度CDR recキーを押す(CDR recインジケーターが点灯にかわり録音が始まります)

- CDR recインジケーターが早く点滅しているときは、録音の準備をしています。遅い点滅にかわってからCDR recキーを押してください。
- 本機のCDプレーヤーからのデジタル録音、または外部デジタル機器からの録音のときは次の手順③の操作を行なうまで録音は始まりません。

③ ソース(音源)の再生を始める

例: CD▶/||キーを押す

- 同時にMDにも録音したいときは手順①、②でMD recキーも押します。
- CDの再生が終了しても、録音は停止しません。stop■キーを押して録音を停止してください。
- 録音が終了すると"CDR WRITING"表示になります。
- 録音に失敗した曲がある場合、再生したときに失敗した曲を飛び越すようにディスクに登録することができます。(ファイナライズ処理する前に登録します)"聴かない曲をCD-R/RWにスキップ登録する(SKIP TRACK)" → [70]
- CD-RWのみ消去することができます。"CD-RWの録音消去" → []
- 録音したディスクを本機のCDプレーヤーや他のCDプレーヤーで再生したいときはファイナライズ処理をする必要があります。"CD-R/RWのファイナライズ(FINALIZE)" → []

表示部にメッセージが表示されたときは → []

"CDR WRITING"表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

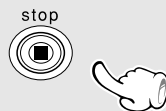
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

録音を一時停止する



- CDR recインジケーターが点滅します。
- 録音一時停止状態からもう一度キーを押すと、その時点から録音を再開します。このときトラック番号は"1"繰り上がります。
- リモコンのCDR ▶/||キーでも操作できます。

録音を停止する



- CDを録音中にstop■キーを押すとCDの再生も停止します。
- MDを録音中にstop■キーを押すとMDの再生も停止します。
- リモコンのSTOP■キーでも操作できます。

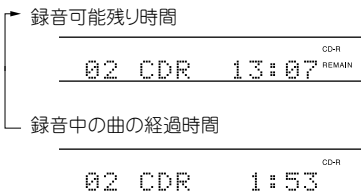
録音側の時間表示を切り換えるには

- ① ディスプレイ displayキーを押して、録音側のディスプレイ表示に切り換える



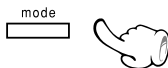
- リモコンのディスプレイ DISPLAYキーでも切り換えることができます。

- ② タイム TIME/スペース SPACEキーを押して、時間表示を切り換える

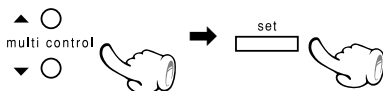
デジタル録音、アナログ録音の切り換えレコーディング インプット (REC INPUT)

CDプレーヤーからCDレコーダーに録音するときは、デジタル信号のまま録音するデジタル録音とアナログ信号に一度変換して録音するアナログ録音を選ぶことができます。初期値はデジタル録音に設定されています。録音操作をする前に切り換えます。

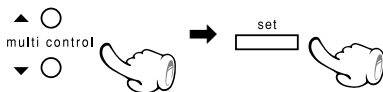
- ① CDプレーヤーに録音するディスクを入れ、入力切り換えが"CD"であることを確認する
- ② modeキーを押す



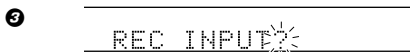
- ③ マルチ multi controlキーで"REC INPUT?"を選び、セット setキーを押す



- ④ マルチ multi controlキーで"DIGITAL" (デジタル録音) または"ANALOG" (アナログ録音) を選び、セット setキーまたはenterキーを押す

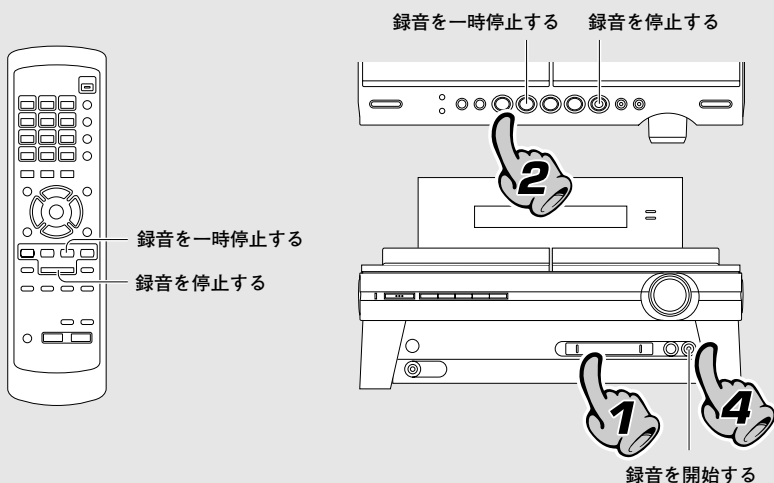


- ⑤ CDからの録音の場合SCMS(→48)によりデジタル録音できない場合があります。そのときは"ANALOG" (アナログ) に切り換えて録音してください。CDプレーヤーからMDレコーダーに録音する設定も同時に切り換わります。



- ④
- "DIGITAL" (デジタル録音) を選ぶと"DIGITAL"表示が点灯し、"ANALOG" (アナログ録音) を選ぶと"DIGITAL"表示が消灯します。
 - "ANALOG" (アナログ録音) を選択したときは、トラック番号の付けかたをかえることができます。
"トラック番号の設定をかえる"→48

テキスト情報が記録されているCDやCD-R/RWの場合、TEXTデータはコピーされません。

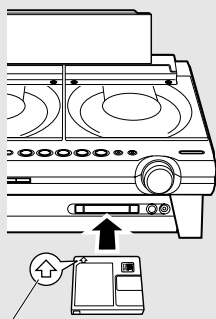


1 ディスクを入れる

ミニディスクの方向をよく確認して挿入してください。

- ① 録音用ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする-13
- ② 録音用ミニディスクを入れる

ミニディスク表示 (■) が数秒間点滅表示します。その後点灯表示にかわれば録音可能状態になります。



矢印の方向に入れる

電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れしないでください。故障の原因となります。

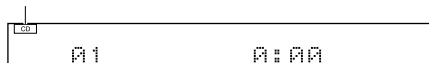
CDを選ぶ場合



2 録音するソース(音源)を選ぶ

- TUNER(ラジオ放送) : Tuner/bandキーを押す
 CD : CD ▶/||キーを押す
 CDR : CDR ▶/||キーを押す
 AUX(外部アナログ機器) : aux/D-auxキーを"AUX"と表示されるまで繰り返し押す
 D-AUX(外部デジタル機器) : aux/D-auxキーを"D-AUX"と表示されるまで繰り返し押す

選ばれた録音ソース



- CD ▶/||, またはCD R ▶/||キーを押した場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まりますので **ストップ**キーを押して停止させてください。
- ソース(音源)の選択が"CD"または"D-AUX"以外はデジタル録音できません。また、これらのソース(音源)でもSCMSによりデジタル録音できないときがあります。 - [48]
- "D-AUX"を選んだときに"UNLOCK"と表示されたときは、"メッセージ表示の一览"をご覧ください。 - [10]

3 録音の準備をする

- TUNER(ラジオ放送) : 選局する - [43]
 CD : オーディオCDのときは、録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする - [33] - [34]
 MP3、WMA収録ディスクのときは次のいずれかの操作で、録音したいファイルのはじめで再生一時停止にする
 ● 通常の再生で選ぶ - [35]
 ● フォルダーサーチで選ぶ - [37]
 ● フォルダーセレクトで選ぶ - [38]
 ● 聴きたいフォルダーだけを選ぶ - [39]
 CDR : 録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする
 AUX(アナログ録音) : 受信や再生などの準備をする - [10]
 D-AUX(デジタル録音) : 受信や再生などの準備をする - [10]
- 最長で通常の約4倍の長時間録音をすることができます。必要に応じて選んでください。(MD REC MODE) - [56]
 - CDプレーヤーからの録音のときには、デジタル録音、アナログ録音を必要に応じて切り換えてください。"デジタル録音、アナログ録音の切り換え(REC INPUT)" - [57]
 - "AUX"(外部アナログ機器)を選んだときは、入力(録音)レベルを調整することができます。外部アナログ機器からの音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合など、必要に応じて調整してください。(AUX INPUT, REC GAIN) - [10]
 - CDからMDにデジタル録音で録音するときには、録音レベル(D-REC LEVEL)を調整することができます。調整したあとに録音する曲のはじめで再生一時停止にしてください。



4 録音を始める

録音中に"SCMS"と表示されたら

→ [48]

- ① MD recキーを押す(MD recインジケーターが点滅し、録音一時停止状態になります)
 - ② 準備ができていれば、もう一度MD recキーを押す(MD recインジケーターが点灯にかわり、録音が始まります)
 - ③ ソース(音源)の再生を始める(例:CD▶/||キーを押す)
- 同時にCD-R/RWにも録音したいときは手順①、②でCDR recキーも押します。
 - CDの再生が終了しても、録音は停止しません。stop■キーを押して録音を停止してください。

表示部にメッセージが表示されたときは



"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。また表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、録音や編集した情報が消滅します。

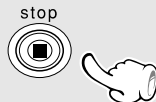
CDの録音では、CDの再生が始まるとCDの信号を検出してトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。不要なトラック番号は削除することができます。"1曲またはミニディスクの全曲を消す"- [118]

録音を一時停止する



- MD recインジケーターが点滅します。
- 録音一時停止状態からもう一度キーを押すと、その時点から録音を再開します。このときトラック番号は"1"繰り上がります。
- リモコンのMD ▶/||キーでも操作できます。

録音を停止する



- CDを録音中にstop■キーを押すとCDの再生も停止します。
- リモコンのSTOP■キーでも操作できます。

録音側の時間表示を切り換えるには

① displayキーを押して、録音側のディスプレイ表示に切り換える

display



再生側(CDプレーヤーなど)

録音側(CDレコーダー)
(同時録音のとき表示します)

録音側(MDレコーダー)

D-REC LEVEL [book icon]

(CDデジタル音録音のワンタッチエディット録音やCD-R/RW、MD同時録以外で表示します。)

- リモコンのDISPLAYキーでも切り換えることができます。

② TIME/SPACEキーを押して、時間表示を切り換える

録音可能残り時間

002 MD 36:26 REMAIN

録音中の曲の経過時間

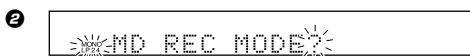
002 MD 0:53

レコーディング モード MDに長時間録音をする(MD REC MODE)

必要に合わせてMDの録音モードをかえることができます。

また、ステレオ長時間録音(LP2、LP4)で録音するときのみ、曲のタイトルの始めの部分に"LP:"というタイトルを自動的に入力する、入力しないを選ぶことができます(MDスタンプ機能)。録音操作をする前に切り換えます。

- ① modeキーを押す
- ② multi controlキーを押して"MD REC MODE?"を選びsetキーを押す
- ③ multi controlキーを押して録音したいモードを選び、setキーを押す
"STEREO"または"MONO"を選択したときは設定終了
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順④へ
- ④ multi controlキーを押してMDスタンプ機能の"ON"または"OFF"を選び、setキーまたはenterキーを押す



- ③ STEREO(ステレオ録音モード)
LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)
LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)
MONO(モノラル録音モード)
- ④ ON ... 録音した曲に"LP:"というタイトルを自動的に入力する
OFF ... 録音した曲に"LP:"というタイトルを入力しない

ONのとき "LP:" OFF >ON

OFFのとき "LP:" >OFF ON

レコーディング モード REC MODE(録音モード)	レコーディング モード REC MODE表示
STEREO(ステレオ録音モード)	消灯
LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)	LP2
LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)	LP4
MONO(モノラル録音モード)	MONO

●REC MODE表示は停止中または録音中は、設定されているモードを表示します。再生中はその曲の録音モードを表示します。

MDスタンプ機能について

本機でステレオ長時間録音(LP2/LP4)で録音された曲のタイトルの始めの部分に"LP:"を自動的につける機能です。"LP:"というタイトルはステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。本機で再生したときには"LP:"は表示しません。

ステレオ長時間モードで録音したMDをステレオ長時間モードに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません(MDスタンプ機能を使っているときは、その曲のタイトルの始めの部分に"LP:"と表示されます)。これらの機器でステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在しているMDを再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。

このようなMDを再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。



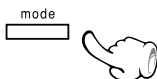
異なる録音モードで録音した曲はMDの編集機能で制限があります。"曲をつなぐ(COMBINE)"-116

デジタル録音、アナログ録音の切り換え (REC INPUT)

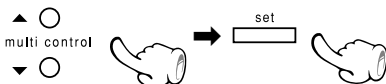
CDプレーヤーからMDレコーダーに録音するときは、デジタル信号のまま録音するデジタル録音とアナログ信号に一度変換して録音するアナログ録音を選ぶことができます。初期値はデジタル録音に設定されています。録音操作をする前に切り換えます。

① CDプレーヤーに録音するディスクを入れ、入力切り換えが"CD"であることを確認する

② modeキーを押す



③ multi controlキーで"REC INPUT?"を選び、setキーを押す



④ multi controlキーで"DIGITAL" (デジタル録音) または"ANALOG" (アナログ録音) を選び、setキーまたはenterキーを押す



CDからの録音の場合SCMS (→48)によりデジタル録音できない場合があります。そのときは

"ANALOG" (アナログ) に切り換えて録音してください。CDプレーヤーからCDレコーダーに録音する設定も同時に切り換わります。

③



④

● "DIGITAL" (デジタル録音) を選ぶと "DIGITAL" 表示が点灯し、"ANALOG" (アナログ録音) を選ぶと "DIGITAL" 表示が消灯します。

● "ANALOG" (アナログ録音) を選択したときは、トラック番号の付けかたをかえることができます。

"トラック番号の設定をかえる" → 48

本機では、通常の再生の他に、次のような再生機能があります。用途に応じて選んでください。再生機器によってはできない機能があります。

説明文中の **CD** **CDR** **MD** は、再生(登録)できる機器を示しています。

CD CDプレーヤー(オーディオCD、MP3、WMAを再生)

CDR CDRレコーダー(オーディオCDを再生)

MD MDレコーダー

曲順を並べ替えて聴くときは

プログラム再生 **CD** **MD**

ディスクの中から好きな曲を、好きな順序で聴くことができます(最大32曲まで)。

- 60

MP3、WMAプログラム再生 **CD**

MP3、WMA収録ディスクのフォルダーやフォルダー内のファイルを、好きな順序で聴くことができます。(フォルダーとファイル合わせて最大32プログラムまで)

- 62

繰り返し聴くときは

リピート再生 **CD** **CDR** **MD**

お気に入りの曲(MP3、WMA収録ディスクはファイル)やディスクを繰り返し聴くことができます。

- 64

フォルダーリピート再生 **CD** (MP3、WMA収録ディスクのみ)

MP3、WMA収録ディスクのフォルダー内のファイルを繰り返し聴くことができます。

- 66

グループリピート再生 **MD**

MDのグループ内の曲を繰り返し聴くことができます。

- 67

曲順を順不同に楽しむときは**ランダム再生** **CD** **MD**

毎回曲 (MP3、WMA収録ディスクはファイル) がランダムに選択されるので、飽きることなく楽しめます。- 68

フォルダーランダム再生 **CD** (MP3、WMA収録ディスクのみ)

MP3、WMA収録ディスクのフォルダー内のファイルを、ランダムに聴くことができます。- 69

グループランダム再生 **MD**

MDのグループ内の曲をランダムに聴くことができます。- 69

聴かない曲をCD-R/RWにスキップ登録する**スキップトラック (SKIP TRACK)** **CDR**

録音を失敗した曲など、再生するときに飛ばしたい曲をあらかじめディスクに登録しておく、自動的に飛び越して再生できるようになります。- 70

スキップ登録した曲を飛び越して再生する**スキッププレイ (SKIP PLAY)** **CD** **CDR**

スキップトラックが登録されたCD-R/RWをCDプレーヤー、CDレコーダーどちらで再生しても、登録された曲を自動的に飛び越して再生をすることができます。- 71

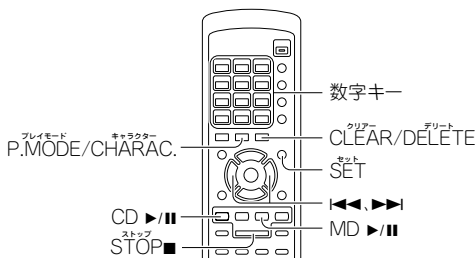
曲順を並べ替えて聴く

(プログラム再生) **CD** **MD**

CDまたはMDの中から好きな曲を、好きな順序で聴くことができます。(最大32曲まで)

MP3、WMA収録ディスクのプログラム再生については"曲順を並び替えて聴く(MP3、WMAプログラム再生)"→62

CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、ファイナライズ(→)する必要があります。

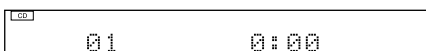
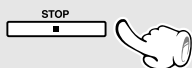


入力切り換えを再生に応じて"CD"、または"MD"にする→31

1 停止を確認する

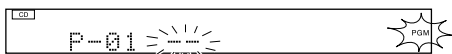
再生中のとき

STOP ■キーを押す



2 "PGM"表示を点灯させる

P.MODE/CHARAC. キーを繰り返し押しして"PGM"を点灯させる



3 聴きたい順に曲を選びプログラムする

① 数字キーで曲番号を選ぶ

20秒以内に手順②を行う

ア	カ	サ
1	2	3
ク	ケ	コ
4	5	6
マ	メ	モ
7	8	9
&() =	ワ	ヰ
+100	0	+10



数字キーを押す順序は

12曲目なら +10, 2

20曲目なら +10, +10, 0

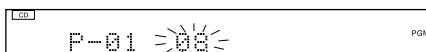
113曲目なら +100, +10, 3

② SETキーを押す



③ 手順①、②を繰り返す

① 選曲



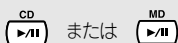
② 確定



- 曲番号は◀▶キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。"PGM FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 曲番号表示の点滅中にSETキーを押ししないと入力した曲番号が無効になります。曲番号を選び直してください。

4 再生する

▶/||キーを押す



- プログラムで選んだ順(P番号順)に再生します。
- 再生中に◀▶または▶▶キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

曲を追加するには

停止中に押す

① 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

ア 1	カ ABC 2	サ DEF 3
タ GHI 4	ナ JKL 5	ハ MNO 6
マ PQRS 7	ヤ TUV 8	ラ WXYZ 9
0 +100	ワゾンパ 0	リ:リ +10



数字キーを押す順序は

- 12曲目なら +10, 2
- 20曲目なら +10, +10, 0
- 112曲目なら +100, +10, 2

② SETキーを押す



プログラムした曲を取り消すには

CLEAR/DELETEキーを押す

停止中に押す



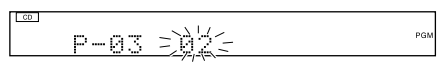
プログラム再生を解除するには

P.MODE/CHARAC.キーを押して"PGM"を消灯させる

停止中に押す



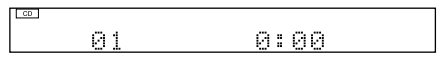
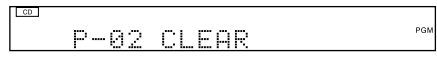
①



- 曲番号は◀▶キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。"PGM FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

●

- CLEAR/DELETEキーを押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。



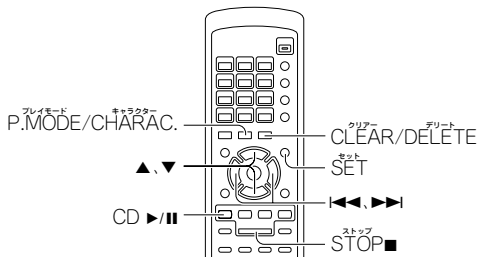
- CDとMDを組み合わせたプログラムはできません。
- 電源をオフ(スタンバイ)にする、または▲open/close、▲ejectキーを押すと設定したプログラム再生は解除されます。
- MDで録音操作をすると、MDのプログラム再生は解除されます。

曲順を並べ替えて聴く

(MP3、WMAプログラム再生) **CD**

MP3、WMA収録ディスクのフォルダーおよびフォルダー内のファイルを、好きな順序で聴くことができます。(フォルダーとファイル合わせて最大32プログラムまで)

CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、セッションクロスまたはファイナライズされている必要があります。

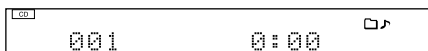


入力切り換えを"CD"にする → 31

1 停止を確認する

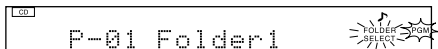
再生中のとき

STOP ■ キーを押す



2 "PGM"表示を点灯させる

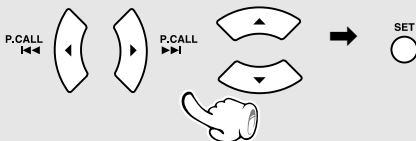
P.MODE/CHARAC. キーを繰り返し押して"PGM"を点灯させる



3 聴きたい順にフォルダー、ファイルを選びプログラムする

◀▶▶▶キーおよび▲、▼キーを押して聴きたいフォルダーのタイトルを選びSETキーを押す

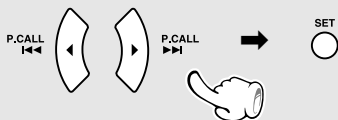
20秒以内に手順②を行う。



フォルダーの選び方は、38ページの"◀▶▶▶、▲、▼キー操作によるフォルダーの選びかた"をお読みください。

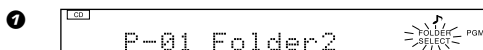
◀▶▶▶キーで選んだフォルダー内の聴きたいファイルタイトル、"FOLDER ONLY"または"FOLDER ALL"を選びSETキーを押す

20秒以内に手順③を行う。



③ 手順①～②を繰り返す。

手順①の操作をする前は、その時点で選ばれているフォルダーのタイトルを表示します。



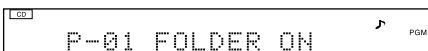
- 選択したフォルダーの中に別のフォルダーがあるときは"□"表示が点灯します。
- 選択したフォルダーの中にファイルがあるときは"♪"表示が点灯し、ファイルがないときは"NO FILE"と表示します。

◀▶▶▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

ファイルのタイトル*

FOLDER ONLY フォルダー内の全ファイル
 FOLDER ALL 選んだフォルダーの下層に属する全フォルダー内の全ファイル

* ◀▶▶▶キーを押すたびにフォルダー内のファイルのタイトルを表示します。



FOLDER ONLYを選んだとき

- 選択したフォルダーの次の層にファイルがないときは"FOLDER ALL"のみが表示されます。
- フォルダーとファイル合わせて32プログラムまで選択することができます。

4 再生する

CD▶/IIキーを押す



フォルダーまたはファイルを追加するには

停止中のとき

手順②を行い、フォルダーまたはファイルを選ぶ

- プログラムで選んだ順(P番号順)に再生します。
- 再生中に◀◀または▶▶キーを押すと、プログラムした順にファイルを飛び越します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、そのファイルの最初に戻ります。

プログラムしたフォルダーまたはファイルを取り消すには

停止中のとき

クリア/デリートキーを押す



- フォルダーとファイル合わせて32プログラムまで追加することができます。"PGM FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けられません。

プログラム再生を解除するには

停止中のとき

P.MODE/CHARAC.キーを押して"PGM"表示を消灯させる



- CLEAR/DELETEキーを押すたびに、最後にプログラムしたフォルダーまたはファイルから1つずつ消えていきます。




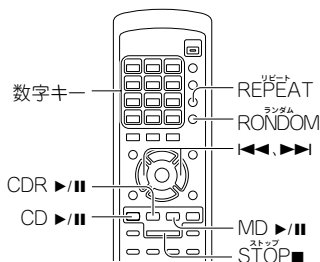
電源をオフ(スタンバイ)にする、または▲open/closeキーを押すと設定したプログラム再生は解除されます。

繰り返し聴く (リピート再生)

CD CDR MD

お気に入りの曲 (MP3、WMA収録ディスクはファイル) やディスクを繰り返し聴くことができます。


CD-R/RWをリピート再生するときは、セッションクローズまたはファイナライズ(→)されている必要があります。



入力切り換えを再生に応じて"CD"、"CDR"または"MD"にする →[31](#)

全曲を繰り返し聴く

① "FOLDER"および"PGM"表示の消灯を確認する

② REPEATキーを押して""表示を点灯させる





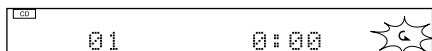
停止中に操作したときは：
▶|||キーを押して再生する



- 停止中、再生中にかかわらず操作できます。
- "FOLDER"または"PGM"表示が点灯しているときは、P.MODE/CHARAC.キーを押して消灯させてください。

③ 押すたびに表示が切り換わります。

- ▶  点灯
- ▶  点灯
- ▶ 消灯

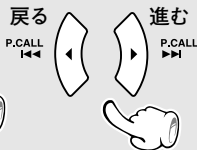


1曲だけを繰り返し聴く

① "FOLDER"および"PGM"表示の消灯を確認する


② 数字キーまたは、キーで聴きたい曲番号 (MP3、WMA収録ディスクはファイル番号) を選ぶと再生が始まる

ア	カ	ABC	サ	DEF	
1	2	3			
タ	チ	ナ	JKL	ハ	MNO
4	5	6			
ア	POQRS	テ	TUV	ウ	WXYZ
7	8	9			
& (#)	ワ	XYZ	0	10	100



数字キーを押す順序は

- 12曲目なら +10, 2
- 20曲目なら +10, +10, 0
- 113曲目なら +100, +10, 3

③ REPEATキーを押して""表示を点灯させる





- MP3、WMA収録ディスクのときは、次の操作でファイルを選ぶこともできます。

フォルダーサーチ(→[32](#))またはフォルダーセレクト(→[38](#))で聴きたいフォルダーを選んでから、、キーでファイルを選ぶ


- ミニディスクのときは、グループ再生モードでも選ぶことができます(→[42](#))。聴きたいグループを選んでから、、キーで曲を選びます。

③ 押すたびに表示が切り換わります。

- ▶  点灯
- ▶  点灯
- ▶ 消灯





リピート再生をやめるには

REPEATキーを""表示が消えるまで繰り返し押し

- リピートをやめても再生を続けます。

選んだ曲だけを繰り返し聴く CD MD

- ① "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順②までを行い、聴きたい曲をプログラムする → 60
- ② REPEATキーを繰り返し押し""表示を点灯させる
- ③ キーを押して再生する

ランダムに繰り返し聴く(ランダムリピート)

CD MD

全曲^{ランダム}リピート再生中にRANDOMキーを押して"^{ランダム}RDM"表示を点灯させる

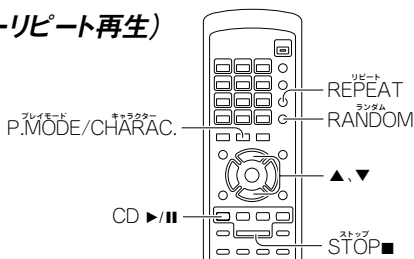
- ランダムリピートをやめるときは、STOP^{ストップ}■キーを押して"^{ランダム}RDM"表示を消灯させます。

繰り返しフォルダーを聴く (フォルダーリピート再生)

CD

MP3、WMA収録ディスクのフォルダーを選択してフォルダー内のファイルを繰り返し聴くことができます。

CD-R/RWをフォルダーリピート再生するときは、セッションクローズまたはファイナライズされている必要があります。



入力切り換えを"CD"にする 31

フォルダーを繰り返し聴く

- ① P.MODE/CHARAC. キーを押して"**FOLDER**"を点灯させる (フォルダー再生モードにする)



- ② ▲、▼ を押ししてリピート再生したいフォルダーを選ぶ

前のフォルダーに戻る



次のフォルダーに進む

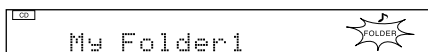
- ③ REPEAT キーを押して"**REPEAT**"表示を点灯させる



停止中に操作したときは：
CD▶||キーを押して再生する



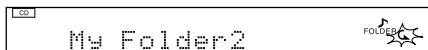
- ①
● 停止中、再生中にかかわらず操作できます。



- ②
● 押すたびに表示が切り換わります。



- ③
● 押すたびに表示が切り換わります。
● **REPEAT** 点灯
● **REPEAT** 点灯
● 消灯



フォルダーリピート再生をやめるには

REPEAT キーを"**REPEAT**"表示が消えるまで繰り返し押す

- リピートをやめても再生を続けます。

ランダムに繰り返し聴く (ランダムリピート)

リピート再生中に RANDOM キーを押して "**RDM**" 表示を点灯させる

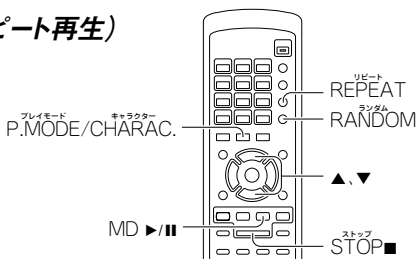
- 再生中のフォルダー内の全ファイルがランダムリピート再生されます。
● ランダムリピートをやめるときは、STOP キーを押して "**RDM**" 表示を消灯させます。

繰り返しグループを聴く (グループリピート再生)

MD

MDのグループを選択してグループ内の曲を返し聴くことができます。

グループが登録されていない場合は、この操作はできません。グループを登録するには → [106]



入力切り換えを"MD"にする → [31]

グループを繰り返し聴く

- 1 停止を確認する
- 2 P.MODE/CHARAC.キーを押して""表示を点灯させる(グループ再生モードにする)



- 3 ▲、▼を押してリピート再生したいグループを選ぶ
前のグループに戻る



次のグループに進む

- 4 REPEATキーを押して""表示を点灯させる



- 5 MD▶/||キーを押して再生する



グループリピート再生をやめるには

REPEATキーを""表示が消えるまで繰り返し押しす

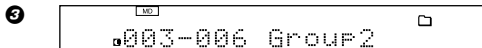
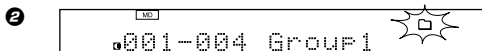
- リピートをやめても再生を続けます。

ランダムに繰り返し聴く(ランダムリピート)

リピート再生中にRANDOMキーを押して"RDM"表示を点灯させる

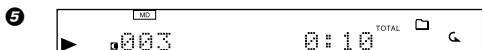
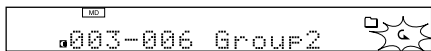
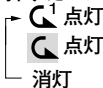
- 再生中のグループ内の全曲がランダムリピート再生されます。
- ランダムリピートをやめるときは、STOPキーを押して"RDM"表示を消灯させます。

- 1 ● 再生中のときは、STOPキーを押して停止してください。



- グループタイトルがつけられていないグループは、"GROUP.."(●は2桁の数字)と表示します。

- 4 押すたびに表示が切り換わります。

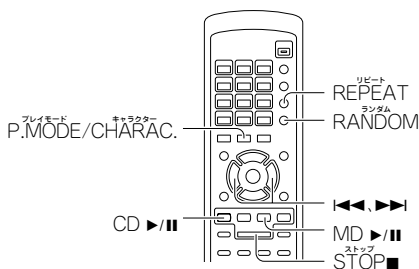


曲順を順不同に楽しむ

(ランダム再生) **CD** **MD**

毎回曲がランダムに選択されるので、飽きることなく楽しめます。MP3、WMA収録ディスクでは通常のランダム再生のほかに、選択したフォルダー内のファイルをランダムに再生することもできます。またMDでも通常のランダム再生に加えて、選択したグループ内の曲をランダムに再生することもできます。

CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、セッションクロスまたはファイナライズ(←📖)されている必要があります。

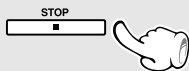


入力切り換えを再生に応じて"CD"または"MD"にする → 31

1 停止を確認する

再生中のとき

ストップ
STOP ■ キーを押す



2 "FOLDER" および "PGM" 表示の消灯を確認める

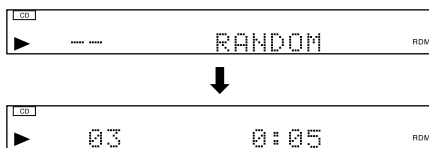
P.MODE/CHARAC.
AUTO/MONO



- "FOLDER" または "PGM" 表示が点灯しているときは、P.MODE/CHARAC. キーを繰り返し押しして消灯させます。

3 ランダム再生を始める

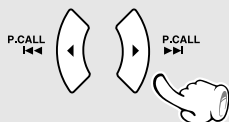
ランダム
RANDOM キーを押す



- 全曲(ファイル)の再生が1回終わると停止します。

曲の途中で別の曲を選ぶには

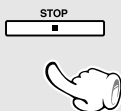
▶▶ キーを押す



- ◀◀ キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

ストップ
STOP■キーを押す



フォルダー単位でランダム再生をする(MP3、WMA収録ディスクのとき)

① ランダム再生したいフォルダータイトルを選ぶ
フォルダー再生モードの手順①、②を行う → 39

② ^{ランダム}RANDOMキーを押して再生する



- フォルダー内の全ファイルの再生が1回終わると停止します。

グループ単位でランダム再生をする(グループ登録されたMDのとき)

① グループ再生したいグループタイトルを選ぶ
グループ再生モードの手順①、②を行う → 42

② ^{ランダム}RANDOMキーを押して再生する



- グループ内の全曲の再生が1回終わると停止します。

ランダムに繰り返して聴く(ランダムリピート)

ランダム再生中に^{リピート}REPEATキーを押して"G"表示を点灯させる



- ランダムリピートをやめるときは、^{リピート}REPEATキーを押して"G"表示を消灯させます。元のランダム再生に戻ります。

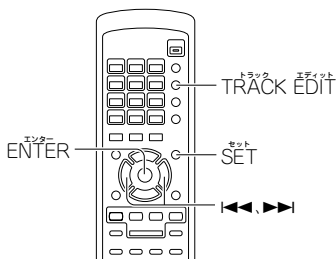
- MP3、WMA収録ディスクで、フォルダー単位のランダム再生をしているときは、そのフォルダー内でランダム再生が繰り返されます。
- グループ登録されたMDで、グループ単位のランダム再生をしているときは、そのグループ内でランダム再生が繰り返されます。

聴かない曲をCD-R/RWに

スキップ登録する

(SKIP TRACK) **CDR**

録音を失敗した曲など、再生するときに飛ばしたい曲をあらかじめディスクに書き込んでおくと、自動的に飛び越して再生(SKIP PLAY)できるようになります。



入力切り換えを"CDR"にする - 31

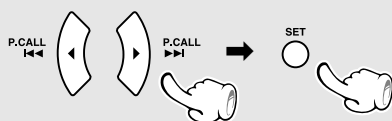
① 録音可能なCD-R/RWをCDレコーダーにセットする - 49

② 停止を確認する

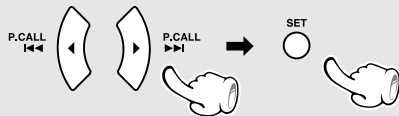
③ TRACK EDITキーを押す



④ << >> キーを押して"SKIP TRACK?"を選び、SETキーを押す



⑤ 飛ばしたい曲を<< >> キーで選択してSETキーで選択する



⑥ << >> キーで"SET?"を選択してENTERキーで確定する



他の曲をスキップ登録するには

手順②～⑥を繰り返す。

スキップ登録を解除するには

1. 手順①～④を行う。

2. 手順⑤でスキップ登録を解除したい曲を選択する

3. 手順⑥で"CLEAR?"を選択してENTERキーを押す

● 必要に応じて手順 1～3を繰り返します。

ファイナライズ処理済ディスクには登録できません。この場合にスキップ登録操作をする"CAN'T CHANGE"と表示されます。またディスクに書き込まずに、電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、登録情報がクリアされます。

④

<< >> キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

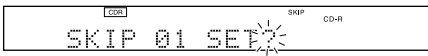
SKIP TRACK
ERASE
UNFINALIZE

⑤



● 曲を選択したときに"SKIP"表示が点灯したときはその曲はすでにスキップ登録されている曲です。

⑥



● << >> キーを押すたびに文字表示部の"SET?"と"CLEAR?"が切り換わります。

登録内容を試聴するには

スキップ登録情報をディスクに書き込む前に、SKIP PLAYを行うことができます。"スキップ登録した曲を飛び越して再生する" - 21 の手順①～④を行い、CDR >> キーを押して再生します。

スキップ登録情報をディスクに書き込むには

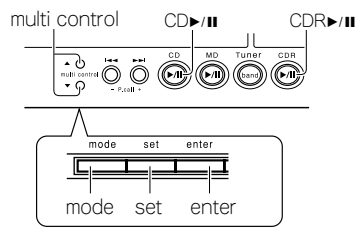
CDレコーダーカバー開閉(△)キーを押す。または I/O キーを押して電源オフ(スタンバイ)にする。

● 登録や解除の情報をディスクに書き込む回数はディスクごとに21回までできます。"SKIP FULL"と表示されると、それ以上は登録や解除はできません。

スキップ登録した曲を飛び越して再生する (SKIP PLAY) CD CDR

スキッププレイの設定をオンにすると、セットするディスクにスキップ登録がされていれば、CDプレーヤー、CDレコーダーのどちらで再生しても、自動的にスキップ再生となります。

CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、ファイナライズ(-)する必要があります。



入力切り換えを"CD"または"CDR"にする。→ [31] 停止中に操作してください

① modeキーを押す

mode

② multi controlキーを押して"SKIP PLAY?"を選び、setキーを押す

multi control

set

③ multi controlキーを押して"ON"を選択してsetキーまたはenterキーで確定する

multi control

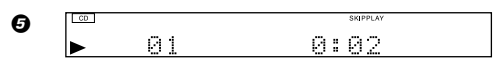
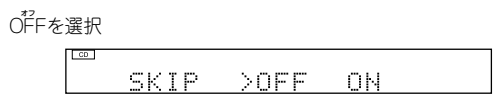
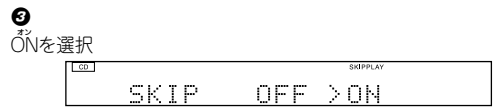
set

④ スキップ登録したCD-R/RWをセットする

→ [33] → [35]

⑤ 再生する

CD または CDR



スキップ再生を解除するには

- 手順 ① ~ ② を行う
- 手順 ③ で "OFF" を選択して set キーを押す

他のレコーダーでスキップ登録されたディスクをCDレコーダー部で再生すると、スキップ再生にならない場合があります。

応用編

説明文中の **CD** **CDR** **MD** は、再生または録音する機器を示しています。

CD CDプレーヤー(オーディオCD、CD-R/RW収録曲、MP3、WMAファイルを再生)

CDR CDレコーダー(オーディオCD、CD-R/RW収録曲を再生/CD-R/RWに録音)

MD MDレコーダー

(**CD** → **CDR** は、CDプレーヤーで録音元のディスクを再生し、CDレコーダーで録音することを示しています。)

全曲録音で録音しても、録音元のディスクの再生時間が録音側の録音可能な残り時間を超えている場合は録音可能な時間だけ録音します。

1. CDからCD-R/RWに録音する機能について **CD** → **CDR**

本機では、通常の録音の他に、CDプレーヤーからの録音には次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください。

CDの録音を簡単に早く終わらせたいときは

ワンタッチエディット倍速録音 (O.T.E.) (HIGH)

全曲倍速録音 (HIGH)



カンタンな操作でCDの全曲を、通常再生の2倍のスピードでCD-R/RWに録音することができます。 - [77]

1曲倍速録音 (HIGH)



そのときに聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作で通常再生の2倍のスピードでCD-R/RWに録音することができます。初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。 - [79]



- MP3、WMA収録ディスクは倍速録音できません。
- HDCDやDTS CDディスクをCDレコーダーで録音するときは、通常速録音で録音してください。

CDの録音を簡単にしたいときは

ワンタッチエディット通常速録音 (O.T.E.) (NORMAL)

全曲録音 (NORMAL)



カンタンな操作でCDの全曲(MP3、WMA収録ディスクは全ファイル)を、CD-R/RWに録音することができます。 - [81]

1曲録音 (NORMAL)



そのときに聴いているCDの曲(MP3、WMA収録ディスクはファイル)だけを、カンタンな操作でCD-R/RWに録音することができます。初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。 - [81]

1フォルダー録音 (NORMAL)



MP3、WMA収録ディスクの1フォルダー内の全ファイルを、CD-R/RWに録音することができます。 - [81]

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは

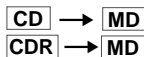
プログラム録音 (プログラム再生 (PGM) + O.T.E.)

プログラム録音 (HIGH)
プログラム録音 (NORMAL)



CDをプログラムした曲順で録音します。
MP3、WMA収録ディスクでは、プログラムしたフォルダーおよびファイル順で録音できます。
CDの曲を、好きな順番にプログラムして録音するときに便利です。 - [83]

2. CDからMDに録音する機能について



本機では、通常の録音の他に、CDプレーヤーおよびCDレコーダーからの録音には次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください。

- MP3、WMA収録ディスクを録音元のディスクとして使用するときは、CDプレーヤーをお使いください。CDレコーダーからの録音はできません。
- ファイナライズ処理をしていないCD-R/RWを録音元のディスクとして使用するときは、CDレコーダーをお使いください。CDプレーヤーからの録音はできません。
- 録音元のディスクの再生にCDレコーダーを使用したときは、デジタル録音および倍速録音はできません。

CDの録音を簡単に早く終わらせたいときは (CDプレーヤーのみ)

ワンタッチエディット倍速録音 (O.T.E.) (HIGH)

全曲倍速録音 (HIGH)



カンタンな操作でCDの全曲を、通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。 - [85]

1曲倍速録音 (HIGH)



そのときに聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作で通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。 - [86]

MP3、WMAファイルは倍速録音できません。

CDの録音を簡単にしたいときは (CDプレーヤー、CDレコーダー)

ワンタッチエディット通常速録音 (O.T.E.) (NORMAL)

全曲録音 (NORMAL)



カンタンな操作でCDの全曲 (MP3、WMA収録ディスクは全ファイル (CDプレーヤーのみ)) を、MDに録音することができます。 - [90]

1曲録音 (NORMAL)



そのときに聴いているCDの曲 (MP3、WMA収録ディスクはファイル (CDプレーヤーのみ)) だけを、カンタンな操作でMDに録音することができます。初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。 - [90]

1フォルダー録音 (NORMAL)



MP3、WMA収録ディスクの1フォルダー内の全ファイルを、MDに録音することができます。(CDプレーヤーのみ) - [90]

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは (CDプレーヤーのみ)

プログラム録音 (プログラム再生 (PGM) + O.T.E.)


プログラム録音 (HIGH)
プログラム録音 (NORMAL)

CDをプログラムした曲順で録音します。
MP3、WMA収録ディスクでは、プログラムしたフォルダーとファイル順で録音します。

CDの曲を、好きな順番にプログラムして録音するときに便利です。
→ [93]

3. MDからCD-R/RWに録音する機能について [MD] → [CDR]

本機では、通常の録音の他に、MDレコーダーからの録音には次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください。

✖  倍速録音はできません。

MDをCD-R/RWに簡単に録音をしたいときは

ワンタッチエディット通常速録音 (O.T.E.)

全曲録音

カンタンな操作でMDの全曲を、CD-R/RWに録音することができます。
→ [95]

1曲録音

そのときに聴いているMDの曲だけを、カンタンな操作でCD-R/RWに録音することができます。
初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。
→ [95]

MDグループ録音

MDの選択したグループ内の全曲をCD-R/RWに録音することができます。
気に入ったグループだけを選んで録音したいときに便利です。
→ [95]

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは

プログラム通常速録音 (プログラム再生 (PGM) + O.T.E.)

プログラム録音

MDをプログラムした曲順で録音します。
MDの曲を、好きな順番にプログラムして録音するときに便利です。
→ [95]

4. CDからCD-R/RW、MDに同時録音する機能について

CDから、CD-R/RWとMDに簡単に早く同時録音したいときは

CD-R/RW、MD同時倍速録音 (TWIN REC) (HIGH) CD → CDR MD

全曲同時倍速録音 (HIGH)

CDの全曲を、通常再生の2倍のスピードでCD-R/RWとMDに同時に録音できます。 → 97

1曲同時倍速録音 (HIGH)

その時に聴いているCDの曲だけを、通常再生の2倍のスピードでCD-R/RWとMDに同時に録音できます。
初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。 → 97



MP3、WMAファイルは倍速録音できません。

CDから、CD-R/RWとMDに簡単に同時録音したいときは

CD-R/RW、MD同時録音 (TWIN REC) (NORMAL) CD → CDR MD

全曲同時通常速録音 (NORMAL)

CDの全曲 (MP3、WMA収録ディスクは全ファイル) を、CD-R/RW と MD に同時に録音できます。 → 99

1曲同時通常速録音 (NORMAL)

その時に聴いているCDの曲 (MP3、WMA収録ディスクはファイル) だけを、CD-R/RWとMDに同時に録音できます。
初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。 → 99

1フォルダー同時通常速録音 (NORMAL)

MP3、WMA収録ディスクの1フォルダー内の全ファイルを、CD-R/RWとMDに同時に録音できます。 → 99

CDの曲を選び曲順を並びかえて同時録音がしたいときは

CD-R/RW、MD同時録音 (プログラム再生 (PGM) + TWIN REC) CD → CDR MD

プログラム同時録音 (HIGH)

プログラム同時録音 (NORMAL)

CDをプログラムした曲順で、CD-R/RWとMDに同時に録音できます。
MP3、WMA収録ディスクでは、プログラムしたフォルダーとファイル順で録音できます。
CDの曲を、好きな順番にプログラムして録音するときに便利です。 → 102

"CD^{ライティング} WRITING"または"TW^{ツイン}IN WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

"MD^{ライティング} WRITING"または"TW^{ツイン}IN WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ワンタッチエディット録音(O.T.E.)、同時録音(TWIN REC)について

ワンタッチエディット録音やCD-R/RW、MD同時録音では、CDプレーヤーで再生して、CDレコーダーやMDレコーダーに録音するときの録音スピードやMDレコーダーに録音するときの録音モードを設定をかえないで録音するときには、各録音操作において、"録音スピードを選ぶ"や"録音モードを選ぶ"操作を省略して録音操作をすることができます。各設定がどのよになっているかは以下の方法で確認することができます。

録音スピード設定の確認のしかた

"HIGH"の消灯/点灯を確認します。

"HIGH"が消灯.....通常速録音に設定

"HIGH"が点灯.....デジタル倍速録音に設定



尚、MP3、WMA収録ディスクがCDプレーヤーに入っているときには、倍速録音に設定していても、これらのディスクからは倍速録音ができないので"HIGH"は点灯しません。

- オーディオCDを倍速録音をするときには、"HIGH"が点灯していれば"録音スピードを選ぶ"操作をする必要はありません。
- 通常速で録音するときには、"HIGH"が消灯していれば"録音スピードを選ぶ"操作をする必要はありません。
- MP3、WMA収録ディスクを録音するときには、ディスク情報を読み取り自動的に通常速録音に切り換わるので"録音スピードを選ぶ"操作は必要ありません。

MD録音モード設定の確認のしかた

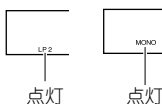
MDの停止中に録音モードの表示を確認します。

"LP(LP2、LP4)、MONO"が消灯...ステレオ録音モードに設定

"LP2"が点灯.....ステレオ2倍長時間録音モードに設定

"LP4"が点灯.....ステレオ4倍長時間録音モードに設定

"MONO"が点灯.....モノラル録音モードに設定



MDスタンプ機能のON/OFFを確認するとき、各録音操作で録音モードを選ぶ操作が必要となります。

CDの全曲をカンタンな操作で倍速録音する CD → CDR ワンタッチエディット ハイ (ワンタッチエディット全曲録音) (O.T.E.) (HIGH)

CDの全曲をCD-R/RWにカンタン操作でデジタル倍速録音することができます。(アナログでは倍速録音できません。) ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて"→[48])。MP3、WMA収録ディスクは倍速録音できません。

CDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

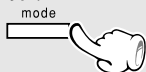
1 録音の準備をする

- ① CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる → [49]
- ② CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる → [33]

- CD-R/RW を CD レコーダーに入れたときに "CDR READING" や "CDR OPC" がしばらくの間点滅表示することがあります。"OPC 処理について" → [49]

2 録音スピードを選ぶ

- ① modeキーを押す



- ② multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んで setキーを押す



- ③ multi controlキーで"SPEED HIGH"を選んで setキーを押す

- ③ 押すたびに文字表示部が切り替わります。
SPEED NORMAL 通常速度で録音する
SPEED HIGH 倍速で録音する



- O.T.E. SPEED の設定ができない場合は、"X" が表示されます。 → [29]

3 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる

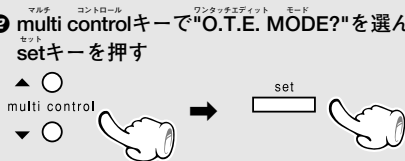


4 録音を始める

① modeキーを押す



② multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す



③ multi controlキーで"CD→CDR HIGH"を選んでsetキーを押すと倍速録音が始まります

①～③をリモコンで操作するとき

CD→CDR O.T.Eキーを押す



④

押すたびに文字表示部が切り換わります。

CD→CDR HIGH
 CD→MD HIGH
 CD→TWIN HIGH
 MD→CDR
 CDR→MD

- CDの1曲目から録音が始まり、全曲を録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 自動的にデジタル録音になりますが、SCMS(→[48])によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。→[52]
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

ライティング
 "CDR WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
 録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(→[48])によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(HIGH)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音(NORMAL)で録音してください。



本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
 (録音、再生ともに停止します。)

録音したCD-R/RWをファイナライズ処理するには

CDの1曲をカンタンな操作で倍速録音する [CD] → [CDR] (ワンタッチエディット1曲録音) (O.T.E.) (HIGH)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からCD-R/RWにデジタル倍速録音することができます。(アナログでは倍速録音できません。)

ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて"→[48])。MP3、WMA収録ディスクでは倍速録音できません。

CDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

- 1 CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる
→ [49]
- 2 CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる
→ [33]

- CD-R/RW を CD レコーダーに入れたときに "CDR READING" がしばらくの間点滅表示することがあります。"OPC 処理について" → [49]

2 録音スピードを選ぶ

- 1 modeキーを押す
mode
- 2 multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す
マルチ コントロール ワンタッチエディット スピード
▲ ○ multi control → set
▼ ○
- 3 multi controlキーで"SPEED HIGH"を選んでsetキーを押す
マルチ コントロール スピード ハイ
▲ ○ multi control → set
▼ ○

- 3 押すたびに文字表示部が切り換わります。
スピード ノーマル
SPEED NORMAL 通常速度で録音する
スピード ハイ
SPEED HIGH 倍速で録音する



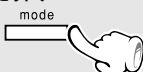
- O.T.E. SPEED の設定ができない場合は、"X" が表示されます。
→ [29]

3 録音したい曲を再生する

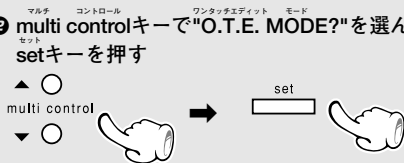
- 1 CDを再生する
- 2 録音したい曲を再生する

4 録音を始める

① modeキーを押す



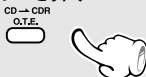
② multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す



③ multi controlキーで"CD→CDR HIGH"を選んでsetキーを押すと倍速録音が始まります

①～③をリモコンで操作するとき

CD→CDR O.T.E.キーを押す



③

押すたびに文字表示部が切り換わります。

CD→CDR HIGH
 CD→MD HIGH
 CD→TWIN HIGH
 MD→CDR
 CDR→MD

- 曲の途中で実行してもその曲の初めから録音が始まります。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 自動的にデジタル録音になりますが、SCMS(→[48])によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。 →[52]
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 録音が終了するとCDの再生は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

"CDR WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(HIGH)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音(NORMAL)で録音してください。

本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。

(録音、再生ともに停止します。)

録音したCD-R/RWをファイナライズ処理するには



CDをワンタッチで録音する ワンタッチエディット [CD] → ノーマル [CDR] (ワンタッチエディット通常速録音) (O.T.E.) (NORMAL)

CDの全曲を、ワンタッチでCD-R/RWに録音することができます。(全曲録音)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からCD-R/RWに録音することができます。(1曲録音)
 同様に、MP3、WMA収録ディスクでも全ファイルおよび再生中のファイルをCD-R/RWに録音することができます。また、
 選択したフォルダー内の曲のみを録音することができます。(1フォルダー録音)
 ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあ
 ります。"デジタル録音とSCMSについて" → [48]

CDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジ
 タル録音、アナログ録音の切り換え" → [52] でアナログ録音に
 切り換えたと、手順①から設定を始めてください。



入力切り換えを"CD" (→ [31]) にして、録音するディスクをCDプ
 レーヤーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。

"DIGITAL"点灯 デジタル録音

"DIGITAL"消灯 アナログ録音

- MP3、WMA 収録ディスクではデジタル録音はできませ
 ん。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切
 り換ります。

1 録音の準備をする

- ① CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる

→ [49]

- ② CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる

→ [33] → [35]

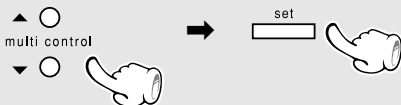
- CD-R/RW を CD レコーダーに入れたときに "CDR
 READING" や "CDR OPC" がしばらくの間点滅表示する
 ことがあります。"OPC 処理について" → [49]

2 録音スピードを選ぶ

- ① modeキーを押す



- ② multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んで
 setキーを押す



- ③ multi controlキーで"SPEED NORMAL"を選ん
 でsetキーを押す

- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは手順②の操
 作は必要ありません。手順③に進んでください。

- ③

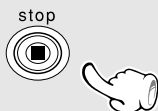
押すたびに文字表示部が切り換わります。

- ↳ SPEED NORMAL 通常速度で録音する
- ↳ SPEED HIGH 倍速で録音する

3 CDの再生状態を確認する

全曲(全ファイル)録音するとき

再生中のときは停止させる



- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは、"**FOLDER**"表示が消光していることを確認してください。点灯しているときは**P.MODE/CHARAC.**キーを繰り返し押し"**FOLDER**"表示を消光させてください。

選択したフォルダーのみを録音するとき (MP3、WMA収録ディスクのみ)

入力切り換えを"CD"にし、フォルダー再生モードで録音したいフォルダーを選ぶ

→ [39]

1曲(1ファイル)録音するとき

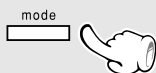
録音したい曲(ファイル)を再生する



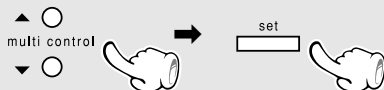
- MP3、WMA収録ディスクでは、フォルダーサーチ(→[37])またはフォルダーセレクト(→[38])でフォルダーを選んでから、**◀◀**、**▶▶**キーで聴きたい曲を選択することもできます。

4 録音を始める

① modeキーを押す



② multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す



③ multi controlキーで"CD→CDR NORMAL"を選んでsetキーを押すと録音が始まります

①～③をリモコンで操作するとき

CD→CDR O.T.E.キーを押す



録音を途中でやめるには

本体**STOP**■キー、またはリモコン**STOP**■キーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

録音したCD-R/RWをファイナライズするには

→ [46]

④

押すたびに文字表示部が切り換わります。

CD→CDR NORMAL
CD→MD NORMAL
CD→TWIN NORMAL
MD→CDR
CDR→MD

- 曲(ファイル)の途中で実行してもその曲(ファイル)の初めから録音が始まります。
- 再生するディスクによっては、**SCMS**(→[48])によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。→ [52]
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 1曲(1ファイル)録音では、1曲(1ファイル)録音が終了するとCDの再生は一時停止状態になり、最終曲(最後のファイル)のときは停止します。

"CDR WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(→[48])によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。

曲順を並べ替えて録音する CD → CDR (プログラム再生 (PGM) + O.T.E.) (HIGH/NORMAL)

CDの好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをCD-R/RWに倍速または通常速で録音することができます。MP3、WMA収録ディスクでは、フォルダーとファイルをプログラムした順で録音することができます。(通常速録音のみ) ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて" - [48])。MP3、WMA収録ディスクは倍速録音できません。

CDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に(通常速録音のみ)

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え" - [62] でアナログ録音に切り換えたあと、手順 1 から設定を始めてください。また、手順 2 の"録音スピードを選ぶ"では"SPEED NORMAL"(通常速度で録音する)を選んでください。



入力切り換えを"CD" (- [31]) にして、録音するディスクをCDプレーヤーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。

"DIGITAL"点灯 デジタル録音
 "DIGITAL"消灯 アナログ録音

- MP3、WMA 収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

- 1 CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる
- [49]
- 2 CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる
- [33] - [39]

- CD-R/RW を CD レコーダーに入れたときに "CD R READING" がしばらくの間点滅表示することがあります。"OPC 処理について" - [49]

2 録音スピードを選ぶ

- 1 modeキーを押す
mode
- 2 multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す
マルチ コントロール ワンタッチエディット スピード
multi control set
- 3 multi controlキーで"SPEED NORMAL"または"SPEED HIGH"を選んでsetキーを押す
マルチ コントロール スピード ノーマル
multi control set

- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは手順 2 の操作は必要ありません。手順 3 に進んでください。

- 3 押すたびに文字表示部が切り換わります。
 SPEED NORMAL 通常速度で録音する
 SPEED HIGH 倍速で録音する(デジタル録音)

- O.T.E. SPEED の設定ができない場合は、"X" が表示されます (- [29])。この場合は手順 3 に進んでください。

3 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる



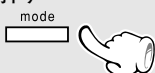
4 CDの曲順をプログラムする

オーディオCDのプログラム

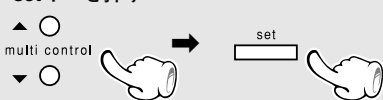
入力切り換えを"CD"にし、"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順①～③で録音する曲をプログラムする → [60]

5 録音を始める

① modeキーを押す



② multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す



③ multi controlキーで"CD→CDR NORMAL"または"CD→CDR HIGH"を選んでsetキーを押すと録音が始まります

①～③をリモコンで操作するとき

CD→CDR O.T.E.キーを押す



録音する曲によっては、その曲の倍速録音(HIGH)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音(NORMAL)で録音してください。



本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体STOP■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

MP3、WMA収録ディスクのフォルダープログラム

入力切り換えを"CD"にし、"曲順を並べ替えて聴く(MP3、WMAプログラム再生)"の手順①～③で録音するフォルダーとファイルをプログラムする → [62]

④

押すたびに文字表示部が切り換わります。

手順②で"SPEED NORMAL"を選んだとき、またはMP3、WMA収録ディスクの録音のとき
手順②で"SPEED HIGH"を選んだとき

CD→CDR NORMAL	CD→CDR HIGH
CD→MD NORMAL	CD→MD HIGH
CD→TWIN NORMAL	CD→TWIN HIGH
MD→CDR	MD→CDR
CDR→MD	CDR→MD

- プログラムの1曲目(1ファイル目)から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 再生するディスクによっては、SCMS(→[48])によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。 → [62]
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

"CD R WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(→[48])によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。

録音したCD-R/RWをファイナライズするには

CDの全曲をカンタンな操作で倍速録音する [CD] → [MD]

(ワンタッチエディット全曲録音) (O.T.E.) (HIGH)

CDの全曲をMDにカンタン操作でデジタル倍速録音することができます。(アナログでは倍速録音できません。) ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります ("デジタル録音とSCMSについて" - [48])。MP3、WMA収録ディスクは倍速録音できません。

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

- 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる - [53]
- CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる - [33]

- CDレコーダーからは倍速録音はできません。
- 必要に応じて、MDグループ登録のON/OFFを切り換えます。 - [87]

2 録音スピードを選ぶ

① modeキーを押す

mode

② multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す

マルチ コントロール ワンタッチエディット スピード

multi control

set

③ multi controlキーで"SPEED HIGH"を選んでsetキーを押す

マルチ コントロール スピード ハイ

④ 押すたびに文字表示部が切り換わります。

SPEED NORMAL 通常速度で録音する

SPEED HIGH 倍速で録音する

点灯

- O.T.E. SPEEDの設定ができない場合は、"X"が表示されます。 - [29]

3 録音モードを選ぶ

① modeキーを押す

mode

② multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す

マルチ コントロール レコーディング モード

multi control

set

③ multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す

STEREO または MONO を選択したときは手順④へ

LP2 または LP4 を選択したときは手順④へ

④ multi controlキーを押してMDスタンプ機能(ON/OFF)の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

マルチ コントロール

- 録音モードを変更しないときは手順③の操作は必要ありません。手順④に進んでください。

⑤ 押すたびに文字表示部が切り換わります。

STEREO ステレオ録音モード

LP2 ステレオ2倍長時間録音モード

LP4 ステレオ4倍長時間録音モード

MONO モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO"または"MONO"で録音してください。 - [56]

⑥ 押すたびに文字表示部が切り換わります。

ON 録音した曲に"LP:"というタイトルを自動的に入力する

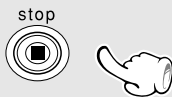
OFF 録音した曲に"LP:"というタイトルを入力しない

ONのとき OFF > ON OFFのとき > OFF ON

次ページにつづく

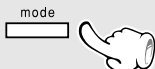
4 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる

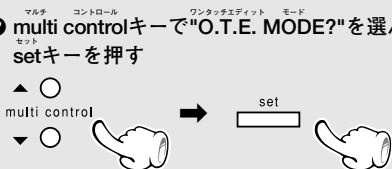


5 録音を始める

① modeキーを押す



② multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す



③ multi controlキーで"CD→MD HIGH"を選んでsetキーを押すと倍速録音が始まります

①～③をリモコンで操作するとき

CD→MD O.T.E.キーを押す



④

押すたびに文字表示部が切り換わります。

CD→CDR HIGH
CD→MD HIGH
CD→TWIN HIGH
MD→CDR
CDR→MD

- CDの1曲目から録音が始まり、全曲を録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 自動的にデジタル録音になりますが、SCMS(→[48])によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。→[57]
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(→[48])によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(HIGH)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音(NORMAL)で録音してください。



本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

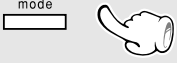
本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します
(録音、再生ともに停止します。)

MDグループ登録ON/OFFを選ぶには


グループ登録をONに選んでおくと、自動的にCDの全曲が1グループとしてMDに録音されます。MD長時間録音で複数枚のCDを1枚のMDに録音するときに便利です。グループとして登録しておくと、グループタイトルをつけて、グループ再生や編集などができます。→[42]→[104]

初期値はON(グループ登録する)に設定されています。

① ^{モード} modeキーを押す



② ^{マルチ} ^{コントロール} multi controlキーで"MD GROUP MAKE ?"を選んで^{セット} setキーを押す



③ ^{マルチ} ^{コントロール} multi controlキーで"ON"または"OFF"を選び、^{オン} setキーを押す

② MD GROUP MAKE

③ 押すたびに文字表示部が切り換わります。

- ON ... グループ登録をする
- OFF ... グループ登録をしない

ONのとき

GROUP	OFF	>ON
-------	-----	-----

OFFのとき

GROUP	>OFF	ON
-------	------	----

- グループとして登録しない場合は、"OFF"を選びます。
- グループ登録したMDを、グループ管理機能を搭載していない器機で編集(曲の移動、削除など)やタイトルの入力を行わないでください。

CDの1曲をカンタンな操作で倍速録音する [CD] → [MD]

(ワンタッチエディット1曲録音) (O.T.E.) (HIGH)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からMDにデジタル倍速録音することができます。(アナログでは倍速録音できません。)

ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて" - [48])。MP3、WMAファイルは倍速録音できません。

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

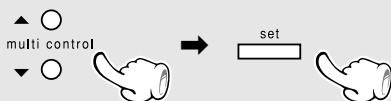
- ① 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる - [53]
- ② CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる - [33]

2 録音スピードを選ぶ

- ① modeキーを押す



- ② multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す



- ③ multi controlキーで"SPEED HIGH"を選んでsetキーを押す

④

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- SPEED NORMAL 通常速度で録音する
- SPEED HIGH 倍速で録音する



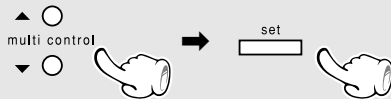
- O.T.E. SPEEDの設定ができない場合は、"X"が表示されます。 - [29]

3 録音モードを選ぶ

- ① modeキーを押す



- ② multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す



- ③ multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す

"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順②へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順④へ

- ④ multi controlキーを押してMDスタンプ機能(-[56])の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

- 録音モードを変更しないときは手順③の操作は必要ありません。手順④に進んでください。

⑤

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- STEREO ステレオ録音モード
- LP2 ステレオ2倍長時間録音モード
- LP4 ステレオ4倍長時間録音モード
- MONO モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO"または"MONO"で録音してください。 - [56]

⑥

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- ON 録音した曲に"LP:"というタイトルを自動的に入力する
- OFF 録音した曲に"LP:"というタイトルを入力しない

ONのとき OFF > ON OFFのとき > OFF ON

4 録音したい曲を再生する

① CDを再生する



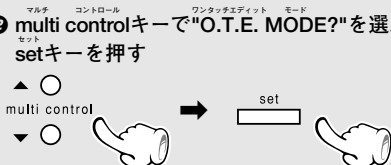
② 録音したい曲を再生する

5 録音を始める

① modeキーを押す



② multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す



③ multi controlキーで"CD→MD HIGH"を選んでsetキーを押すと倍速録音が始まります

①～③をリモコンで操作するとき

CD→MD O.T.E.キーを押す



録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。

(録音、再生ともに停止します。)

④

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- CD→CDR HIGH
- CD→MD HIGH
- CD→TWIN HIGH
- MD→CDR
- CDR→MD

- 曲の途中で実行してもその曲の初めから録音が始まります。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 自動的にデジタル録音になりますが、SCMS(→48)によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。(→52)
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 録音が終了するとCDの再生は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(HIGH)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音(NORMAL)で録音してください。



本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

CDをワンタッチで録音する → CD-R →

(ワンタッチエディット通常速録音) (O.T.E.) (NORMAL)

CDの全曲を、ワンタッチでMDに録音することができます。(全曲録音)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からMDに録音することができます。(1曲録音)

同様に、MP3、WMA収録ディスクでも全ファイルおよび再生中のファイルをMDに録音することができます(CDプレーヤーで再生するときのみ)。また、選択したフォルダー内の曲のみを録音することもできます。(1フォルダー録音)

ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて"→[48]

CDレコーダーでは、ファイナライズ処理されていないCD-R/RWからも録音することができますが、アナログ録音のみとなります。デジタル録音はCDプレーヤーで再生するときのみです。

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に(録音元にCDプレーヤーを使用するときのみ)

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え"→[57]でアナログ録音に切り換えたあと、手順①から設定を始めてください。



入力切り換えを"CD"→[31]にして、録音するディスクをCDプレーヤーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。

"DIGITAL"点灯 デジタル録音

"DIGITAL"消灯 アナログ録音

- MP3、WMA収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

- ① 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる → [53]
- ② CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる
→ [33] → [39]
CDレコーダーに録音元のディスクを入れる → [33]

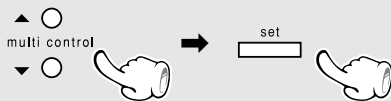
- 全曲(全ファイル)録音のときは必要に応じて、MDグループ登録のON/OFFを切り換えます。 → [87]
MDグループ登録"ON"では、MP3、WMA収録ディスクの選択したフォルダーのみを録音したときにはフォルダー内のファイルが1つのグループとして録音されます。

2 録音スピードを選ぶ

- ① modeキーを押す

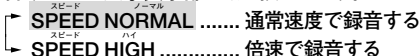


- ② multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す



- ③ multi controlキーで"SPEED NORMAL"を選んでsetキーを押す

- 録音元のディスクの再生にCDレコーダーを使用するときや、MP3、WMA収録ディスクを録音するときは、手順②の操作は必要ありません。手順③に進んでください。

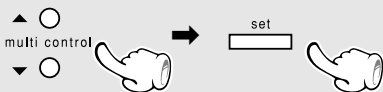
- ③ 押すたびに文字表示部が切り換わります。

 - ↑ SPEED NORMAL 通常速度で録音する
 - ↓ SPEED HIGH 倍速で録音する

3 録音モードを選ぶ

① modeキーを押す



② multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す



③ multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す

"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順②へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順④へ

④ multi controlキーを押してMDスタンプ機能(→[56])の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

● 録音モードを変更しないときは手順③の操作は必要ありません。手順②に進んでください。

③

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- STEREO ステレオ録音モード
- LP2 ステレオ2倍長時間録音モード
- LP4 ステレオ4倍長時間録音モード
- MONO モノラル録音モード

● 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO"または"MONO"で録音してください。→[56]

④

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- ON 録音した曲に"LP: "というタイトルを自動的に入力する
- OFF... 録音した曲に"LP: "というタイトルを入力しない

OFF >ON >OFF ON

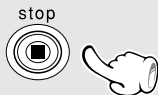
ONのとき

OFFのとき

4 CDの再生状態を確認する

全曲(全ファイル)録音するとき

再生中のときは停止させる



● MP3、WMA収録ディスクを録音するときは、"FOLDER"表示が消灯していることを確認してください。点灯しているときはP.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して"FOLDER"表示を消灯させてください。

選択したフォルダーのみを録音するとき(MP3、WMA収録ディスクをCDプレーヤーで再生するときのみ)

入力切り換えを"CD"にし、フォルダー再生モードで録音したいフォルダーを選ぶ

→[39]

1曲(1ファイル)録音するとき

録音したい曲を再生する



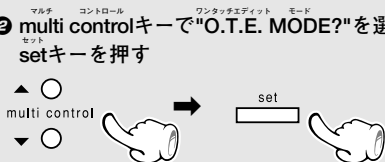
● MP3、WMA収録ディスクでは、フォルダーサーチ(→[37])またはフォルダーセレクト(→[38])でフォルダーを選んでから、◀◀、▶▶キーで聴きたい曲(ファイル)を選択することもできます。(CDプレーヤーで再生するときのみ)

5 録音を始める

① modeキーを押す



② multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す



③ multi controlキーで"CD→MD NORMAL"または"CDR→MD"を選んでsetキーを押すと録音が始まります

①～③をリモコンで操作するとき

CD→MD O.T.E.キーを押す (CDプレーヤーからの録音時のみ)



録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。

(録音、再生ともに停止します。)

④

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- CD→CDR NORMAL (CD→CDR HIGH)
- CD→MD NORMAL (CD→MD HIGH)
- CD→TWIN NORMAL (CD→TWIN HIGH)
- MD→CDR
- CDR→MD

- CDの再生にCDプレーヤーを使用するときは"CD→MD NORMAL"を選び、CDレコーダーを使用するときは"CDR→MD"を選びます。
- 曲(ファイル)の途中で実行しても、その曲(ファイル)の初めから録音が始まります。
- 再生するディスクによっては、SCMS(→[49])によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 - [57]
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 1曲(1ファイル)録音では、1曲(1ファイル)録音が終了するとCDの再生は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(→[49])によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

曲順を並べ替えて録音する **CD** → **MD**

(プログラム再生 PROGRAM + O.T.E.) (HIGH/NORMAL)

CDの好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをMDに倍速または通常速で録音することができます。MP3、WMA収録ディスクでは、フォルダーとファイルをプログラムした順で録音することができます。(通常速録音のみ) ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて" - [48])。MP3、WMA収録ディスクは倍速録音できません。

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に(通常速録音のみ)

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え" - [67] でアナログ録音に切り換えたと、手順 1 から設定を始めてください。また、手順 2 の"録音スピードを選ぶ"では"SPEED NORMAL"(通常速度で録音する)を選んでください。

1 録音の準備をする

- 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる - [53]
- CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる - [33] - [36]

2 録音スピードを選ぶ

- modeキーを押す
- multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す
- multi controlキーで"SPEED HIGH"または"SPEED NORMAL"を選んでsetキーを押す

3 録音モードを選ぶ

- modeキーを押す
- multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す
- multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す
"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順 4 へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順 4 へ
- multi controlキーを押してMDスタンプ機能(-[56])の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す



入力切り換えを"CD"(-[31])にして、録音するディスクをCDプレーヤーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。

- "DIGITAL"点灯 デジタル録音
- "DIGITAL"消灯 アナログ録音
- MP3、WMA収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

- 必要に応じて、MDグループ登録のON/OFFを切り換えます。 - [87]

- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは手順 2 の操作は必要ありません。手順 3 に進んでください。

- 押すたびに文字表示部が切り換わります。
 - SPEED NORMAL 通常速度で録音する
 - SPEED HIGH 倍速で録音する(デジタル録音)
- O.T.E. SPEEDの設定ができない場合は、"X"が表示されます(-[29])。この場合は手順 3 に進んでください。

- 録音モードを変更しないときは手順 3 の操作は必要ありません。手順 4 に進んでください。

- 押すたびに文字表示部が切り換わります。
 - STEREO ステレオ録音モード
 - LP2 ステレオ2倍長時間録音モード
 - LP4 ステレオ4倍長時間録音モード
 - MONO モノラル録音モード
- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO"または"MONO"で録音してください。 - [56]

- 押すたびに文字表示部が切り換わります。
 - ON 録音した曲に"LP:"というタイトルを自動的に入力する
 - OFF 録音した曲に"LP:"というタイトルを入力しない

ONのとき OFF > ON OFFのとき > OFF ON

次ページにつづく

4 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる



5 CDの曲順をプログラムする

オーディオCDのプログラム

入力切り換えを"CD"にし、"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順⑦～⑨で録音する曲をプログラムする
- [60]

6 録音を始める

① modeキーを押す

モード マルチ コントロール ワンタッチエディット モード
ワンタッチエディット

② multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す

マルチ コントロール ハイ

③ multi controlキーで"CD→MD NORMAL"または"CD→MD HIGH"を選んでsetキーを押すと録音が始まります

マルチ コントロール ハイ ノーマル

①～③をリモコンで操作するとき

ワンタッチエディット
CD→MD O.T.E.キーを押す

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(HIGH)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音(NORMAL)で録音してください。



本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。

(録音、再生ともに停止します。)

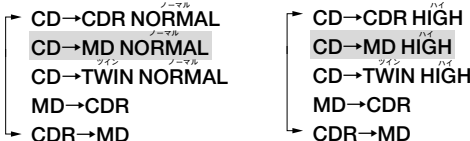
MP3、WMA収録ディスクのフォルダープログラム

入力切り換えを"CD"にし、"曲順を並べ替えて聴く(MP3、WMAプログラム再生)"の手順⑦～⑨で録音するフォルダーとファイルのプログラムをする - [62]

④

押すたびに文字表示部が切り換わります。

手順②で"SPEED NORMAL"を 手順②で"SPEED
選んだとき、またはMP3、WMA HIGH"を選んだとき
収録ディスクの録音のとき



- プログラムの1曲目(1ファイル目)から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 倍速録音では、曲と曲の間で約10秒間の録音一時停止となりますが異状ではありません。
- 再生するディスクによっては、SCMS(-[48])によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。 - [52]
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

ライティング

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(-[48])によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

MDをワンタッチで録音する MD → CDR

(ワンタッチエディット通常速録音)^{ワンタッチエディット} (O.T.E.) / (プログラム再生^{プログラム} (PGM) + O.T.E.)^{ワンタッチエディット}

MDの全曲を、ワンタッチでCD-R/RWに録音することができます。(全曲録音)

MDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からCD-R/RWに録音することができます。(1曲録音)

選択したMDグループ内の全曲を録音することができます。(MDグループ録音)

MDの好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをCD-R/RWに録音することができます。(プログラム録音)

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

① CDRレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる

- [49]

② MDレコーダーに録音元のミニディスクを入れる

- [40]

- 通常速度、アナログ録音で録音します。
- デジタル録音はできません。デジタル録音を選択 ("DIGITAL"表示点灯)しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

2 MDの再生状態を確認する

全曲録音するとき

再生中のときは停止させる



1曲録音するとき

録音したい曲を再生する



グループ内の全曲を録音するとき

入力切り換えを"MD"にし、再生を停止してからグループ再生モードの手順①、②で録音するグループを選ぶ

- [42]

プログラムした曲を録音するとき

入力切り換えを"MD"にし、"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順①~④で録音する曲をプログラムする

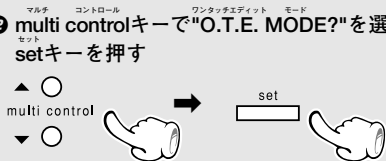
- [60]

3 録音を始める

① modeキーを押す



② multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す



③ multi controlキーで"MD→CDR"を選んでsetキーを押すと録音が始まります

④

押すたびに文字表示部が切り換わります。

CD→CDR NORMAL (CD→CDR HIGH)
 CD→MD NORMAL (CD→MD HIGH)
 CD→TWIN NORMAL (CD→TWIN HIGH)
MD→CDR

CDR→MD

- 曲の途中で実行しても、その曲の初めから録音が始まります。
- 1曲録音では、録音が終了するとMDの再生は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

"CDR WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
 録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
 (録音、再生ともに停止します。)

録音したCD-R/RWをファイナライズ処理するには



CD-R/RWとMDに同時倍速録音する CD → CDR MD

(TWIN REC) (HIGH)

CDの全曲を、CD-R/RWとMDに同時に、デジタル倍速録音することができます。(全曲同時倍速録音)
今聴いているCDの曲だけを、曲の最初からCD-R/RWとMDに同時に、デジタル倍速録音することができます。(1曲同時倍速録音)

ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて"-[48])。MP3、WMAファイルは倍速録音できません。

CDレコーダー、MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

- ① CDR : CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる -[49]
- MD : 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる -[53]
- ② CDプレーヤーに録音元ディスクを入れる -[33]

2 録音スピードを選ぶ

- ① modeキーを押す
mode
- ② multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す
multi control → set
- ③ multi controlキーで"SPEED HIGH"を選んでsetキーを押す
multi control → set

- ① CD-R/RWをCDレコーダーに入れたときに"CDR READING"や"CDR OPC"がしばらくの間点滅表示することがあります。"OPC処理について" -[49]
- ② 必要に応じて、MDグループ登録のON/OFFを切り換えます。 -[87]

- ③ 押すたびに文字表示部が切り換わります。
SPEED NORMAL 通常速度で録音する
SPEED HIGH 倍速で録音する



- ④ O.T.E. SPEEDの設定ができない場合は、"X"が表示されます。 -[29]

3 MDの録音モードを選ぶ

- ① modeキーを押す
mode
- ② multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す
multi control → set
- ③ multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す
"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順④へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順⑤へ
- ④ multi controlキーを押してMDスタンプ機能(-[56])の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

- ① MDの録音モードを変更しないときは手順③の操作は必要ありません。手順④に進んでください。

- ② 押すたびに文字表示部が切り換わります。
STEREO ステレオ録音モード
LP2 ステレオ2倍長時間録音モード
LP4 ステレオ4倍長時間録音モード
MONO モノラル録音モード
- ③ 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO"または"MONO"で録音してください。-[66]

- ④ 押すたびに文字表示部が切り換わります。
ON 録音した曲に"LP:"というタイトルを自動的に入力する
OFF ... 録音した曲に"LP:"というタイトルを入力しない

ONのとき OFF > ON OFFのとき > OFF ON

次ページにつづく

4 CDの再生状態を確認する

全曲録音するとき

再生中のときは停止させる



1曲録音するとき

録音したい曲を再生する



5 録音を始める

- モード modeキーを押す
- multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す
- multi controlキーで"CD→TWIN HIGH"を選んでsetキーを押すと同時録音が始まります

①～③をリモコンで操作するとき

ライブ レコーディング
TWIN RECキーを押す

録音元のディスクにSCMS(→[48])によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合:

CDRのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。

MDのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(HIGH)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音(NORMAL)で録音してください。



本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

- 押すたびに文字表示部が切り換わります。

CD→CDR HIGH
CD→MD HIGH
CD→TWIN HIGH
MD→CDR
CDR→MD

- 曲の途中で実行してもその曲の初めから録音が始まります。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- MDとCD-R/RWそれぞれに録音可能な残り時間がない場合、"DISC FULL"と表示され、録音しません。
- 1曲録音では、1曲録音が終了するとCDは一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。
- CDの再生が停止すると、録音動作も自動的に停止します。
- 再生するディスクによってはSCMS(→[48])により、デジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常録音で録音してください。→[52]→[57]

"CDR WRITING"または"TWIN WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

"MD WRITING"または"TWIN WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音したCD-R/RWをファイナライズするには



CD-R/RWとMDに同時通常速録音する [CD] → [CDR] [MD]

(TWIN REC) (NORMAL)

CDの全曲を、ワンタッチでCD-R/RWとMDに同時に録音することができます。(全曲同時録音)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からCD-R/RWとMDに同時に録音することができます。(1曲同時録音)

同様に、MP3、WMA収録ディスクでも全ファイルの録音および再生中のファイルを録音することができます。また、選択したフォルダー内の曲のみを録音することができます。(1フォルダー録音)

ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" - [48]

CDレコーダー、MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え" - [52] - [57] でアナログ録音に切り換えたあと、手順 [4] から設定を始めてください。



入力切り換えを"CD"(-[31])にして、録音するディスクをCDプレーヤーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。

"DIGITAL"点灯 デジタル録音

"DIGITAL"消灯 アナログ録音

- MP3、WMA収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

- ① CDR : CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる - [49]
MD : 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる - [53]
- ② CDプレーヤーに録音元ディスクを入れる - [33] - [35]

- ① CD-R/RWをCDレコーダーに入れたときに"CD R READING"や"CDR OPC"がしばらくの間点滅表示することがあります。"OPC処理について" - [49]
- 全曲(全ファイル)録音のときは必要に応じて、MDグループ登録のON/OFFを切り換えます。 - [87]
MDグループ登録"ON"では、MP3、WMA収録ディスクの選択したフォルダーのみを録音したときにはフォルダー内のファイルが1つのグループとして登録されます。

2 録音スピードを選ぶ

- ① modeキーを押す
- ② multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す
- ③ multi controlキーで"SPEED NORMAL"を選んでsetキーを押す

- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは手順 [2] の操作は必要ありません。手順 [3] に進んでください。

- ③ 押すたびに文字表示部が切り換わります。
[SPEED NORMAL 通常速度で録音する
[SPEED HIGH 倍速で録音する

3 MDの録音モードを選ぶ

- ① modeキーを押す



- ② multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す



- ③ multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す

"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順②へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順④へ

- ④ multi controlキーを押してMDスタンプ機能(→[56])の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

- MDの録音モードを変更しないときは手順③の操作は必要ありません。手順④に進んでください。

- ⑤ 押すたびに文字表示部が切り換わります。

STEREO ステレオ録音モード
LP2 ステレオ2倍長時間録音モード
LP4 ステレオ4倍長時間録音モード
MONO モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO"または"MONO"で録音してください。→[56]

- ⑥ 押すたびに文字表示部が切り換わります。

ON 録音した曲に"LP:"というタイトルを自動的に入力する
OFF... 録音した曲に"LP:"というタイトルを入力しない

ONのとき OFF > ON OFFのとき > OFF ON

4 CDの再生状態を確認する

全曲(全ファイル)録音するとき

再生中のときは停止させる



- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは、"FOLDER"表示が消灯していることを確認してください。点灯しているときはP.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して"FOLDER"表示を消灯させてください。

選択したフォルダーのみを録音するとき (MP3、WMA収録ディスクのみ)

入力切り換えを"CD"にして、フォルダー再生モードで録音したいフォルダーを選ぶ →[39]

1曲(1ファイル)録音するとき

録音したい曲を再生する



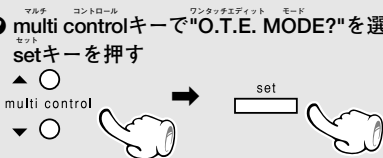
- MP3、WMA収録ディスクでは、フォルダーサーチ(→[37])またはフォルダーセレクト(→[39])でフォルダーを選んでから、◀◀、▶▶キーで聴きたい曲(ファイル)を選択することもできます。

5 録音を始める

① modeキーを押す



② multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す



③ multi controlキーで"CD→TWIN NORMAL"を選んでsetキーを押すと同時録音が始まります

①～③をリモコンで操作するとき

TWIN RECキーを押す



③

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- CD→CDR NORMAL
- CD→MD NORMAL
- CD→TWIN NORMAL
- MD→CDR
- CDR→MD

- 曲(ファイル)の途中で実行してもその曲(ファイル)の初めから録音が始まります。
- MDとCD-R/RWそれぞれに録音可能な残り時間がない場合、"DISC FULL"と表示され、録音しません。
- 再生するディスクによってはSCMS(→[49])により、デジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →[52]→[57]
- 1曲(1ファイル)録音では、1曲(1ファイル)録音が終了するとCDは一時停止状態になり、最終曲(最後のファイル)のときは停止します。
- CDの再生が停止すると、録音動作も自動的に停止します。

"CDR WRITING"または"TWIN WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

"MD WRITING"または"TWIN WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音元のディスクにSCMS(→[49])によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合:
CDRのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。
MDのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

録音したCD-R/RWをファイナライズするには



曲順を並べ替えて同時録音する CD → CDR MD

(プログラム再生 プログラム (PGM) + TWIN REC ツインレコーディング) (HIGH/NORMAL) ハイノーマル)

CDの好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをCD-R/RWとMDIに同時に倍速または通常速で録音することができます。MP3、WMA収録ディスクでは、フォルダーとファイルをプログラムした順で録音することができます。(通常速録音のみ)ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて"→[48])。MP3、WMA収録ディスクは倍速録音できません。

CDレコーダー、MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に(通常録音のみ)

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え"→[52]→[57]でアナログ録音に切り換えたあと、手順④から設定を始めてください。また、手順④の"録音スピード"では"SPEED NORMAL"(通常速度で録音する)を選んでください。



入力切り換えを"CD"(→[31])にして、録音するディスクをCDプレーヤーに入ると、現在設定されている状態が表示されます。

"DIGITAL"点灯 デジタル録音

"DIGITAL"消灯 アナログ録音

- MP3、WMA収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

- ① CDR : CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる → [49]
MD : 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる → [53]
- ② CDプレーヤーに録音元ディスクを入れる → [33] → [35]

2 録音スピードを選ぶ

- ① modeキーを押す
- ② multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す
- ③ multi controlキーで"SPEED HIGH"または"SPEED NORMAL"を選んでsetキーを押す

3 MDの録音モードを選ぶ

- ① modeキーを押す
- ② multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す
- ③ multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す
"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順④へ"LP2"または"LP4"を選択したときは手順④へ
- ④ multi controlキーを押してMDスタンプ機能(→[56])の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

1

- CD-R/RWをCDレコーダーに入れたときに"CDR READING"や"CDR OPC"がしばらくの間点滅していることがあります。"OPC処理について" → [49]

2

- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは手順②の操作は必要ありません。手順③に進んでください。

3

- 押すたびに文字表示部が切り換わります。
- ▶ SPEED NORMAL 通常速度で録音する
 - ▶ SPEED HIGH 倍速で録音する(デジタル録音)
 - O.T.E. SPEEDの設定ができない場合は、"X"が表示されます(→[29])。この場合は手順③に進んでください。

4

- MDの録音モードを変更しないときは手順③の操作は必要ありません。手順④に進んでください。

5

- 押すたびに文字表示部が切り換わります。
- ▶ STEREO ステレオ録音モード
 - ▶ LP2 ステレオ2倍長時間録音モード
 - ▶ LP4 ステレオ4倍長時間録音モード
 - ▶ MONO モノラル録音モード
 - 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO"または"MONO"で録音してください。 → [56]

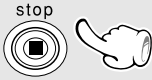
6

- 押すたびに文字表示部が切り換わります。
- ▶ ON 録音した曲に"LP:"というタイトルを自動的に入力する
 - ▶ OFF ... 録音した曲に"LP:"というタイトルを入力しない

ONのとき OFF > ON OFFのとき > OFF ON

4 CDの再生状態を確認する

再生中のときは停止させる



5 CDの曲順をプログラムする

オーディオCDのプログラム

入力切り換えを"CD"にして、"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順①～③で録音する曲をプログラムする → [60]

6 録音を始める

- ① modeキーを押す
- ② multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す
- ③ multi controlキーで"CD→TWIN NORMAL"または"CD→TWIN HIGH"を選んでsetキーを押すと同時録音が始まります

①～③をリモコンで操作するとき

TWIN RECキーを押す

録音元のディスクにSCMS(→[48])によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合:

CDRのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。MDのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(HIGH)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音(NORMAL)で録音してください。



本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。(録音、再生ともに停止します。)

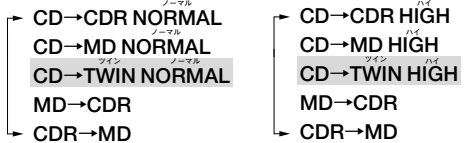
MP3、WMA収録ディスクのフォルダープログラム

入力切り換えを"CD"にして、"曲順を並べ替えて聴く(MP3、WMAプログラム再生)"の手順①～③で録音するフォルダーとファイルをプログラムする → [62]

③

押すたびに文字表示部が切り換わります。

手順②で"SPスピードEED NORMAL" 手順③で"SPスピードEED HIGH"を選んだとき、またはMP3、を選んだとき WMA収録ディスクを録音するとき



- プログラムの1曲目(1ファイル目)から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が大音量で聴こえます。
- MDとCD-R/RWそれぞれに録音可能な残り時間がないと、"DISC FULL"と表示され、録音しません。
- 倍速録音では、曲と曲の間で約10秒間の録音一時停止となりますが異状ではありません。
- 再生するディスクによっては、SCMS(→[48])により、デジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。 → [52] → [57]
- CDの再生が停止すると、録音動作も自動的に停止します。

"CDライティング WRITING"または"TWINライティング WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

"MDライティング WRITING"または"TWINライティング WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。


録音したCD-R/RWをファイナライズするには

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行なうことができます。再生専用のミニディスクは編集できません。

MDはディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。取り出し操作をしたときに、情報をディスクに書き込みます。編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

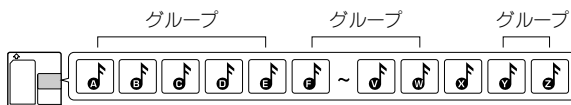
MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、「MDレコーダー部 (MD規格上の症状)」をご確認ください。 

MDの編集機能には大きく分けて、グループ編集機能および通常のトラック編集機能の2つがあります。

グループ編集機能

グループを登録する (GROUP START) グループ スタート → **106**



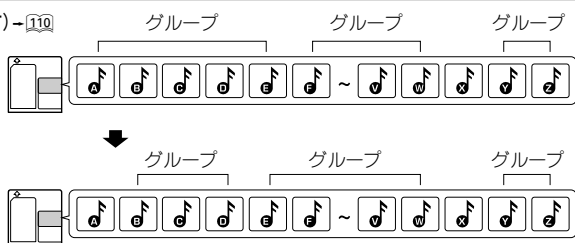
- 1曲または連続した曲番号の曲をグループとして登録することができます。(最大99グループ)

グループ登録を解除する (GROUP CANCEL) グループ キャンセル → **108**

- 登録したグループを個別にまたは一括して解除することができます。

グループエディット (GROUP EDIT) グループ エディット → **110**

グループエディット例

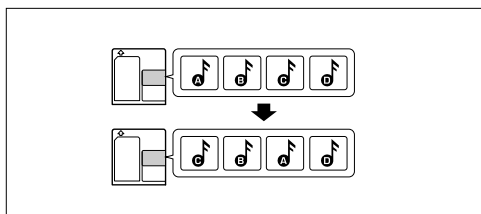


- グループ登録した曲の範囲を変更することができます。



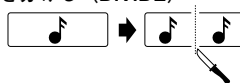
- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。
- グループ登録済の曲を他のグループに登録しなおすときは、次のいずれかの操作で、その曲をいったんグループ登録されていない状態に戻してください。
GROUP CANCELでグループを解除する → **108**
GROUP EDITでグループの範囲を変更する → **110**
- グループ登録したい曲が連続していない場合、MOVE機能で曲を移動してからグループ登録してください。曲を移動する (MOVE) → **112**

トラック編集機能

曲を移動する(MOVE) ^{ムーブ} -112

曲の分割と結合

曲を分ける (DIVIDE) ^{ディバイド} -114

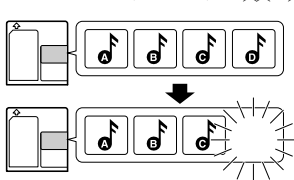


曲をつなぐ (COMBINE) ^{コンバイン} -116

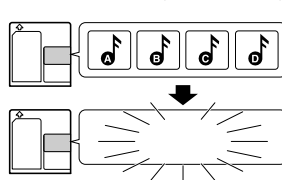


曲の消去

1曲ずつ消す (ERASE) ^{イレース} -118 -119



MD内の曲を全て消す (ALL ERASE) ^{オール イレース} -119



編集した内容を取り消す (CANCEL) ^{キャンセル}

-120

グループを登録する (GROUP START) (リモコンのみ)

1曲または連続した曲番号の曲をグループとして登録することができます。(最大99グループ)

入力切り換えを"MD"にする。- 31 停止中に操作してください。

1 グループ編集モードを選ぶ

- ① TRACK EDITキーを押す



- ② <<<、>>>キーを押して"GROUP?"を選ぶ。

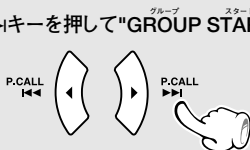


- ③ SETキーを押す。



2 "GROUP START"を選ぶ

- ① <<<、>>>キーを押して"GROUP START"を選ぶ



- ② SETキーを押す



途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITを押します。

- ①
- "PGM"および"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押しして消灯してください。
 - 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

- ②
- <<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



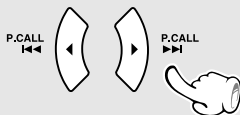
- ①
- <<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。



- 全ての曲がグループ登録されているときには、"GROUP START X"と表示されます。

3 グループ登録したい曲を選ぶ

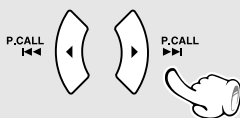
- ① ◀◀、▶▶キーでグループ登録したい最初の曲番号を選ぶ



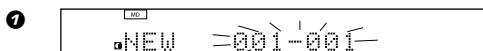
- ② セット SETキーを押す



- ③ ◀◀、▶▶キーでグループ登録したい最後の曲番号を選ぶ

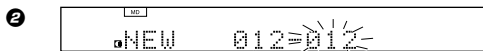


- ④ セット SETキーを押す

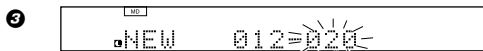


最初の曲番号の位置

- すでにグループに登録している曲は選べません。

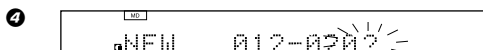


最初の曲番号 (例012)



最後の曲番号 (例020)

- 1曲のみでグループ登録するときには、最後の曲番号を最初の曲番号と同じ番号にして手順④のSETキーを押します。



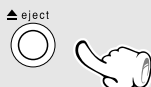
4 グループの登録を実行する



- ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

-120

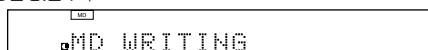
5 ミニディスクを取り出す



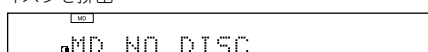
実行後の表示

<small>エディット</small> EDIT NOW	:	編集中
<small>エンブランク</small> COMPLETE	:	編集完了
<small>エラー</small> CAN'T EDIT	:	編集不可能

情報を書き込み中



ミニディスクを排出



"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

グループを解除するグループ (**GROUP CANCEL**) キャンセル (リモコンのみ)

登録したグループを個別にまたは一括して解除することができます。

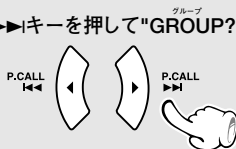
入力切り換えを"MD"にする。- 31 停止中に操作してください。

1 グループ編集モードを選ぶ

① TRACK EDITキーを押す



② <<<、>>>キーを押して"GROUP?"を選ぶ。



③ SETキーを押す。



途中でやめる場合はもう一度トラック エディット TRACK EDITキーを押します。

①

● "PGM"および""表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押しして消灯してください。

● 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

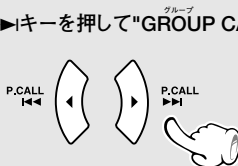
②

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

TRACK
GROUP
キャンセル
CANCEL

2 "GROUP CANCEL"を選ぶ

① <<<、>>>キーを押して"GROUP CANCEL"を選ぶ



② SETキーを押す



①

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

GROUP START
グループ スタート
GROUP CANCEL
グループ キャンセル
GROUP EDIT
グループ エディット

3 解除したいグループを選ぶ

- ① ◀◀▶▶キーを押して解除したいグループを選ぶ



- ② SETキーを押す



4 グループの解除を実行する



- ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

-120

5 ミニディスクを取り出す

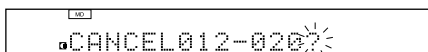


- ①

◀◀▶▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

CANCEL ALL 全てのグループを解除
 CANCEL 012-020 最初のグループ例
 CANCEL 021-058 次のグループ例
 ⋮

- ②



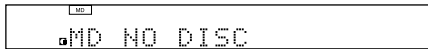
実行後の表示

EDIT NOW	:	編集中
COMPLETE	:	編集完了
CAN'T EDIT	:	編集不可能

情報を書き込み中



ミニディスクを排出



"MD WRITING"点滅表示中は、ライティング録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

グループの範囲を変更する (GROUP EDIT) (リモコンのみ)

グループ登録した曲の範囲を変更することができます。

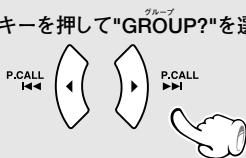
入力切り換えを"MD"にする。→ 31 停止中に操作してください。

1 グループ編集モードを選ぶ

① TRACK EDITキーを押す



② <<<、>>>キーを押して"GROUP?"を選ぶ。

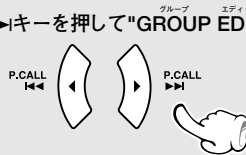


③ SETキーを押す。



2 "GROUP EDIT"を選ぶ

① <<<、>>>キーを押して"GROUP EDIT?"を選ぶ



② SETキーを押す



途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

①

- "PGM"および"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押しして消灯してください。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

②

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

トラック
グループ
GROUP
キャンセル
CANCEL

①

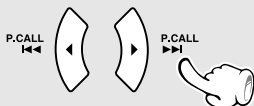
<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

スタート
グループ
GROUP START
グループ
GROUP CANCEL
グループ エディット
GROUP EDIT

3 曲の範囲を変更する

例：曲番号12～20に登録されているグループを曲番号3～18の登録に変更する。この変更を行うと、曲番号19と20はどのグループにも登録されていない状態になります。

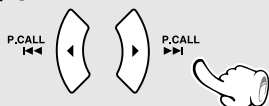
① ◀▶▶▶キーを押して変更したいグループを選ぶ



② SETキーを押す



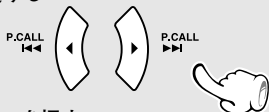
③ ◀▶▶▶キーを押してグループの最初の曲番号を変更する



④ SETキーを押す



⑤ ◀▶▶▶キーを押してグループの最後の曲番号を変更する



⑥ SETキーを押す

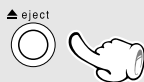


4 範囲の変更を実行する



ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 -120

5 ミニディスクを取り出す

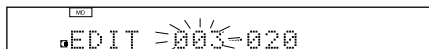


⑦

◀▶▶▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

EDIT 012-020 最初のグループ例
EDIT 021-058 次のグループ例
⋮

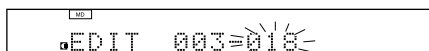
⑧



"012"から"003"に変更

- 最初の曲番号を変更しないときは、◀▶▶▶キー操作を行わずに手順④のSETキーを押します。
- 他のグループに登録している曲は選ばれません。

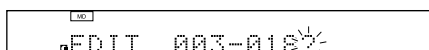
⑨



"020"から"018"に変更

- 最後の曲番号を変更しないときは、◀▶▶▶キー操作を行わずに手順⑥のSETキーを押します。
- 他のグループに登録している曲は選ばれません。

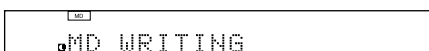
⑩



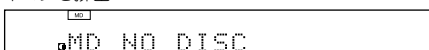
実行後の表示

EDIT NOW : 編集中
COMPLETE : 編集完了
CAN'T EDIT : 編集不可能

情報を書き込み中



ミニディスクを排出



"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲を移動する(MOVE)

再生中の曲を、お好みの位置へ移動(挿入)することができます。移動が終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。停止中に曲を移動することもできます。- 113

MOVEを繰り返し行くと、全曲をお好みの曲順に並べ替えることができます。

入力切り換えを"MD"にする。- 31

1 移動したい曲を再生する

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

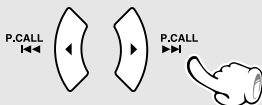
- "PGM"または""
表示が点灯しているときは編集できません。
P.MODE/CHARAC. キーを繰り返し押しして消灯してください。

2 "MOVE"を選ぶ

1 TRACK EDITキーを押す



2 <<<>>>キーを押して"MOVE?"を選ぶ



3 SETキーを押す



1

- 移動したい曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。
- 編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

2

<<<>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

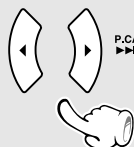
DIVIDE
 COMBINE
 ERASE
 MOVE



3 移動先を選ぶ

1 曲(トラック番号)を選ぶ

トラック番号が戻る P.CALL <<< >>> トラック番号が進む



2 SETキーを押す



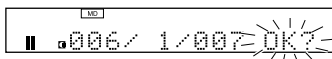
1

トラックNo.6とNo.7の間に移動する例



移動先のトラック番号

- 上図の場合、移動曲のトラック番号は次のようになります。No.1~No.5のいずれかをNo.6とNo.7の間に移動する場合は"006"にかかります。No.8以降のいずれかをNo.6とNo.7の間に移動する場合は"007"にかかります。

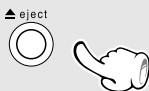


4 曲の移動をする



ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 - [120]

5 ミニディスクを取り出す



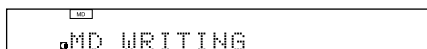
実行後の表示

EDIT NOW : 編集中
COMPLETE : 編集完了
CAN'T EDIT : 編集不可能

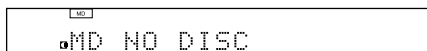
●グループについて

曲をあるグループ内の曲と曲の間に移動したときには、移動した曲はそのグループの曲となります。グループの前後に移動したときには、移動先の1つ前の曲と同じグループになります。1つ前の曲がどのグループにも登録されていないときは、移動した曲もどのグループにも登録されません。

情報を書き込み中



ミニディスクを排出



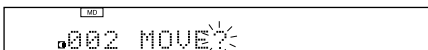
"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲を移動するイメージ



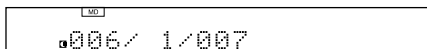
停止中に曲を移動する

- ① TRACK EDITキーを押す
- ② ◀▶▶▶キーで"TRACK?"、"GROUP?"、"CANCEL?"から"TRACK?"を選ぶ
- ③ SETキーを押す
- ④ ◀▶▶▶キーで"MOVE?"、"ERASE?"から"MOVE?"を選ぶ
- ⑤ SETキーを押す
- ⑥ ◀▶▶▶キーで移動する曲を選ぶ

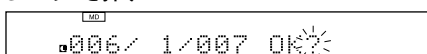


- ⑦ SETキーを押す

- ⑧ ◀◀◀▶▶▶キーで移動先を選ぶ
トラックNo.6とNo.7に移動する例



- ⑨ SETキーを押す



- ⑩ ENTERキーを押して曲の移動をする
- ⑪ ミニディスクを取り出す

曲を分ける (DIVIDE)


曲の途中に曲番号(トラック番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加すると、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に調整されます。

プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

入力切り換えを"MD"にする。- 31

1 分割したい曲を再生する

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

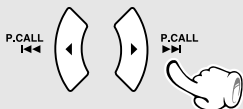
- "PGM"または""表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押しして消灯してください。

2 希望の所でTRACK EDITキーを押す

① TRACK EDITキーを押す



② <<<、>>>キーを押して"DIVIDE?"を選ぶ



③ SETキーを押す



①

- 分割したい曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。
- 曲を分割するときは、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割できないことがあります。
- 編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

②

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DIVIDE
 COMBINE
 ERASE
 MOVE

③

|| 002 < > 003

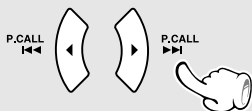
一時停止中のトラック番号 分割のできる新しいトラック番号

3 プレビューをするとき

① プレビューの実行



② 分割の微調整をする



③ 分割点を確定する



①

|| PREVIEW 0 15

- 分割点から約3秒が繰り返し再生されます。

②

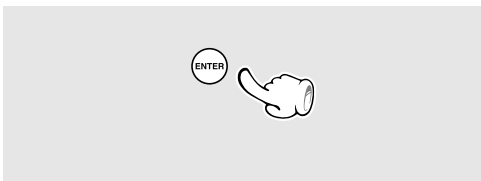
|| PREVIEW + 2 15

- 分割点の微調整は、TRACK EDITキーを押した所を0として、60ms(6/100秒)単位で-31~+31ステップ(約4秒の範囲)で可能です。

③

|| 002 < > 003 =OK?=>

4 曲の分割を実行する



手順③～④を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

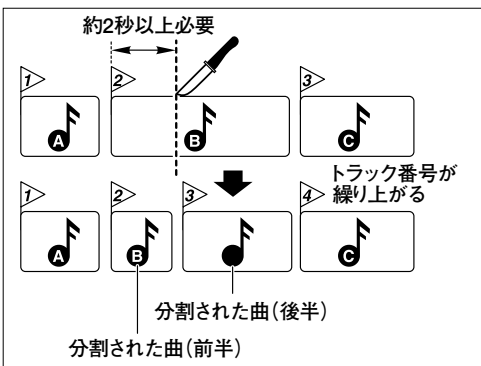
ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

-120

5 ミニディスクを取り出す



曲を分割するイメージ



実行後の表示

EDIT NOW	:	編集中
COMPLETE	:	編集完了
CAN'T EDIT	:	編集不可能

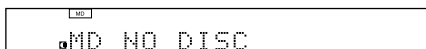
- 分割してできた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 分割して新しくできた曲のはじめで一時的停止になります。
- グループについて

グループ登録している曲を分割したときには、分割してできた曲はそのグループの曲となります。グループ登録されていない曲を分割したときには、分割してできた曲はどのグループにも登録されません。

情報を書き込み中

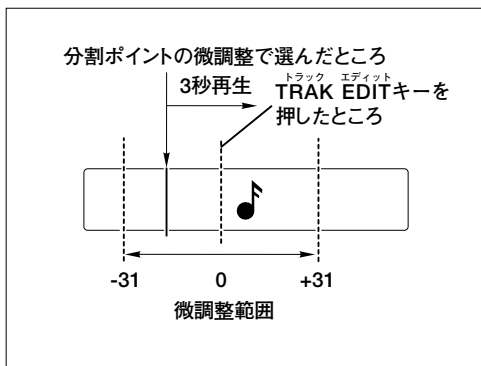


ミニディスクを排出



"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

プレビュー再生のイメージ



曲をつなぐ(COMBINE^{コンバイン})

二つの曲をつないで一つの曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。曲をつなぎ終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。

異なる録音モードの二つの曲はつなぐことができません。(例：“LP4” + “LP2” 等)

入力切り換えを“MD”にする。→31

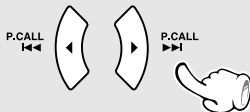
1 つなぎたい曲を再生する

2 “COMBINE”を選ぶ

① TRACK EDIT キーを押す



② <<<、>>> キーを押して“COMBINE?”を選ぶ



③ SET キーを押す



3 つなぐ曲を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ

トラック番号
が戻る

トラック番号
が進む

② SET キーを押す



途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

- “PGM”または“□”表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC. キーを繰り返し押し消灯してください。
- 例えばトラック番号2の後にトラック番号5の曲をつなぐ場合、トラック番号2の曲を再生します。

①

- つなぎたい曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。
- 編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

②

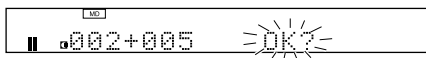
<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DIVIDE
 COMBINE
 ERASE
 MOVE

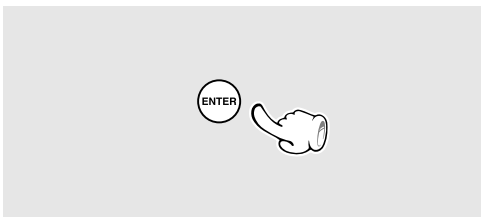
③



② 2曲目と5曲目をつなぐ場合



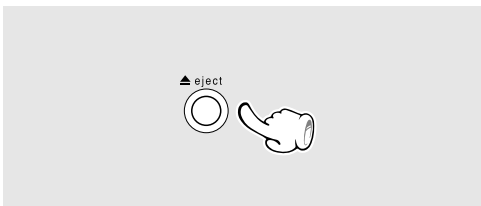
4 曲と曲の結合を実行する



ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

-120

5 ミニディスクを取り出す

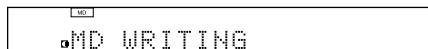


実行後の表示

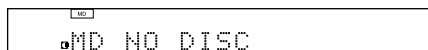
EDIT NOW エディット ナウ : 編集中
 COMPLETE コンプリート : 編集完了
 CAN'T EDIT キャンセント エディット : 編集不可能

- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。
 "MDレコーダー部(MD規格上の症状)"-120
- 結合して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。
- グループについて
 手順7で再生した曲がグループ登録している曲のときは、結合してできた曲もそのグループの曲となります。手順7で再生した曲がグループ登録していないときには、結合してできた曲はどのグループにも登録されません。

情報を書き込み中



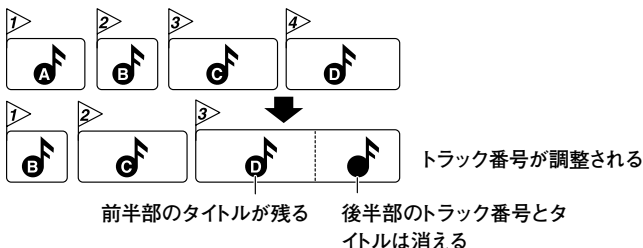
ミニディスクを排出



"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ

4曲目と1曲目をつなぐ場合



1曲またはミニディスクの全曲を消す(ERASE)

消したい曲を選び、その1曲のみを消すことやディスクの全曲を消す(-[119])ことができます。

1曲を消すときは、消す曲を再生して確認して消す、または消す曲のトラック番号選んで消す(-[119])、の2つの方法があります。1曲を消したときは、その曲以降のトラック番号は調整されます。

入力切り換えを"MD"にする。-[31]

再生して確認し1曲ずつ消す

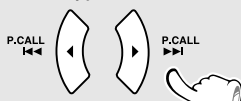
1 消したい曲を再生する

2 "ERASE"を選ぶ

1 TRACK EDITキーを押す



2 <<、>>キーを押して"ERASE?"を選ぶ



3 SETキーを押す



3 消去を実行する



ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。-[120]

5 ミニディスクを取り出す



途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

- "PGM"または""表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押しして消灯してください。

1

- 消したい曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。
- 編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

2

<<、>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DIVIDE
COMBINE
ERASE
MOVE

3

MD
004 ERASE OK?

消去するトラック番号

実行後の表示

EDIT NOW : 編集集中
COMPLETE : 編集完了
CAN'T EDIT : 編集不可能

- グループについて
消去後にグループ内に曲がなくなったときは、そのグループも消去されます。

情報を書き込み中

MD
MD WRITING

ミニディスクを排出

MD
MD NO DISC

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクの全曲またはトラック番号を選んで1曲を消す

1 停止中を確認する

途中でやめる場合はもう一度^{トラック}TRACK EDIT^{エディット}キーを押します。

2 "ERASE"を選ぶ

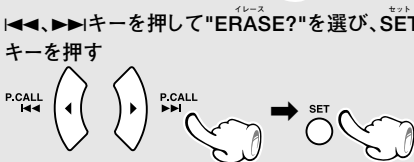
① TRACK EDITキーを押す



② <<<、>>>キーを押して"TRACK?"を選ぶ



③ <<<、>>>キーを押して"ERASE?"を選び、SETキーを押す



3 消したい曲を選び消去する

① <<<、>>>キーを押して消したい曲を選ぶ




② SETキーを押す



4 消去を実行する



 ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。-120

5 ミニディスクを取り出す



①

- "PGM"または""^{プログラム}表示が点灯しているときは編集できません。
A₀^{プレイモード} P.MODE/CHARAC^{キャラクター}キーを繰り返し押し続けて消灯してください。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

②

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

TRACK
GROUP
CANCEL

③

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

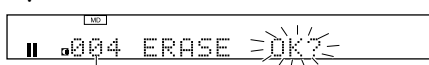
MOVE
ERASE

①

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

ALL ERASE ミニディスクの全曲を消去
001 ERASE 1トラック目を消去
002 ERASE 2トラック目を消去
:

②



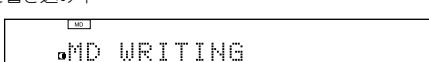
消去するトラック番号

実行後の表示

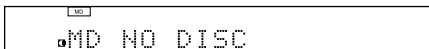
EDIT NOW : 編集中
COMPLETE : 編集完了
CAN'T EDIT : 編集不可能

- グループについて
消去後にグループ内に曲がなくなったときは、そのグループも消去されます。

情報を書き込み中



ミニディスクを排出



"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

編集した内容を取り消す(CANCEL^{キャンセル})

停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。万一、編集後にミニディスクを取り出ししたり、他の録音をしたりすると、取り消すことができなくなります。

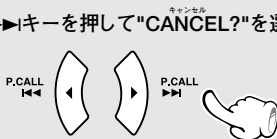
入力切り換えを"MD"にする。→ 31 停止中に操作してください。

停止中に

① TRACK EDITキーを押す



② <<<、>>>キーを押して"CANCEL?"を選ぶ



③ SETキーを押す



④ 編集を取り消す



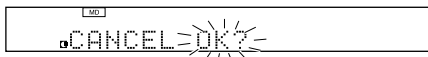
②

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。





- "CANCEL X"が表示された場合は、それまで行われた編集を取り消すことができません。
- "CANCEL"できない場合としては、①編集後MDを取り出した後の場合や、録音操作した場合②"UTOC ERROR" (エラー)が表示された後に編集した場合などです。

③



④

- 取り消し実行中は"CANCEL NOW"、完了すると"COMPLETE"と表示されます。

CD-R/RW、MDにディスクタイトル、グループタイトル(MDのみ)および曲のタイトル(名前)をつけておくと、再生中にタイトルが表示されます。よく使うタイトル名を登録したり(-)、タイトル名をコピーして使用(-)することもできます。タイトルは英、数、記号およびカタカナ(MDのみ)を入力することができます。入力したタイトルは、機種間の互換性がありますので、他のタイトル表示可能なCDレコーダー(プレーヤー)、MDレコーダー(プレーヤー)でも表示できます。(タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の制限があります)

CD-Rはいったんファイナライズすると、タイトルの追加、変更、削除はできません。CD-RWはアンファイナライズすることでこれらが可能になります。

MDはディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。取り出し操作をしたときに、情報をディスクに書き込みます。タイトル入力後は必ずミニディスクを取り出してください。

ディスク、グループおよび曲にタイトルをつける(リモコンのみ)

入力したタイトルは、同じ手順で変更や削除することができます。途中でやめるときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

入力できる文字数について


CDレコーダーでは、ディスクタイトルは最大23文字、1曲につき最大23文字まで入力できます。(英、数、記号のみでカタカナは使用できません)

MDレコーダーでは、ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。

- スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。
- タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(CLEAR/DELETEキー)をご利用ください。

入力切り換えを編集に応じて"CDR"または"MD"にする。 - 

1 タイトル入力状態にする

CD-R/RWにタイトルを入力するときは、ファイナライズしていないCD-R/RWを使用してください。ファイナライズしたCD-RWは、アンファイナライズすることによりタイトルをつけることができます。 - 

ディスクや曲にタイトルをつけるには

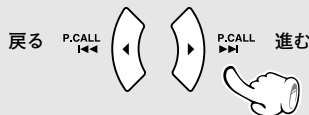
- 1 タイトルを入力するMDまたはCD-R/RWをセットする

- 2 "PGM"および"
が消えていることを確認する

- 3 TITLE INPUTキーを押す



- 4 編集するタイトルを選ぶ



- 5 SETキーを押す



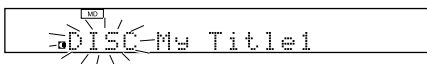
- 1

- CD-R/RWはCDレコーダーにセットしてください。

- 2

点灯しているときは、P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押しで"を消灯させます。

- 3



- 4

◀▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DISC ディスクタイトル*1
001, 002 (01,02) ... トラックタイトル*2
[1], [2], [3]..... タイトルメモ*3

*1 停止中に手順③を行うと、ディスクタイトルから表示が始まります。

*2 ◀▶キーを押すたびに"001 (01)", "002 (02)"...とトラックタイトルが順番に表示されます。再生中に手順④を行うと、演奏中のトラックから表示が始まります。

*3 ◀▶キーを押すたびに[1]、[2]、[3]の順で点滅します。

● タイトルをつけていないときは、"....."と表示されます。

次ページにつづく

グループやグループ内の曲にタイトルをつけるには (MDのみ)

- ① グループタイトルを入力するMDをセットする
- ② 停止中にP.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押しして"□" (MDグループ) を点灯する



- ③ ▲、▼キーを押してタイトルをつけるグループを選択する

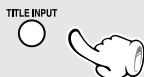
前のグループに戻る



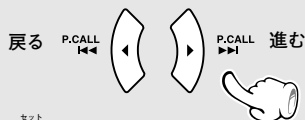
次のグループに進む

- ▲キーを押すと、前のグループに戻ります。
- ▼キーを押すと、次のグループに進みます。
- 本体のmulti controlキーでも操作できます。

- ④ TITLE INPUTキーを押す



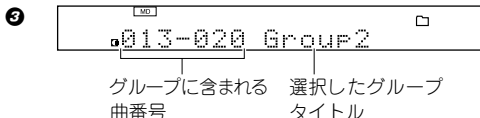
- ⑤ 編集するタイトルを選ぶ



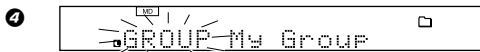
- ⑥ SETキーを押す



- ①
- グループ登録されているMDをセットします。



- ③
- 選択したグループにタイトルがつけられていないときは "GROUP.." (..は2桁の数字) と表示します。



- ⑤
- ◀▶キーを押すたびに文字表示部が切り替わります。

GROUP グループタイトル
002, 003 トラックタイトル*1
[1],[2],[3] タイトルメモ*2

*1 ▶◀▶▶キーを押すたびに例えば"002"、"003"・・・とそのグループ内のトラックタイトルが順番に表示されます。

*2 ▶◀▶▶キーを押すたびに[1]、[2]、[3]の順で点滅します。

- タイトルをつけていないときは、"....."と表示されます。

2 タイトルを入力する

タイトルを入力する場合

① 文字グループを選ぶ

P.MODE
/CHARAC.
AUTO/MONO



② 文字を選ぶ

ア	カ ABC	サ DEF
1	2	3
ク GHI	ナ JKL	ハ MNO
4	5	6
マ PQRS	テ TUV	ラ WXYZ
7	8	9
0 ()	ワラン*	' : ; ?
+100	0	+10



同じキーを繰り返し押しすと文字が変わります。
(例: [2] を押したとき $A \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow a \rightarrow b \rightarrow c$ と変わります。)

- 間違えたときは、クリアー デリート CLEAR/DELETEキーを押します。

③ 文字を確定する

SET



④ 手順①～③を繰り返す

タイトルを変更(文字を消去、挿入)する場合

① カーソルを変更したい文字に合わせる

戻る ○

進む ○

◀← TUNING

TUNING →▶



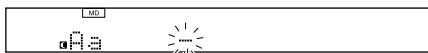
② 変更したい文字を削除する

CLEAR
/DELETE



③ 「タイトルを入力する場合」の①～④を行う

①



入力される場所(カーソル点滅)

プレモード キャラクター P.MODE/CHARAC. キーを数回押し、下記の文字グループを選びます。- []

[Aa] グループ

A～z、記号とタイトルメモ([1 2 3])

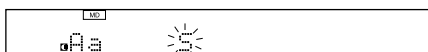
[0-9] グループ

0～9 と記号

[] グループ (MDのみ)

アイウエオ...ガギグゲゴ...と記号

②



入力した文字とカーソルが
交互に表示される

- ◀▶ キーで、入力場所(カーソル)を左右に移動できます。
- タイム スペース TIME/SPACE キーで、1文字分の空白を入力することができます。

①

例: ABCのBを削除する場合

ABC..... 削除したい文字(B)にカーソルを合わせます。

②

● 文字を削除しないで文字の挿入をしたいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

例: ABCのAB間に文字を挿入する場合

ABC..... Bにカーソルを合わせ文字を入力します。

3 タイトルの編集を実行する

① タイトルを書き込む



別のタイトルを入力するには、次の手順からの操作を繰り返します。

ディスクや曲のタイトル - 手順 ①-④


同じグループ内の曲のタイトル - 手順 ①-⑤

他のグループのタイトル - 手順 ①-⑥

次の②の手順で終了してから - 手順 ①-⑥

② 終了する



 ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。


- 120

4 入力したタイトルを記録する

ミニディスクを取り出す (MDのみ)



ファイナライズする (CD-R/RWのみ)

タイトルを書き込むためにファイナライズする -  本機では、ファイナライズすることにより、入力したタイトル情報をディスクに記録します。ファイナライズしないでディスクを取り出すと、タイトル情報は記録されません。タイトル情報を記録させるには必ずファイナライズしてください。

CD-R/RWディスクタイトルメモリー機能

本機には、ディスクタイトル情報を一時的に記憶する機能があります。タイトル入力後ファイナライズせずにあやまってディスクを取り出してしまったときに、入力していたタイトル情報は一時的に記憶しているため再びディスクを入れてファイナライズすればタイトル情報をディスクに記録することができます。この記憶したタイトル情報は他のディスクを入れた時点で失われます。

①

TITLE STORE



MD
003 DISC SUMME

入力したタイトルがスクロールする

情報を書き込み中

MD
MD WRITING

ミニディスクを排出



MD
MD NO DISC

ライティング
"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ファイナライズ中は電源プラグを抜かないでください

ファイナライズ中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

- タイトル編集を実行する前に タイトル インプット キーを押して中止したときや電源をオフにしたときは、タイトル入力は完了しません。

タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字(MDのみ)のみやアルファベット文字、および各種記号などを選ぶことができます。

リモコンの数字キーで文字を選ぶとき (CD-R/RW用)

キー	グループ	"Aa"	"1 2"
1ア		[1 2 3]	1
2カABC		A B C a b c	2
3サDEF		D E F d e f	3
4タGHI		G H I g h i	4
5ナJKL		J K L j k l	5
6ハMNO		M N O m n o	6
7マPQRS		P Q R S p q r s	7
8ヤTUV		T U V t u v	8
9ラWXYZ		W X Y Z w x y z	9
0ワラン [*]			0
+10記号		' , . : ? ! ; . " _ ` \$ % ^	
+100記号		& () - / + * = < > # % @	

(MD用)

キー	グループ	"Aa"	"1 2"	"アア"
1ア		[1 2 3]	1	アイウエオ アイウエオ
2カABC		A B C a b c	2	カキクケコ
3サDEF		D E F d e f	3	サシスセソ
4タGHI		G H I g h i	4	タチツテトッ
5ナJKL		J K L j k l	5	ナニヌネノ
6ハMNO		M N O m n o	6	ハヒフヘホ
7マPQRS		P Q R S p q r s	7	マミムメモ
8ヤTUV		T U V t u v	8	ヤユヨ ャ ュ ユ
9ラWXYZ		W X Y Z w x y z	9	ラリルレロ
0ワラン [*]			0	[*] ワラン
+10記号		' , . : ? ! ; . " _ ` \$ %		
+100記号		& () - / + * = < > # % @		



- 「^{*}」はカーソル手前の文字によって入力できないことがあります。(MDのみ)
- 英字の大文字と小文字が表示される順番は入力する前の状態によって入れ替わります。

タイトルメモへの登録

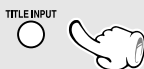
文字入力の手間を省くため、何回も使うような入力文字をタイトルメモ("[1]"~"[3]")として登録しておくことができます。CD-R/RW、MD用タイトルをそれぞれ3つ登録することができます。

入力切り換えを編集に応じて"CDR"または"MD"にする。- 31 ディスクを入れる。

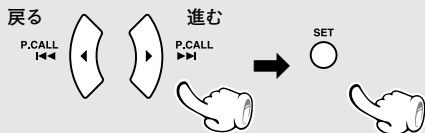
タイトル編集を行うときは、停止中にP.MODE/CHARAC.キーを押して"PGM"を消灯させてください。

1 登録先のタイトルメモ番号を選ぶ

① タイトル インプット
TITLE INPUT キーを押す



② ◀▶▶▶キーを押して、登録先のタイトルメモ番号[1]、[2]または[3]を選び、確定する



途中でやめる場合はもう一度タイトル インプットTITLE INPUTキーを押します。

②

◀◀、▶▶▶▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

ディスク グループ DISC (GROUP) ディスク(グループ)タイトル*1
001, 002 (01,02) トラックタイトル*2
[1], [2], [3]..... タイトルメモ

*1 停止中に手順①を行うと、ディスク(グループ)タイトルから表示が始まります。

*2 再生中に手順①を行うと、演奏中のトラックから表示が始まります。

タイトルメモの番号



2 文字を入力する

"ディスク、グループおよび曲にタイトルをつける"の手順②
(- 31)を行い、文字を入力する

● 文字を入力する代わりに、ディスクで使用しているタイトルをコピーして使うこともできます。 - 31

3 タイトルの登録を実行する

① タイトルメモに保存する



② 編集を終了する



①

● 手順①で選択したタイトルメモ番号に、入力した文字が登録されます。

● 別のタイトルメモ番号に文字入力を続けて登録するときは、手順①②~③①を繰り返します。

タイトルのコピー

タイトルメモ("[1]"~"[3]")に登録した文字列や、MDレコーダーまたはCDレコーダーに入れたディスクのディスクタイトル、グループタイトル(MDレコーダーのみ)または曲のタイトルを、次のいずれかにコピーすることができます。

- ディスクタイトル、グループタイトル(MDレコーダーのみ)または曲のタイトル
- 別のタイトルメモ

入力切り換えを編集に応じて"MD"または"CDR"にする。- [31] ディスクを入れる。

タイトル編集を行うときは、停止中にP.MODE/CHARAC.キーを押して"PGM"を消灯させてください。

1 タイトルのコピー先を選ぶ

① **TITLE INPUT**キーを押す

タイトル インプット

TITLE INPUT

② **◀▶**キーを押して、コピー先を選び、**SET**キーを押す

戻る 進む

P.CALL ◀▶

SET

途中でやめる場合はもう一度TITLE INPUTキーを押します。

- グループタイトルへのコピーをするときは、"グループやグループ内の曲にタイトルをつけるには(MDのみ)"-[31]の手順②~④を行ってコピー先のグループを選択してから①のTITLE INPUTキーの操作を行ってください。

② **◀▶**キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DISC (グループ)..**ディスク(グループ)タイトルへのコピー***1
001, 002 (01,02).....**トラックタイトルへのコピー***2
[1], [2], [3]..... **タイトルメモへのコピー**

*1 停止中に手順①を行うと、ディスク(グループ)タイトルから表示が始まります。

*2 再生中に手順①を行うと、演奏中のトラックから表示が始まります。

2 タイトルのコピー元を選ぶ

① **P.MODE/CHARAC.**キーを押して"**グループ**"を選ぶ

プレイモード キャラクター

グループ

- [31] 手順②-④

② **1**キーを繰り返し押して、"**[1 2 3]**"を表示させる

ア

1

③ **◀▶**キーを押して、コピー元を選ぶ

戻る 進む

P.CALL ◀▶

④ **SET**キーを押してタイトルをコピーする

セット

- ②
- タイトルメモ[1]にタイトルが入力されている場合は、そのタイトルをスクロール表示した後、"**[1 2 3]**"が表示されます。

[1 2 3]

③

[1 2 3]..... **タイトルメモ***
DISC (グループ).....**ディスク(グループ)タイトル**
001, 002 (01,02).....**トラックタイトル**
⋮

* **◀▶**キーを押すたびに選ばれたタイトルメモ番号が点滅します。タイトルメモにタイトルが入力されている場合は、そのタイトルをスクロール表示した後、タイトルメモ番号が点滅します。

- ④
- 手順③で選んだタイトルコピー元から手順①で選んだタイトルメモ先にコピーが行われます。

3 タイトルの編集を実行する

① **ENTER**キーを押して、タイトルを書き込む

エンター

② **TITLE INPUT**キーを押して、編集を終了する

インプット

③ **▲Eject**キーを押して、ミニディスクを取り出す(MDのとき)

イジェクト

タイトルを書き込むためにファイナライズする(CD-R/RWのとき)

- [31]

- ①
- タイトルコピーを続けるときは、手順①-③~④-①を繰り返します。

②

- コピー後に、必要に応じてタイトル文字を編集します。"ディスク、グループおよび曲にタイトルをつける" - [31]

録音されたCD-R/RWを本機のCDプレーヤーでも再生できるようにします。

ファイナライズ処理をすると、録音したCD-Rは他のCDプレーヤー*で、またCD-RWはCD-RW対応機器で再生できるようになります。CD-RWは一般のCDプレーヤーでは再生できません。

*ピックアップ等の違いにより、一部のCDプレーヤーや、DVDプレーヤーで再生できない場合があります。

ファイナライズ処理後、CD-Rは追加録音(記録)が一切できなくなりますのでご注意ください。

CD-RWも同様に追加録音(記録)ができなくなります。アンファイナライズ処理をする(-F)ことでファイナライズ処理をする前の状態に戻すことができます。

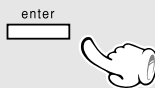
入力切り換えを"CDR"にする。-31 停止中に操作してください。

① ファイナライズ処理をするディスクをCDレコーダーにセットする -49

② finalizeキーを押して"FINALIZE OK?"を選ぶ

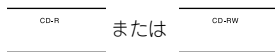


③ enterキーを押してファイナライズ処理を始める



①

- ディスクにキズおよびほりがないことを確認してください。
- "CD-R"または"CD-RW"表示が点灯します。



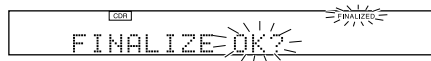
"CD"または"FINALIZED CD-RW"表示が点灯した場合は、ファイナライズ処理済みのディスクです。

②

キーを押すたびに切り換わります。

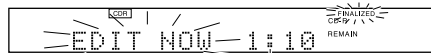
FINALIZE OK ?

通常表示(ファイナライズ中止)



③

ファイナライズ処理中は"FINALIZED"表示が点滅します



ファイナライズ完了までの残り時間

- ファイナライズ処理中は他の操作をしないでください。
- ファイナライズ処理が完了すると"COMPLETE"と表示されます。

ファイナライズ中は電源プラグを抜かないでください
ファイナライズ中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

ファイナライズ処理済のCD-RWをファイナライズ処理する前に戻し、再び追加録音および書き換えができるようにします。CD-Rをアンファイナライズ処理することはできません。

他のCDレコーダーやパソコンなどで、テキスト情報(ディスクや曲のタイトルなど)を記録したディスクを本機でアンファイナライズ処理すると、これらの情報はディスクから消去され、元に戻すことはできなくなりますのでご注意ください。

入力切り換えを"CDR"にする。→ 31 停止中に操作してください。

リモコンのみ

- ① アンファイナライズするCD-RWをCDレコーダーにセットする → 49

- ② TRACK EDITキーを押す



- ③ キーを押して"UNFINALIZE?"を選ぶ



- ④ SETキーを押す



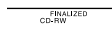
- ⑤ ENTERキーを押してファイナライズを行う



アンファイナライズ中は電源プラグを抜かないください
アンファイナライズ中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

- ⑦

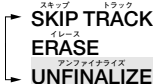
- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- "FINALIZED CD-RW"表示が点灯します。



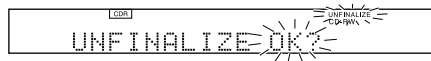
"CD-RW"表示のみが点灯した場合は、ファイナライズされていないディスクです。

- ⑧

キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

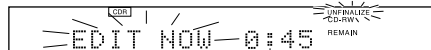


- ④



- 中止するときはTRACK EDITキーまたはSTOP■キーを押します。

- ⑤



アンファイナライズ完了までの残り時間

- 消去処理中は他の操作をしないでください。
- 消去処理が完了すると"COMPLETE"と表示されます。

主にパソコンやDAO(ディスク・アット・ワンス)方式*に対応したレコーダーで録音されたCD-R/RWの場合は、"DAO DISC"が表示されます。この場合は、本機ではアンファイナライズ処理できません。

* ディスク・アット・ワンス方式(DAO方式) 録音(記録)方法の一種で、リードイン、データ、リードアウトの順に、一気に全ての情報の書き込みを実行します。データの追記(ディスクの未使用領域にデータを追記記録すること)はできません。

録音可能(ファイナライズ処理されていない、またはアンファイナライズ処理された)なCD-RWの録音(記録)内容を消去することができます。

消去方法には次の2つの方法があります。

- CD-RWに録音した最後の曲だけを消去する。
- CD-RWに録音した全ての曲を消去する。

入力切り換えを"CDR"にする。→ 31 停止中に操作してください。

最後の曲を消去する

リモコンのみ

例: 15曲録音したディスクの最後の曲(15曲目)を消去する

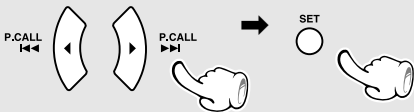
① 録音可能なCD-RWをCDレコーダーにセットする

→ 49

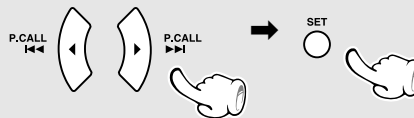
② TRACK EDITキーを押す



③ <<、>>キーを押して"ERASE?"を選び、SETキーを押す



④ <<、>>キーを押して"ERASE 15?"を選び、SETキーを押す



⑤ ENTERキーを押して消去処理を行う



一度消去した曲や情報の内容は元に戻すことはできません。

①

- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- "CD-RW"表示が点灯します。

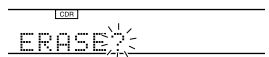
CD-RW

"FINALIZED CD-RW"表示が点灯した場合は、ファイナライズされているディスクです。

②

<<、>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

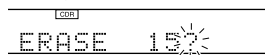
SKIP TRACK
ERASE
UNFINALIZE



③

<<、>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

ERASE ALL
ERASE 15



- 中止するときはTRACK EDITキーまたはSTOP■キーを押します。

④

- 消去処理中は他の操作をしないでください。
- "EDIT NOW"表示後、消去処理が完了すると"COMPLETE"と表示されます。

消去を繰り返すには

手順②～⑤を繰り返す。

- 手順④では"ERASE XX"を選びます。"XX"はそのディスクの最後の曲のトラック番号を示します。

消去処理中は電源プラグを抜かないでください

消去処理中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

入力切り換えを"CDR"にする。→[31] 停止中に操作してください。

すべての曲を消去する

例：15曲録音したディスクの全ての曲を消去する

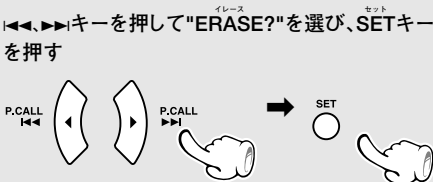
① 録音可能なCD-RWをCDレコーダーにセットする

→[49]

② TRACK EDITキーを押す



③ <<<、>>>キーを押して"ERASE?"を選び、SETキーを押す



④ <<<、>>>キーを押して"ERASE ALL?"を選び、SETキーを押す



⑤ ENTERキーを押して消去処理を行う



①

- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- "CD-RW"表示が点灯します。

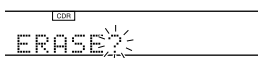
CD-RW

"FINALIZED CD-RW"表示が点灯した場合は、ファイナライズされているディスクです。

②

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

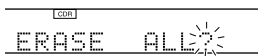
SKIP TRACK
ERASE
UNFINALIZE



③

<<<、>>>キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

ERASE ALL
ERASE 15



- 中止するときはTRACK EDITキーまたはSTOP■キーを押します。

④



消去完了までの残り時間

- 消去処理中は他の操作をしないでください。
- 消去処理が完了すると"COMPLETE"と表示されます。

消去処理中は電源プラグを抜かないでください

消去処理中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

アナログまたは光デジタル出力を備えているカセットデッキ、MDレコーダーあるいはCS/BSチューナーなどを本機に接続して聴くことができます。

"他の機器(市販品)との接続"(-23)を参照して、あらかじめ接続を済ませてください。

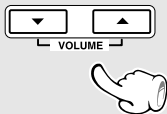
アナログ機器を聴くとき

- 1 AUX/D-AUXキーを"AUX"が表示されるまで繰り返し押しす



- 2 外部アナログ機器の演奏を始める

- 3 音量を調整する



デジタル機器を聴くとき

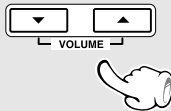
- 1 AUX/D-AUXキーを"D-AUX"が表示されるまで繰り返し押しす



- D-AUXを選んだとき、"UNLOCK"と表示された場合は、"メッセージ表示の一覧"をご覧ください。 - 10

- 2 外部デジタル機器の演奏を始める

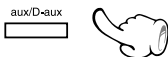
- 3 音量を調整する



外部アナログ機器の入カレベルを調整する(外部デジタル機器は調整できません)

外部アナログ機器の音量が、本機のCDやMDの音量の大きさと比べて異なる場合など、同じ音量で聴こえるように調整します。

- 1 aux/D-auxキーを"AUX"が表示されるまで繰り返し押しす。



- 2 modeキーを押す



- 3 multi controlキーで"AUX INPUT"を選び、setキーを押す



- 4 multi controlキーを使ってお好みのレベルに調整する

- -9~+2の範囲で調整ができます。



- 5 setキーを押して確定する



入力レベルを調整すると、AUX入力端子に接続された外部アナログ機器からの録音の入カレベルも変化します。

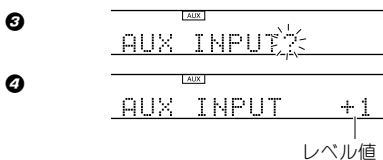
外部アナログ機器の入力(録音)レベルを調整する (AUX INPUT インプット REC GAIN レコーディング)

カセットデッキなどの外部アナログ機器の音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合、適正な録音レベルで録音されない場合があります。次の調整を行ってから録音してください。

外部アナログ機器の入力(録音)レベルを調整する (AUX INPUT インプット)

外部アナログ機器からの音声、本機で再生するCD、MDなどの音声と同じレベルで聴こえるように調整します。

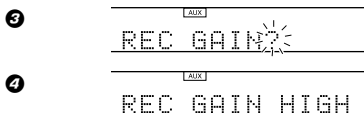
- 1 aux/D-auxキーを"AUX"が表示されるまで繰り返し押し
- 2 modeキーを押す
- 3 multi controlキーを押して"AUX INPUT?"を選び setキーを押す
- 4 multi controlキーを押して録音レベル(-9~+2)を調整する
- 5 setキーを押して確定する



- この調整で入力レベルを+2(最大)にしても、外部アナログ機器の音声がいちじるしく小さい場合や、調整後録音した音声がいちじるしく小さい場合には、次の録音入力レベルの調整 (REC GAIN レコーディング) を行ないます。

外部アナログ機器の録音レベルを調整する (REC GAIN レコーディング GAIN)

- 1 aux/D-auxキーを"AUX"が表示されるまで繰り返し押し
- 2 modeキーを押す
- 3 multi controlキーを押して"REC GAIN?"を選び setキーを押す
- 4 multi controlキーを押して"REC GAIN HIGH"を選ぶ
- 5 setキーを押して確定する



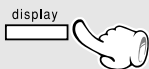
- この調整で"HIGH"に設定することにより、録音レベルが高くなりすぎると、音がひずむ場合があります。この場合は、上記の手順を行い"HIGH"から"Norm."に戻します。
- "REC GAIN"を調整しても、本機の再生音声レベルは変化しません。

CDからMDへのデジタル録音レベルを調整する (D-REC LEVEL デジタルレコーディング レベル)

CDからMDへのデジタル録音では、元のCDと同じ録音レベルで録音されるため、通常は録音レベルを調整する必要はありません。一部のCDにおいては録音レベルが小さかったり、大きかったりするものがあります。このようなCDを録音するときには、録音レベルを調整することにより、最適に録音することができます。

ワンタッチエディット録音(O.T.E)やCD-R/RW、MD同時録音(②)で録音しているときには、録音レベル調整をすることはできません。

- 1 入力切り換えが"CD"になっていることを確認する
- 2 MD recキーを押してMDを録音一時停止にする
- 3 displayキーを押して"D-REC LEVEL"を選ぶ



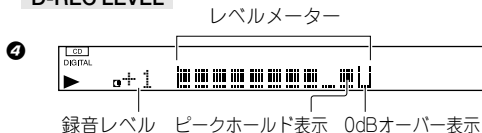
- 4 録音元のCDを再生し、multi controlキーを押して録音レベル(-2~+2)を調整する



調整が終わったらstop■キーを押してCDの再生を停止させ、あらためて録音操作を行ってください。

- 2
 - MD recインジケータが点滅します。
- 3
 - 押すたびに文字表示部が切り換わります。

CDプレーヤーの再生表示
MDレコーダーの録音表示
デジタルレコーディング レベル
D-REC LEVEL



- 4
 - レベルメーターを見ながら、録音レベルを設定します。図のように、ピークホールド表示が0dBオーバー表示の左側でときどき点灯するように調整してください。0dBオーバー表示が点灯すると、録音した音がひずむ可能性があります。
 - 調整した録音レベルは録音元のCDを取り出すと、録音レベル0(初期設定値)に戻ります。
 - 録音中でも録音レベルを調整することができます。

トラック番号の設定をかえる

トラック番号(曲番号)は、再生中に曲の頭出しをするときや、プログラムするときに使用します。CDレコーダー、あるいはMDレコーダーで録音するときに自動的にトラック番号を付けるか、手動でトラック番号を付けるかを選ぶことができます(TRACK MARK/AUTO TRACK)

入力ソース(音源)がCD、CDR、MDまたはAUXからの録音ではAUTO(自動)とMANUAL(手動)を選ぶことができます。

入力ソース(音源)がTUNERからの録音ではAUTO ON(自動)とAUTO OFF(手動)を選ぶことができます。初期値はAUTO(AUTO ON)に設定されています。録音操作をする前に切り換えます。

- トラック番号は自動、手動にかかわらず録音を停止または一時停止したのちに再び録音を開始すると、「1」繰り上がり録音が始まります。
- 入力ソース(音源)がD-AUXのときは、録音元の音源と同じように自動的にトラック番号が付きま。衛星放送などの録音元にトラック番号がない音源では、録音開始と同時にトラック番号が付き(繰り上がり)、それ以降はトラック番号は繰り上がりません。
- 入力CDから録音時、REC INPUTがデジタル録音に設定されている場合は、MANUALを選んでもTRACK EDITキーでトラックマークをつけることはできません。この場合は、AUTOを選んだときと同じように自動的にトラック番号が付きま。

入力ソース(音源) CD、CDR、MDまたはAUXのとき


AUTO(自動):

通常の録音時はこのモードにしておきます。

入力ソース(音源)がCD、CDR、MDからの録音の場合:

録音元の音源と同じように自動的にトラック番号が付きま。

入力ソース(音源)がAUXからの録音の場合:

信号が2秒以上一定のレベル以下(レベルは調整することができます)。「CUT LEVEL」-になって、次にそのレベルを超える信号が入ってくるのを検知してトラック番号を自動的に「1」繰り上げて付きま。クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、2秒以上一定のレベル以下と検知してトラック番号が「1」繰り上げて付く場合があります。このような音楽の場合は、「MANUAL」で録音するか、「CUT LEVEL」を調整して録音してください。

MANUAL(手動):

自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中(リモコンのTRACK EDITキーを押す*)にトラック番号を「1」繰り上げ付けることができます。ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などのディスクを録音するときなどに便利です。


入力ソース(音源) TUNERのとき

AUTO ON(自動):




約10分ごとに自動的にトラック番号が付きま。

AUTO OFF(手動):

自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中(リモコンのTRACK EDITキーを押す*)にトラック番号を「1」繰り上げ付けることができます。

* CDの規格により、CD-R/RWの場合4秒以内の曲にはトラック番号を付けることができません。また、TWIN REC(= )中にTRACK EDITキーを押すと、CD-R/RW、MD同時にトラック番号が付きま。

入力ソース(音源)と設定について

TRACK MARKのAUTO、MANUALの設定は、CD、CDR、MD、AUXの各入力ソースごとに設定することはできません。AUTOに設定した場合、CD、CDR、MD、AUXのいずれの入力においてもAUTOの設定となります。設定を変えるときは入力切換えをCD、CDR、MD、AUXのいずれかにしてからトラック番号の設定操作(=)を行ってください。ただし、AUXからの録音でCUT LEVEL(=)まで調整するときは、入力切換えをAUXにしてトラック番号の設定操作(=)を行い、TRACK MARKはAUTOに設定してください。

AUTO TRACKのON、OFFの設定を変えるときは、入力切換えをTUNERにしてから操作してください。

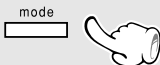
入力	CD	CDR	MD	AUX
TRACK MARK	AUTO/MANUALの切り換え			
CUT LEVEL	×	×	×	○

入力	TUNER
AUTO TRACK	ON/OFFの切り換え

トラック番号の設定を選ぶ (TRACK MARK/AUTO TRACK)

トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

① modeキーを押す



② multi controlキーで"TRACK MARK?" (入力がTUNERのときは"AUTO TRACK?")を選び、setキーを押す



③ TRACK MARKの設定のとき:

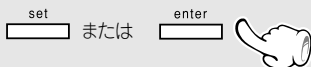
multi controlキーで"AUTO"または"MANUAL"を選びます。

AUTO TRACKの設定のとき:
multi controlキーで"ON"または"OFF"を選びます。



④ setキーまたはenterキーを押す

AUXからの録音でCUT LEVELを調整するときは、setキーを押し、次ぎのCUT LEVELの調整をします。それ以外はenterキーを押して、設定を確定し終了します。



- TRACK MARKの設定は入力切換えをCD、CDR、MD、AUXのいずれかにしてからmodeキーを押してください。ただし、AUXからの録音でCUT LEVELまで調整するときは、入力切換えをAUXにしてからmodeキーを押してください。またTRACK MARKの設定は"AUTO"を選んでください。
- AUTO TRACKの設定は、入力切換えをTUNERにしてからmodeキーを押してください。

②



③ 押すたびに文字表示部が切り換ります。

TRACK MARKの設定のとき:

- ▶ "AUTO" 録音時、トラック番号を自動的に付けて録音する
- ▶ "MANUAL" ... 録音時、トラック番号を手動で付けて録音する

AUTO TRACKの設定のとき:

- ▶ AUTO OFF > ON ON : 録音時、トラック番号を自動的に付けて録音する
- ▶ AUTO > OFF ON OFF: 録音時、トラック番号を手動で付けて録音する

- 入力がAUXのときでも、CUT LEVELを調整しないときは、enterキーを押して設定を終了することもできます。

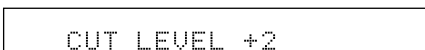
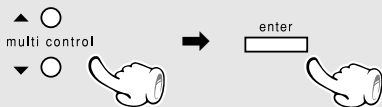
自動無音検出のレベルを設定する (CUT LEVEL) (入力が"AUX"のときのみ)

トラック番号を付けるための自動無音検出レベルを調整します。

トラック番号の設定 (TRACK MARK) を"AUTO"にしても、録音ソースの曲間無音部分のレベルによっては、トラック番号が繰り上がらない場合があります。このような場合は無音検出レベルを上げてください。

逆に曲間でないとトラック番号が付く場合は、無音検出レベルを下げてください。

multi controlキーで自動無音検出レベルを調整し、enterキーを押して設定を確定し終了します。



無音検出レベル値

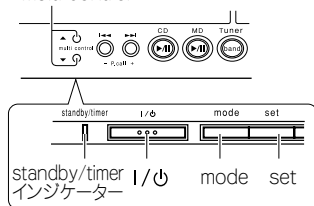
- 無音検出レベル値は-2~+2で調整できます。
- + 無音検出レベル上がる
- - 無音検出レベル下がる
- 無音検出レベル値を調整してもトラック番号の付き方が改善しない場合もあります。

タイマーを使う

CD (CD-R/RW)、MDの再生、ラジオ放送の受信や録音を指定した時間帯に自動的に行うことができます。おやすみ前に設定すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になるSLEEPタイマーおよび二つのプログラムタイマーがあります。

プログラムタイマーが設定されていると、①または②が点灯します。また電源をオフ(スタンバイ)にしたときは、standby/timerインジケータがオレンジ色に点灯します。

multi control



"時刻合わせ"を済ませてから、タイマーを設定してください。→ [30]

プログラムタイマー再生 (AI タイマー再生)、タイマー録音

2系統(PROG. 1、PROG. 2)の24時間タイマーです。

PROG. 1、PROG. 2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて働かせるか、働かせないかを選べます。タイマーは1回だけ働かせるか毎回働かせるかを選べます。

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の動作する時間は重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

1 タイマー録音をするときはあらかじめ準備しておく

録音をする

録音するディスクを入れる

CD-R/RW → [49]

MD → [53]

- タイマー録音は、ラジオ放送(TUNER)、外部デジタル/アナログ機器(D-AUX/AUX)からの録音ができます。

2 聴きたい、または録音したいソースを選び、音量を設定する

CDを聴く

ディスクをセットする
(通常の再生のみ) → [33] → [35]

- CDプレーヤー部、CDレコーダー部のどちらでも再生できます。CDプレーヤー部でCD-R/RWを聴くときは、ディスクをファイナライズ処理してください。MP3、WMA収録ディスクはCDプレーヤーのみで再生できません。

ラジオ放送を聴く、または録音する

放送局をプリセットしておく

→ [44] → [46]

MDを聴く

MDをセットする(通常の再生のみ)

→ [40]

外部入力機器を再生、または録音する

AUX入力端子またはデジタル入力端子に接続された機器の再生、または録音の場合は"他の機器(市販品)との接続"を参照し接続を済ませおく。→ [23]

- 関連システム機器を接続するときには、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。

3 タイマー予約モードにする

1 modeキーを押す

mode

2 multi controlキーを押して"TIMER SET?"を選んでsetキーを押す

multi control

3 multi controlキーを押して、"PROG.1"を選んでsetキーを押す

multi control

PROGRAM.2に予約するときは、"PROG.2"を選択します。

PROGRAM.1で午前10:15から午前11:30までラジオ放送を受信するときの例

2

TIMER SET?

3

TIMER PROG.1

- 間違えたときはmodeキーを押して解除し、手順3のはじめからやり直してください。
- すでに予約されているときは、新しい設定内容にかわりません。

4 タイマーをオンに設定する

1 multi controlキーを押して"ON"を選ぶ

multi control

2 setキーを押す

set

1

PROG.1 OFF >ON

- タイマーをオフに設定する場合は、"OFF"を選びます。
- PROG.1 >OFF ON
- 間違えたときはmodeキーを押して解除し、手順3のはじめからやり直してください。

5 タイマーの種類を設定する

1 multi controlキーを押してタイマーの種類を選ぶ

multi control

2 setキーを押す

set

- 1
- 押すたびに文字表示が切り換わります。
- ONE TIME.... 設定後1回だけタイマーが働きます。
 - EVERYDAY... 設定に従って毎日タイマーが働きます。

- 間違えたときはmodeキーを押して解除し、手順3のはじめからやり直してください。

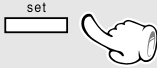
応用編

6 オン時刻を設定する

① multi controlキーを押してオン時刻を設定する

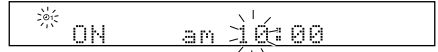


② setキーを押す

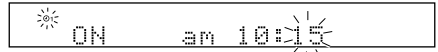


③ ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力する

① "時"を設定



② "分"を設定



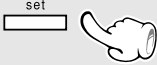
- 間違えたときはmodeキーを押して解除し、手順③のはじめからやり直してください。

7 オフ時刻を設定する

① multi controlキーを押してオフ時刻を設定する

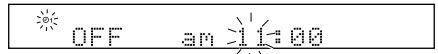


② setキーを押す



③ ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力する

① "時"を設定



② "分"を設定

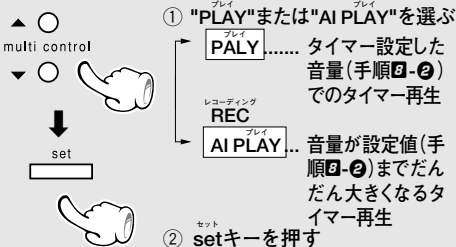


- 間違えたときはmodeキーを押して解除し、手順③のはじめからやり直してください。

8 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

① multi controlキーを押してタイマーモードを選ぶ

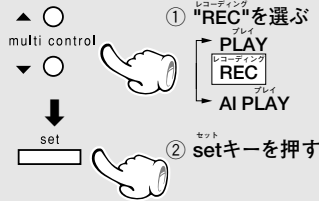


② multi controlキーを押してタイマー再生するときの音量を調整する(現在聴いている音量はわかりません)

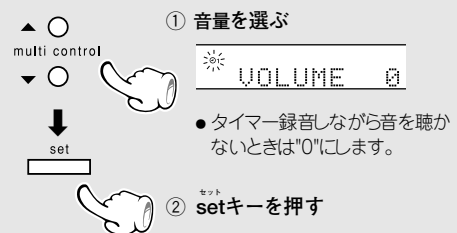


タイマー録音をするとき

① multi controlキーを押して録音モードを選ぶ



② multi controlキーを押して録音するときのモニター音(再生音)を調整する(現在聴いている音量はわかりません)



③ 入力ソースを選ぶ

- ▲ ○
multi control
- ▼ ○
- ↓
- set
- ① 何を聴くか選ぶ
- ② setキーを押す
- TUNER ... ラジオ放送
CD CDプレーヤーで再生
CDR CDレコーダーで再生
MD MD
AUX (外部アナログ機器)
D-AUX (外部デジタル機器)

- ① 何を聴くか選ぶ
- ② setキーを押す
- TUNERを選択したとき以外は、
④が点灯に変わり、通常表示に戻ります。

④ 放送局を選ぶ (TUNERを選択したときのみ)

- ▲ ○
multi control
- ▼ ○
- ↓
- set
- ① プリセットチャンネルを選ぶ
- ② setキーを押す
- ④ 点灯
- ④が点灯に変わり、通常表示に戻ります。
- FM 76.1

- ② setキーを押す

④ 点灯

④が点灯に変わり、通常表示に戻ります。

③ 入力ソースを選ぶ

- ▲ ○
multi control
- ▼ ○
- ↓
- set
- ① 何を録音するか選ぶ
- TUNER (ラジオ放送)
AUX (外部アナログ機器)
D-AUX (外部デジタル機器)
- ② setキーを押す

"D-AUX"または"AUX"を選択したときは手順⑥へ

④ 放送局を選ぶ (TUNERを選択したとき)

- ▲ ○
multi control
- ▼ ○
- ↓
- set
- ① プリセットチャンネルを選ぶ
- ② setキーを押す
- FM 76.1

- ② setキーを押す

⑤ 録音する機器を選ぶ

- ▲ ○
multi control
- ▼ ○
- ↓
- set
- ① 録音する機器を選ぶ
- Rec. CDR ... CDレコーダー
Rec. MD MDレコーダー
- ② setキーを押す

"Rec. CDR"を選択したときは④が点灯に変わり、通常表示に戻ります。

⑥ 録音モードを選ぶ (Rec. MDを選択したとき)

- ▲ ○
multi control
- ▼ ○
- ↓
- set
- ①
- STEREO .. ステレオ録音モード
LP2 ステレオ2倍長時間録音モード
LP4 ステレオ4倍長時間録音モード
MONO ... モノラル録音モード
- ② setキーを押す
- ④が点灯に変わり、通常表示に戻ります。

● MD録音モードで"LP2"、"LP4"を選んだときのMDスタンブ機能は、現在設定されている状態で機能します。

9 電源をオフ(スタンバイ)にする

タイマー設定が済んだら、電源をオフ(スタンバイ)にする
standby/timerインジケーターがオレンジ色に点灯し、
タイマースタンバイ状態になります。

standby/timer


 点灯


- タイマーオン時間になると自動的に電源がオンし、タイマー再生またはタイマー録音が始まります。
タイマーオフ時間になると自動的に電源がオフしスタンバイ状態になります。

以上でプログラムタイマー予約は終了です。PROG.2にプログラムタイマー予約をする場合も同様の手順をおこなってください。

タイマーの実行を解除するには

手順③、④を行い、タイマーをオフに設定する

 1 消灯


 2 消灯


- 予約内容は記憶しています。

- 予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。
- タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、standby/timerインジケーターがオレンジ色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。 - [30]

設定した内容のタイマーを再びセットする

手順⑦～④を行い、タイマーをオンに設定する

 1 点灯

 2 点灯

音楽を聴きながら眠る(SLEEPタイマー)(リモコンのみ)

何分後に電源をオフ(スタンバイ)するか設定します。

CD(CD-R/RW)、MD再生中またはラジオ受信中などにSLEEPキーを押す



- SLEEPキーを1回押すと残り時間の確認ができます。
- 設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります。

- 1回押すごとに10分ずつ増加していきます。最大約90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 70 → 80 → 90 → OFF(解除)



SLEEP 10

解除するには

電源をオフ(スタンバイ)にするか、またはSLEEPキーを"OFF(解除)"になるまで繰り返し押す

本システムは、スリープタイマーの動作中は表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。(オートディマー機能)



メンテナンス

セットのお手入れ

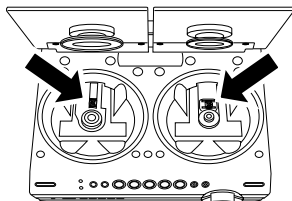
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。

レンズのお手入れ

レンズの汚れは、再生ができなくなるなど、故障の原因となります。市販のカメラ用レンズブローなどを使って、レンズをクリーニングしてください。機器を傷めることがありますので、レンズには手を触れないでください。また、市販のレンズクリーナー、ディスククリーナーなどは使用しないでください。



参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリー

の内容：

時計表示

電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容：

アンプ部

電源の状態(オンまたはスタンバイ)、バランスの設定、トーンコントロール値(BASS、MID、TREBLE)、入力切り換え、AUX INPUTのレベル値、REC GAINの設定、SOUNDの設定

チューナー部

オート、マニュアル選局の設定、タイマーの設定内容

*SLEEPタイマーは解除になります。

*オートパワーセーブの設定はOFFになります。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときには、下記の操作を行ってください。

1. 電源をオンにします。
2. CDプレーヤー、CDレコーダー、MDレコーダーから全てディスクを取り出します。
 - CD▶/II、CD▶/III、MD▶/IIキーを押したとき、表示部が図の表示になったことを確かめてください。

NO DISC

3. 電源をオフにします。
 - 電源がオフ(スタンバイ)になるまでは、電源プラグはコンセントから抜かないでください。

著作権について

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ(静止画等)を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティアワー11F

電話 (03) 5353-0336 (代表)

FAX. (03) 5353-0337

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

修理のため、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口に、セットをお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーを除きます。)

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

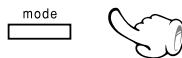
マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。

マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、^{モード}modeキーを押しながら、差し込み直す。



アンプ部・スピーカー部

	処 置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 - [20] - [22] - [23] ●音量を上げる。 ●MUTEをオフ(解除)にする。 - [32] ●ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く。 - [32]
"standby/timer"の表示が赤く点滅し、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがショートしている。電源を切ってスピーカーコードを接続し直す。 - [22]
"standby/timer"の表示がオレンジ色に点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> ●時刻合わせをやり直す。 - [30]
ヘッドホンから音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 - [32]
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●"スピーカーの接続"をみて正しく接続し直す。 - [22] ●左右のバランスを調整する。 - [32]
時刻表示が、ある時間で止まっている。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻をもう一度合わせる。 - [30]
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 - [30] ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を正しく設定する。 - [2] ●プログラムタイマー(Ⓢ1, Ⓢ2)表示を点灯させる。 - [30] - [31]

チューナー部

症 状	処 置
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続する。 - [21] ●放送バンドを合わせる。 - [43] ●受信したい放送局の周波数に合わせる。 - [43] - [46]
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。
プリセットしたあと、◀◀、▶▶キーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 - [44] - [46]

リモコン部

症 状	処 置
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい電池に入れ換える。 - [27] ●操作範囲内で操作する。 - [27]

CDプレーヤー部

症状	処置
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●レーベル面を上にして、正しく入れる。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 → [12] ●"結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。 → [12] ●CD-R/RWはファイナライズ処理をする。 → [12]
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●CD ▶/IIキーを押す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 → [12]
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 → [12] ●振動のない場所に設置する。
MP3、WMA収録ディスクを入れたとき再生ができるようになるまでの時間が異常に長い	<ul style="list-style-type: none"> ●MP3、WMA収録ディスクは、確認のため再生できるようになるまで時間がかかります。

CDレコーダー部

症状	処置
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●レーベル面を上にして、正しく入れる。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 → [12] ●"結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。 → [12] ●録音済みディスクを入れる。 ●MP3、WMA収録ディスクはCDレコーダーでは再生できません。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●CD R ▶/IIキーを押す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 → [12]
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 → [12] ●振動のない場所に設置する。
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●AUX入力レベル(AUX INPUT、REC GAIN)を調整する。 → [12]
録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 → [12] ●録音可能なディスクに入れかえる。 → [7] ●ディスクをアンファイナライズする。(CD-RWのみ) → [12] ●AUX入力レベル(AUX INPUT、REC GAIN)を調整する。 → [12] ●入力切り換えを録音したいソースにする。 → [50] ●"SCMS"と表示されたときは、デジタル録音できません。 → [48]
外部アナログ機器からの録音でトラック番号が繰り上がらない、または正しく繰り上がらない。	<ul style="list-style-type: none"> ●AUX入力レベル(AUX INPUT、REC GAIN)を調整する。 → [12] ●無音検出レベル(CUT LEVEL)を調整する。 → [12] ●トラックマーク(TRACK MARK)を"MANUAL"に設定する。 → [12]
雑音大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●電気器具、テレビなどから離す。
まだ録音可能時間があるのに"NO FULL"と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ●100曲以上(トラック番号100以上)は録音できません。(トラック番号99未満でも録音できないことがあります。)このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がCD-R/RW全体の記録時間(74分)と一致しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●4秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
CD-R/RWを入れたとき再生または録音ができるようになるまでの時間が異常に長い。	<ul style="list-style-type: none"> ●未使用のCD-R/RWや、アンファイナライズしたCD-RWを入れた場合は長かかります。

MDレコーダー部 (MD規格上の症状)

症 状	原 因
まだ録音可能時間があるのに" DISC FULL "と表示される。 <small>ディスク フル</small>	● 256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。)このとき、表示部の全体の残り時間表示は、" 0:00 "になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● ミニディスク全体の残り時間が12秒*1未満の場合は、表示部の全体の残り時間表示は、" 0:00 "になります。消去された曲の合計時間が12秒*1を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ● 編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モード*2の曲同士はつなげません。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分、80分)と一致しない。	● 2秒間*3を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	● 録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
MDを入れたとき録音ができるようになるまでの時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合は、長かかります。
タイトルが1792文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

*1 録音モードがSTEREOモードの場合(LP2/MONOモードの場合)：24秒(LP) LP4モードの場合：48秒

*2 STEREO(ステレオ録音モード)、LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)、LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)、MONO(モノラル録音モード)

*3 録音モードがSTEREOモードの場合(LP2/MONOモードの場合)：4秒(LP) LP4モードの場合：8秒

MDレコーダー部(その他の症状)

症状	処置
MD▶/⏸キーを押しても音が出ない。	●録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れて、MD▶/⏸キーを押す。
録音ができない。	●誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。→ 13 ●AUX入力レベル(AUX INPUT, REC GAIN)を調整する。→ 54 ●入力切り換えを録音したいソースにする。→ 54 ●"SCMS"と表示されたときは、デジタル録音できません。→ 48
音がひずむ。	●AUX入力レベル(AUX INPUT, REC GAIN)を調整する。→ 54 ●CDからMDにデジタル録音するレベル(D-REC LEVEL)を調整する。→ 54
雑音が大きい。	●電気器具、テレビなどから離す。
外部アナログ機器からの録音でトラック番号が繰り上がらない、または正しく繰り上がらない。	●AUX入力レベル(AUX INPUT, REC GAIN)を調整する。→ 54 ●無音検出レベル(CUT LEVEL)を調整する。→ 54 ●トラックマーク(TRACK MARK)を"MANUAL"に設定する。→ 54
グループ登録ができない。	●すでにグループ登録されている曲をグループ登録しようとした。 ●100以上のグループを登録することはできません。

メッセージ表示の一覧

共通

ディスプレイ表示	意味	処置
SCMS	● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	● アナログ録音に切りかえて録音する。 → [52] → [57]
NOT AUDIO <small>フラット オーディオ</small>	● 本機に対応していないディスク、または入力信号である。	● 故障ではありません。
READING <small>リーディング</small>	● TOC情報*やその他のディスク情報を読んでいる。	● 故障ではありません。
WRITING <small>ライティング</small>	● 処理、設定などの各種の情報を書き込んでいる。	● 故障ではありません。
OK? の点滅	● "処理を実行してもよろしいですか?" という確認のメッセージ。	● ENTERキーを押すと、処理が実行されます。
UNLOCK <small>アンロック</small>	● 外部デジタル機器が正しく接続されていない。	● "他の機器(市販品)との接続"をみて正しく接続する。 → [23]
WAIT xxMIN. <small>ウェイト ミニッツ</small>	● CD倍速録音をはじめてから、74分以内に同じ曲を録音しようとしている。	● 表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめると、通常速録音で録音する。
BUFFER OVER <small>バッファオーバー</small>	● 74分以内にCDから200曲以上を倍速録音しようとしている。	● 表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめると、通常速録音で録音する。
PGM SAME TNO <small>プログラム セイム トラックナンバー</small>	● 一つの曲を2回以上プログラムして録音しようとしている。	● 一つの曲を2回以上プログラムして録音することはできません。プログラムし直して録音してください。
--- 0:00	● TOC*情報が読めない。	● ディスクを入れかえる。
CHECK DISC <small>チェック ディスク</small>	● ディスクのキズ、汚れや特性などにより再生、または録音ができない。	● ディスクを取り出して、入れなおす。ディスクを清掃する。ディスクを入れかえる。
CAN'T CHANGE <small>キャンント チェンジ</small>	● モードの設定などで変更できない設定に変更しようとしている。	● 故障ではありません。

CDプレーヤー関連

ディスプレイ表示	意味	処置
CD NO DISC <small>ノー ディスク</small>	● ディスクが入っていない。 ● ファイナライズしていないディスクを入れている。	● ディスクを入れる。 ● ファイナライズしたディスクを入れる。
PROTECTED <small>プロテクト</small>	● 著作権が保護されたWMAファイルである。	● 著作権が保護されたWMAファイルは再生できません。
CAN'T PLAY <small>キャンント プレイ</small>	● 再生できないファイル形式である。ファイルの拡張子が正しく付けられていない。	● 故障ではありません。

* TOC すべてのCD-R/RWには音声信号以外にTOC (Table of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本目の次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

CDレコーダー関連

ディスプレイ表示	意味	処置
<small>ディスク</small> CDR NO DISC	● ディスクが入っていない。	● ディスクを入れる。
<small>ディスク フル</small> DISC FULL	● 録音可能な残りエリアがない。	● 録音可能なディスクに入れかえる。
<small>プロ ディスク</small> PRO. DISC	● 音楽用CD-R/RWではない。	● 音楽用CD-R/RWに入れかえる。 →
<small>フル</small> PCA FULL	● OPC処理をするエリアPCA*1 がディスクに残っていないため、追加録音はできない。	● 録音可能なディスクに入れかえる。
<small>フル</small> PMA FULL	● <small>トラック</small> TOC情報*2を一時的にディスクに書き込むエリアPMA*3が残っていないため、追加録音はできない。	● 録音可能なディスクに入れかえる。(CD-RWの場合は、ファイナライズとアンファイナライズを行うと、追加録音できる場合があります。)
<small>スキップ フル</small> SKIP FULL	● スキップ登録を書き込む上限回数を越えようとしている。	● 書き込みは22回以上はできません。
<small>トラックナンバー フル</small> TNO FULL	● 100曲目を録音しようとしている。	● 一枚のディスクには100曲以上録音できません。
<small>レディー</small> READY	● 録音、録音一時停止状態に移行中である。またはファイナライズ、アンファイナライズ、消去の準備中である。	● 故障ではありません。
<small>ファイナライズ済 ディスク</small> FINALIZED DISC	● ファイナライズされているディスクにファイナライズ、または録音しようとしている。	● ファイナライズしたCD-Rは、録音できません。CD-RWを録音するときは、アンファイナライズしてから録音する。"CD-RWのアンファイナライズ" →
<small>キックリポート</small> CAN'T REPEAT	● ファイナライズしていないディスクでリピート再生しようとしている。	● ファイナライズしていないディスクではリピート再生できません。ディスクをファイナライズしてから、リピート再生を行ってください。"CD-R/RWのファイナライズ" →
<small>プレイ オンリー</small> CDR PLAY ONLY	● 再生専用のディスクである。	● 録音用CD-R/RWと入れかえる。
<small>ディスク</small> DAO DISC	● 他の機器でDAO方式*4で録音したディスクをアンファイナライズ処理しようとしている。	● このディスクは本機ではアンファイナライズ処理できません。

*1 OPCとPCA

ファイナライズ処理されていないディスクをCDレコーダーに入れると、本機はそのディスクに最適なレーザー照射強度と時間を計算するために試験的にディスクの特定エリアに書き込みを行います。この処理をOPC(Optimum Power Control)といい、書き込みを行うエリアをPCA(Power Calibration Area)といいます。

*2 TOC

すべてのCD-R/RWには音声信号以外にTOC(Track Of Contents)という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

*3 PMA

未ファイナライズのCD-R/RWはTOC情報を一時的にディスクの特定エリアに書き込みます。この書き込みを行うエリアをPMA(Program Memory Area)といいます。録音、スキップ設定を行うたびに情報を追加書き込みを行います。

*4 DAO

DAO(Disc At Once)。録音(記録)方法の一種で、リードイン、データ、リードアウトの順に、一気に全ての情報の書き込みを実行します。データの追記(ディスクの未使用領域にデータを追記記録すること)はできません。

CDレコーダー部 (つづき)

ディスプレイ表示	意味	処置
レコーディング エラー REC ERROR	● 録音中に不具合が発生した。 ディスクのキズ、汚れや特性などにより録音ができない。	● 録音可能なディスクに入れかえる。 ディスクを取り出して、入れなおす。 ディスクを清掃する。
メカ エラー MECHA ERROR	● 機械的な不具合が発生した。 ディスクのキズ、汚れや特性などにより再生、または録音ができない。	● ディスクを取り出して、入れなおす。 ディスクを清掃する。 ディスクを入れかえる。
ブランク ディスク BLANK DISC	● 何も録音されていないCD-R/RWである。	● 再生するときには、録音済みのCD-R/RWに入れかえる。
OPC	● OPC*処理をしている。 → [49]	● 故障ではありません。
エラー OPC ERROR	● OPC*処理中に不具合が発生した。 ディスクのキズ、汚れや特性などにより録音ができない。	● ディスクを取り出して、入れなおす。 ディスクを清掃する。 録音可能なディスクに入れかえる。
レコーディング オンリー CDR REC ONLY	● CD-Rを消去しようとしている。	● CD-Rは消去操作できません
XXX◀◀◀	● 24文字以上のタイトルが入力されている。	● 表示できるタイトル、テキストは23文字までです。

* OPCとPCA ファイナライズ処理されていないディスクをCDレコーダーに入れると、本機はそのディスクに最適なレーザー照射強度と時間を計算するために試験的にディスクの特定エリアに書き込みを行います。この処理をOPC (Optimum Power Control) といひ、書き込みを行うエリアをPCA (Power Calibration Area) といひます。

MDレコーダー部

ディスプレイ表示	意味	処置
MD NO DISC <small>ミニディスク</small>	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。
BLANK DISC <small>ブランク ディスク</small>	●何も録音されていないミニディスクである。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに入れかえる。
NO TRACK <small>ノートラック</small>	●曲は録音されていないが、ディスクタイトルが書かれている。	●そのまま録音して問題ありません。
REC ERROR <small>レコーディング エラー</small>	●録音途中で不具合が発生した。	●他のミニディスクに入れかえる。
CAN'T EDIT <small>カット エディット</small>	●長さが短すぎる曲など、制限を越えて編集しようとしている。	●故障ではありません。
UTOC ERROR <small>ユートラック エラー</small>	● <small>ユートラック</small> の内容が異常である。	●"ALL ERASE"を行う(-119)。それができないときはミニディスクを入れかえる。
PROTECTED <small>プロテクト</small>	●ミニディスクが"録音禁止"されている。	●"録音可能"にする。 - [13]
PLAY DISC <small>プレイ ディスク</small>	●再生専用のミニディスクである。	●録音用ミニディスクと入れかえる。
DISC FULL <small>ディスク フル</small>	●録音可能なエリアがない。	●録音可能なミニディスクに入れかえる。

* UTOC ユートラック以外に録音用ミニディスクに特有な情報をユートラックと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落池や、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しております。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをご知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 () -

定格

本体部

[アンプ部]

実用最大出力(EIAJ規格)	20 W + 20 W (6 Ω)
入力感度/インピーダンス	
AUX	200 mV / 47 kΩ
出力レベル/インピーダンス	
AUX OUT (CD再生時)	1.2 V / 100 Ω
サブウーファープリアウト	1.6 V / 620 Ω
周波数特性	
AUX	63 Hz~45 kHz(0 dB, -3dB)

[チューナー部]

FMチューナー部	
受信周波数範囲	76 MHz~90 MHz
アンテナインピーダンス	75 Ω
AMチューナー部	
受信周波数範囲	531 kHz~1,629 kHz

[MDレコーダー部]

読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式	ATRAC、ATRAC 3
D/Aコンバーター	1ビット
ワウ・フラッター(EIAJ規格)	測定限界以下

[CDプレーヤー部]

読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
D/Aコンバーター	1ビット
オーバーサンプリング	8 fs (352.8 kHz)
周波数特性(EIAJ規格)	20 Hz~20,000 Hz
ワウ・フラッター(EIAJ規格)	測定限界以下



- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い(水が凍るような)場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

[CDレコーダー部]

読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
記録方式	非接触光学式
D/Aコンバーター	1ビット
オーバーサンプリング	8 fs (352.8 kHz)
周波数特性(EIAJ規格)	20 Hz~20,000 Hz
ワウ・フラッター(EIAJ規格)	測定限界以下

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数	AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力(電気用品安全法に基づく表示)	75 W

最大外形寸法

プレーヤー部	幅 332 mm
	高さ 179 mm
	奥行 285 mm

CDプレーヤー(レコーダー)カバーを開けたときの高さ:274mm

アンプチューナー部	幅 85 mm
	高さ 270 mm
	奥行 220 mm

質量(重量)

プレーヤー部	3.8 kg(正味)
アンプチューナー部	3.6 kg(正味)

スピーカー部

エンクロージャー

スピーカー構成

ウーファー	55 × 130 mm 長円コーン型
ツイーター	19 mm ドーム型
インピーダンス	6 Ω
最大入力	30 W
最大外形寸法	幅 105 mm
	高さ 270 mm
	奥行 248 mm

質量(重量)	2.4 kg(1本)
--------------	------------

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター東京 電話(03) 3477-5335 FAX(03) 3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
カスタマーサポートセンター大阪 電話(06) 6394-8085 FAX(06) 6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。